

令和4年度

# 「生命（いのち）の安全教育」の取組に関する実践事例集

令和5年7月



イノベーション・デザイン&テクノロジーズ株式会社

Innovation Design & Technologies, Inc.



文部科学省

令和4年度委託事業「生命（いのち）の安全教育の取組に関する調査研究」

# 目次

<b>I 事業概要</b> .....	3
1 「生命（いのち）の安全教育」概要 .....	3
2 実践事例の収集方法.....	4
A. 有識者検討会の設置.....	4
B. 『生命（いのち）の安全教育』実践事例の収集方法.....	4
<b>II 各実践校における全体計画例</b> .....	7
1 小学校 .....	8
A. 東京学芸大学附属竹早小学校.....	8
B. 千葉市立西小中台小学校、有吉小学校 .....	9
C. 阿南市立大野小学校 .....	10
2 中学校 .....	11
A. 白石市立福岡中学校 .....	11
B. かつらぎ町立笠田中学校 .....	12
3 高等学校 .....	13
A. 鹿児島県立曽於高等学校 .....	13
4 特別支援学校（学級） .....	14
A. 山口県立萩総合支援学校 中学部.....	14
B. 山口県立萩総合支援学校 高等部.....	17
<b>III 『生命（いのち）の安全教育』実践事例（学校種別）</b> .....	23
1 幼稚園・保育園・認定こども園 .....	23
A. 東京学芸大学附属幼稚園小金井園舎「自分も、相手も大切にしよう」.....	23
B. そがチャイルドハウス保育園「大切なこころ・からだ」.....	26
C. 多摩福祉会 多摩保育園／すみれ保育園「自分と友達の心と体を大切にしよう」.....	31
D. 上土幌町認定こども園「プライベートゾーンが自分だけの大切なところであることを学ぶ」 .....	35
2 小学校 .....	38
A. 東京学芸大学附属竹早小学校「自分や友だちを守る力を育てよう」（特別活動（1年生）、自己実現活動（3、5年生）） .....	38
B. 千葉市立西小中台小学校、有吉小学校「生命（いのち）の安全教育」（特別活動） .....	42
C. 浦安市立美浜南小学校、舞浜小学校、明海南小学校、入船小学校「生命（いのち）の安全教育」（特別活動） .....	47
D. 阿南市立大野小学校「自分も友達も大切に作る」（特別活動） .....	51

3 中学校.....	54
A. 東京学芸大学附属世田谷中学校「性への関心と行動」（保健体育） .....	54
B. 東京学芸大学附属国際中等教育学校「人との距離感」（特別活動） .....	59
C. 足立区立第十中学校「生命（いのち）の安全教育」（保健体育） .....	62
D. 白石市立福岡中学校「生命（いのち）の安全教育」（特別活動） .....	66
E. 大阪市立市岡中学校「生命（いのち）の安全教育」（総合的な学習の時間） .....	69
F. 板橋区立志村第一中学校「生命（いのち）の安全教育」（特別活動） .....	72
G. かつらぎ町立笠田中学校「お互いを尊重するために」（特別活動） .....	77
4 高等学校.....	80
A. 鹿児島県立曽於高等学校「健康に関する意思決定・行動選択/性意識と性行動の選択」（保健体育） .....	80
B. 千葉市立稲毛高等学校「大切な心と体を守るために」（特別活動） .....	84
C. 東京都立忍岡高等学校「大切な心と体を守るために」（特別活動） .....	87
D. 和歌山県立箕島高等学校「大切な心と体を守るために」（特別活動） .....	89
E. 鳥取県立岩美高等学校「大切な心と体を守るために」（特別活動） .....	92
5 特別支援学校（学級） .....	96
A. 葛飾区立柴又小学校 特別支援学級「自分も友達も守ろう」（特別活動） .....	96
B. 東京学芸大学附属特別支援学校 中学部「変な人についていかない」（特別活動） .....	100
C. 山口県立萩総合支援学校 中学部「生命(いのち)の安全教育」（特別活動） .....	103
D. 東京学芸大学附属特別支援学校 高等部「良い人間関係とは」（特別活動） .....	107
E. 山口県立萩総合支援学校 高等部「生命(いのち)の安全教育」（保健体育） .....	110
<b>IV 資料編</b> .....	113
資料 1 事例集作成に係る検討会における意見 .....	113
資料 2 性犯罪・性暴力被害に関する実態データ.....	115

# I 事業概要

## 1 「生命（いのち）の安全教育」概要

### 子供たちを性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にさせないための「生命（いのち）の安全教育」について

性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為であり、その心身に長期にわたり重大な悪影響を及ぼすものであることから、その根絶に向けた取組や被害者支援を強化していく必要があります。

政府においては、令和2年4月に「性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議」を立ち上げ、同年6月11日には、「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」（以下本トピックスにおいて「強化の方針」という。）を取りまとめました。強化の方針では、刑事法の検討はもとより、被害者支援の充実、加害者対策、教育・啓発の強化等に取り組むこととしており、教育・啓発の強化の一環として、子供が生命の尊さを学び生命を大切にす、性暴力の加害者や被害者、傍観者のいずれにもならないための「生命（いのち）の安全教育」を推進することが盛り込まれました。

強化の方針を踏まえ、文部科学省では「生命（いのち）の安全教育」を推進しており、幼児期・小学校・中学校・高等学校の各段階に応じて授業等で活用できる教材や指導の手引き、大学生・一般向けの啓発資料等を公表しています。

また、強化の方針では、令和2年度から4年度までの3年間を性犯罪・性暴力対策の「集中強化期間」として、教育・啓発の強化等の実効性ある取組を進めてまいりましたが、さらに令和5年度から7年度までの3年間を「更なる集中強化期間」と位置づけ、これまでの取組を継続・強化することとなりました。

文部科学省では、上述の教材等を活用したモデル事業を実施しています。令和3年度のモデル事業では13団体（49校）、令和4年度は20団体（55校）の各実践校において指導モデルを作成し、その普及や展開を図るための取組を行いました。さらに、令和4年度は、教員向け研修動画の公開及び児童生徒向け動画教材の活用等を周知するとともに、全国の指導事例をとりまとめるなどの取組を進めました。令和5年度においては、生命（いのち）の安全教育全国フォーラムを開催し、生命（いのち）の安全教育の全国展開の加速化を図ることとしています。

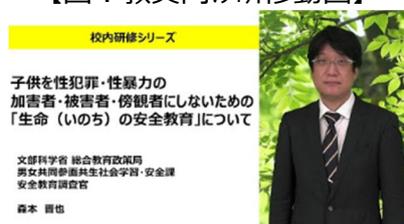
「生命（いのち）の安全教育」の教材・指導の手引き等や、モデル事業の取組は文部科学省ホームページから御確認いただけます。

（文部科学省ウェブサイト：[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/danjo/anzen/index.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index.html)）

【図：生命（いのち）の安全教育教材動画】



【図：教員向け研修動画】



## 2 実践事例の収集方法

### A. 有識者検討会の設置

事例の収集にあたり、より効果的な収集等を行うため、事例集作成に係る有識者検討会を設置しました。

有識者検討会構成委員は以下のとおりです。

【有識者検討会委員（五十音順）】

福岡犯罪被害者支援センター 理事長	浦 尚子氏
全国学校安全教育研究会 会長 葛飾区立柴又小学校 校長	木間 東平氏
筑波大学 名誉教授	野津 有司氏
全国高等学校長協会 生徒指導研究委員会委員長 茨城県立下妻第一高等学校 校長	渡邊 剛氏
東京学芸大学 教職大学院 教授	渡邊 正樹氏

### B. 『生命（いのち）の安全教育』実践事例の収集方法

下記に示す方法等により、実践事例を収集しました。

- 対象：
  - i) 文部科学省「学校等における生命（いのち）の安全教育推進事業」委託先機関 18 団体
  - ii) 有識者検討会委員推奨機関 1 団体  
(詳細は次頁を御参照ください。)
- 方法：ヒアリング調査
- 実施期間：令和4年11月7日～令和5年1月31日

【ヒアリング調査対象実践校等】

	都道府県	機関名	実践校	幼・保	小	中	高	特別支援	
「学校等における生命（いのち）の安全教育推進事業」委託先機関（実践校）	北海道	上士幌町教育委員会	上士幌町認定こども園	○					
	宮城県	白石市教育委員会	福岡中学校			○			
	千葉県	特定非営利活動法人はなえみ	そがチャイルドハウス保育園		○				
		千葉市（千葉市教育委員会）	西小中台小学校、有吉小学校			○			
			稲毛高等学校					○	
	東京都	浦安市（浦安市教育委員会）	美浜南小学校、舞浜小学校、明海南小学校、入船小学校			○			
		東京女子体育大学	多摩福祉会多摩保育園、すみれ保育園		○				
			附属幼稚園		○				
			附属竹早小学校			○			
			附属国際中等教育学校				○		
			附属世田谷中学校				○		
		附属特別支援学校						○	
	東京都教育庁（板橋区教育委員会）	志村第一中学校				○			
	足立区	第十中学校				○			
	東京都教育庁	忍岡高等学校					○		
	大阪府	大阪市教育委員会	市岡中学校			○			
	和歌山県	和歌山県（和歌山県教育委員会）	笠田中学校			○			
			箕島高等学校					○	
鳥取県	鳥取県（鳥取県教育委員会）	岩美高等学校					○		
山口県	山口県教育委員会	萩総合支援学校					○		
徳島県	徳島県（徳島県教育委員会）	大野小学校		○					
鹿児島県	鹿児島県教育委員会	曾於高等学校					○		
<b>有識者検討会委員推奨機関</b>									
東京都	葛飾区		葛飾区立柴又小学校 特別支援学級					○	

【「生命（いのち）の安全教育」実践事例掲載実践校等】



## Ⅱ 各実践校における全体計画例

---

次頁より、各実践校の全体計画例を掲載します。

# 1 小学校

## A. 東京学芸大学附属竹早小学校

### 性犯罪防止教育計画

性暴力防止教育の目標：自分や友だちを守る力を育てよう

- ①自分やともだちの心や体をたいせつにしよう
- ②大切な友だちとより良い関係を築こう
- ③被害者にも加害者にもならない行動について考えよう



学校における教育活動全体をとおして  
体育科保健領域/特別活動/その他の活動



重点目標		
1～3年生	4～6年生	中学生
<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートゾーン等の自分だけの大切な場所についてしろう。</li> <li>・いやな気持ちになった時の対処方法をしろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や友達の手や体を守るためにできることを考えよう</li> <li>・自分を大切にすると人の距離（付き合い方）について知ろう</li> <li>・ネットゲームやSNSの危険について考えよう（5年・6年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットゲームやSNSの危険について考えよう</li> <li>・自分と相手の心や体の距離について考えよう</li> <li>・大切な人たちとよりよい関係について考え行動しよう</li> <li>・性暴力による心身への影響について知ろう</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">① 自分やともだちの心や体をたいせつにしよう</div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">②大切な人たちとより良い関係を築こう</div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">③被害者にも加害者にもならない行動について考えよう</div>		

#### 評価規準

- ・犯罪やいやなことをされた時の対処方法や自分の気持ちの在り方について知ろうとしている。  
(知識及び技能) 1～6年生
- ・自分の体や心を守るためにできることを考えている。  
(思考力・判断力・表現力等) 1～3年生
- ・ネットやオンラインゲームなどで、加害者・被害者にならないための行動について考えている。  
(思考力・判断力・表現力等) 4～6年生
- ・自分や友だちを大切にすることについて振り返り、生活に活かそうとしている。  
(学びに向かう力、人間性等) 1～6年生

## B. 千葉市立西小中台小学校、有吉小学校

### 特別活動全体指導計画(令和3年度)

学校教育目標	自ら学ぶ意欲をもち 心豊かで たくましい 子供の育成	めざす子ども像	自ら課題をもち主体的に学ぶ子 基本的な生活習慣を身に付けた心豊かな子 たくましい子
--------	----------------------------	---------	---

生徒指導	道徳	各教科	総合的な学習の時間	外国語教育	その他の教育活動
------	----	-----	-----------	-------	----------

特別活動の目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次の通り資質・能力を育成することを目指す。
本校での重点目標	一人一人の児童が互いのよさや可能性を認め、伸ばし合うことができるような指導方法や活動内容の工夫

学級活動		
学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的・実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。		

(活動の内容)		
〔第1学年及び第2学年〕	〔第3学年及び第4学年〕	〔第5学年及び第6学年〕
○話し合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解すること。基本的な生活習慣や、約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、生活をよくするための目標を決めて実行していく。	○理由を明確にして考えを伝えたり、自分と異なる意見も受け入れたりしながら、集団としての目標や活動内容について合意形成を図り、実践すること。自分のよさや役割を自覚し、よく考えて行動するなど節度ある生活を送ることを目指す。	○相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、多様な意見のよさを積極的に生かして合意形成を図り、実践すること。高い目標をもって粘り強く努力し、自他のよさを伸ばし合うようにする。

(1)学級や学校の生活づくりへの参画	(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決	ア 基本的な生活習慣の形成
イ 学級内の組織づくりと役割の自覚	イ よりよい人間関係の形成
ウ 学校における多様な集団の生活の向上	ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
	エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現	(4) 生命(いのち)の安全教育
ア 現在や将来の希望や目標をもって生きる意欲や態度の育成	ア 自分と他人の大切なところ
イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解	イ 心と体の距離感
ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	ウ 安全な意思決定と行動選択
【活動の形態】	ア 話し合い活動    イ 係活動    ウ 集会活動

◆2年生以上の学年は3.5単位時間を充てる。(1年生は3.4時間)

◆自発的、自治的な活動の充実を図るため「(1)学級や学校の生活づくりの参画」の内容を重視して指導を行う。

◆「(2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全」「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」の内容は、原則として年間指導計画の題材を指導する。

◆計画委員会は、4年生以上から本格的に組織し、運営を行う。

◆時間配分は、右の通りとする。

(単位時間)

学 年	1	2	3	4	5	6
(1)学級や学校の生活づくり	11	15	16	18	18	15
(2)日常の生活や学習への適応及び健康安全	19	15	17	13	13	13
(3)一人一人のキャリア形成と自己実現	3	4	5	3	3	6
(4)生命(いのち)の安全教育	1	1	1	1	1	1

児童会活動
異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することによって自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

(活動の内容)
○学校的全児童をもって組織する児童会において、各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることを理解し、主体的に考えて実践する。

- (1)児童会の組織づくりと児童会活動の計画や運営
- (2)異年齢集団による交流
- (3)学校行事への協力

(活動の形態)

- (7)代表委員会
- (4)委員会活動  
計画 環境 飼育 図書  
給食 保健 体育 掲示
- (ウ)集会活動(名称 未定)  
壮行会 児童集会

◆代表委員会は、原則として委員会活動の最後15分間で行う。4年生以上の各学級2名ずつの代表と各委員会の委員長で構成し、運営は運営委員会が中心となって行う。

クラブ活動
異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営することによって、自主的、実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図りながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

(活動の内容)
○主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、次の活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることを理解し、主体的に考えて実践できるようにする。

- (1)クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営
- (2)クラブを楽しむ活動
- (3)クラブの成果の発表

(活動の形態)

クラブは児童や教師にアンケートを取り、実態を考慮して決定する。

◆原則として、火曜日の6校時を活動時間に充て、4年生以上の全児童をもって組織し活動する。

◆3年生を対象に見学会等を実施する。(未定)

学校行事
全校又は学年の児童で協力し、よりよい生活を築くため体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

(活動の内容および形態)

○全ての学年において全校又は学年を単位として、次の各行事において、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うことを通して、それぞれの学校行事の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるよう指導する。

(1) 儀式的行事  
○学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行う。

入学式 始業式 終業式 修了式 卒業式 朝会

(2) 文化的行事  
○平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするような活動を行う。

学習発表会 造形展 鑑賞教室

(3) 健康安全・体育的行事  
○心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行う。

健康診断 交通安全教室 運動会 防災・防犯訓練

(4) 遠足・集団宿泊的行事  
○自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、より良い人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行う。

遠足 自然教室 修学旅行

(5) 勤労生産・奉仕的行事  
○勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるような活動を行う。

除草活動 大掃除 行事準備活動

◆それぞれの行事のねらいを明確にし、全教師が協力して指導に当たる。

朝の会・帰りの会・当番活動(日直 給食 清掃等)

## C. 阿南市立大野小学校

### 生命（いのち）の安全教育全体計画

阿南市立大野小学校

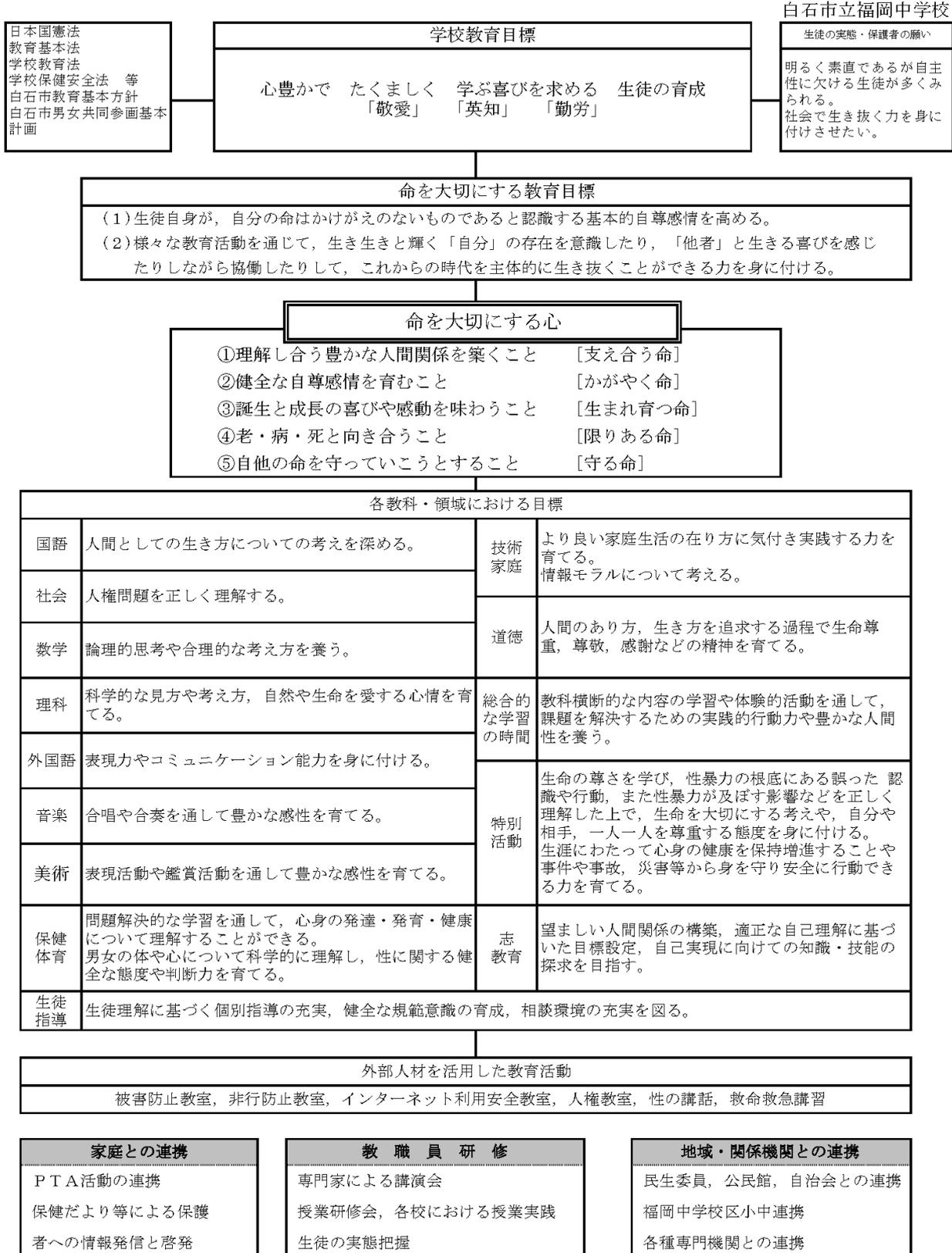
<p>【生命（いのち）の安全教育における学校目標】</p> <p>○性暴力の被害者、加害者、傍観者にならないようにするために、生命や体の尊さ・大切さを理解し、相手の気持ちを考えた行動をとり、自分や他の人を大切にしようとする態度を育てる。</p>	
<p>【低・中学年のねらい】</p> <p>○自分の体も他の人の体も大切であることを理解できるようにする。</p> <p>○自分と他の人の大切なところを理解できるようにするとともに、大切なところを守るルールを理解できるようにする。</p> <p>○自分の体を見られたり、触られたりして嫌な気持ちになる場面について考え、このような場面が起こったときの対応方法を身に付けることができるようにする。</p> <p>○自分と他の人を大切にすることを養う。</p>	<p>【高学年のねらい】</p> <p>○自分と他の人の体などところを守るルールを理解できるようにする。</p> <p>○心と体には距離感があるという認識を身に付け、他の人の気持ちを尊重した意思決定と行動距離がとれるようにする。</p> <p>○SNSで見えない相手とつながることの危険について考え、安全な意思決定と行動選択ができるようにする。</p> <p>○お互いの気持ちを尊重し、よりよい人間関係を構築しようとする態度を養う。</p>

	生命（いのち）の安全教育	【関連学習】教科・領域（単元名・題材・主題）		
		いのち・健康	自他の尊重・自尊感情	なかまづくり
ひまわり	<p>○じぶんのからだ</p> <p>○じぶんだけのたいせつなところ</p> <p>○プライベートゾーンのやくそく</p> <p>○じぶんもほかの人もたいせつ</p>	<p>【生活単元】ひまわりタイム</p> <p>ひまわり遠足</p> <p>【生活単元】ひまわりタイム</p> <p>体を動かそう</p> <p>ひまわり食品</p>	<p>【生活単元】ひまわりタイム</p> <p>中学校区特別支援学級交流会</p>	<p>【生活単元】ひまわりタイム</p> <p>1年生を迎える会</p> <p>おにごっこをしよう</p> <p>おもしろ実験をしよう</p> <p>ホットケーキ作り</p> <p>ドッジボールをしよう</p>
1	<p>○じぶんのからだ</p> <p>○じぶんだけのたいせつなところ</p> <p>○プライベートゾーンのやくそく</p> <p>○じぶんもほかの人もたいせつ</p>	<p>【生活】</p> <p>わたしのたんじょう</p> <p>【国語】</p> <p>ずうっと、ずうっと、大好きだよ</p> <p>どうぶつのお赤ちゃん</p> <p>【道徳】</p> <p>いのちのすばらしさ</p>	<p>【国語】</p> <p>どうぞよろしく</p> <p>【道徳】</p> <p>ちょうのともだち（ひかり）</p> <p>二わのことり</p>	<p>【道徳】</p> <p>みんなでなかよく</p> <p>わたしらもよせて（ひかり）</p> <p>はしのうえのおおかみ</p> <p>【国語】</p> <p>おみせやさんごっこ</p> <p>【学級活動】</p> <p>特別支援学校との交流学習</p>
2	<p>○じぶんのからだ</p> <p>○じぶんだけのたいせつなところ</p> <p>○プライベートゾーンのやくそく</p> <p>○じぶんもほかの人もたいせつ</p>	<p>【生活】</p> <p>大きくなったわたし</p> <p>【学級活動】</p> <p>健康で安全な生活</p> <p>【道徳】</p> <p>1まいのしゃしん</p> <p>わたしのものがたり</p>	<p>【国語】</p> <p>どうぞよろしく</p> <p>【道徳】</p> <p>モムンとヘーテ</p>	<p>【国語】</p> <p>ふきのとう・スイミー</p> <p>【生活】</p> <p>町のたんけんたい</p> <p>【道徳】</p> <p>やさしい村の子どもたち</p> <p>【学級活動】</p> <p>支援学校との交流学習</p>
3	<p>○じぶんのからだ</p> <p>○じぶんだけのたいせつなところ</p> <p>○プライベートゾーンのやくそく</p> <p>○じぶんもほかの人もたいせつ</p>	<p>【保健】</p> <p>健康な生活</p> <p>【道徳】</p> <p>赤ちゃんの時のこと（ひかり）</p> <p>いのちのまつり</p>	<p>【国語】</p> <p>モチモチの木</p> <p>【道徳】</p> <p>世界一うつくしい体そうをめざして</p>	<p>【国語】</p> <p>よく聞いて、じこしようかい</p> <p>もっと知りたい、友だちのこと</p> <p>【道徳】</p> <p>いじわる（ひかり）</p> <p>女だから？男だから？（ひかり）</p> <p>【学級活動】</p> <p>特別支援学校との交流学習</p>
4	<p>○自分だけの大切なところ</p> <p>○自他を守るためのルール</p> <p>○人とのきより感</p> <p>○SNSを使うときに気をつけること</p>	<p>【保健】</p> <p>育ちゆく体とわたし</p> <p>【道徳】</p> <p>いのち（ひかり）</p> <p>ほくの生まれた日</p> <p>いのちをつないだ牛（ひかり）</p>	<p>【学級活動】</p> <p>わかってくれるかな（ひかり）</p> <p>【学級活動】</p> <p>リフレーミングしよう</p>	<p>【国語】</p> <p>あなたなら、どう言う</p> <p>【道徳】</p> <p>何であかんの（ひかり）</p> <p>【学級活動】</p> <p>特別支援学校との交流学習</p>
5	<p>○自分だけの大切なところ</p> <p>○自他を守るためのルール</p> <p>○人とのきより感</p> <p>○SNSを使うときに気をつけること</p>	<p>【保健】</p> <p>心の発達</p> <p>けがの防止</p> <p>【道徳】</p> <p>水俣から（ひかり）</p> <p>山のかゆ（ひかり）</p>	<p>【家庭】</p> <p>私の生活、大発見！</p> <p>家族とほっとタイム</p> <p>【道徳】</p> <p>ちがうことばんざい（ひかり）</p>	<p>【道徳】</p> <p>スイミー作戦・ガンジー作戦</p> <p>みんなの学級（ひかり）</p> <p>【国語】</p> <p>なまえつけてよ</p> <p>大造じいさんとがん</p> <p>【学級活動】</p> <p>特別支援学校の友達と遊ぼう</p>
6	<p>○自分だけの大切なところ</p> <p>○自他を守るためのルール</p> <p>○人とのきより感</p> <p>○SNSを使うときに気をつけること</p>	<p>【保健】</p> <p>病気の予防</p> <p>【道徳】</p> <p>わたしの友だちのこと（ひかり）</p>	<p>【社会】</p> <p>すべての人が幸せに生きるために</p> <p>【家庭】</p> <p>共に生きる生活</p> <p>成長したわたしたち</p> <p>【道徳】</p> <p>権利ってなんだろう（ひかり）</p>	<p>【道徳】</p> <p>かおり決心（ひかり）</p> <p>小さなかけ橋（ひかり）</p> <p>【学級活動】</p> <p>特別支援学校との交流学習</p>

## 2 中学校

### A. 白石市立福岡中学校

#### 生命の安全教育(命を大切にする教育)全体計画



## B. かつらぎ町立笠田中学校

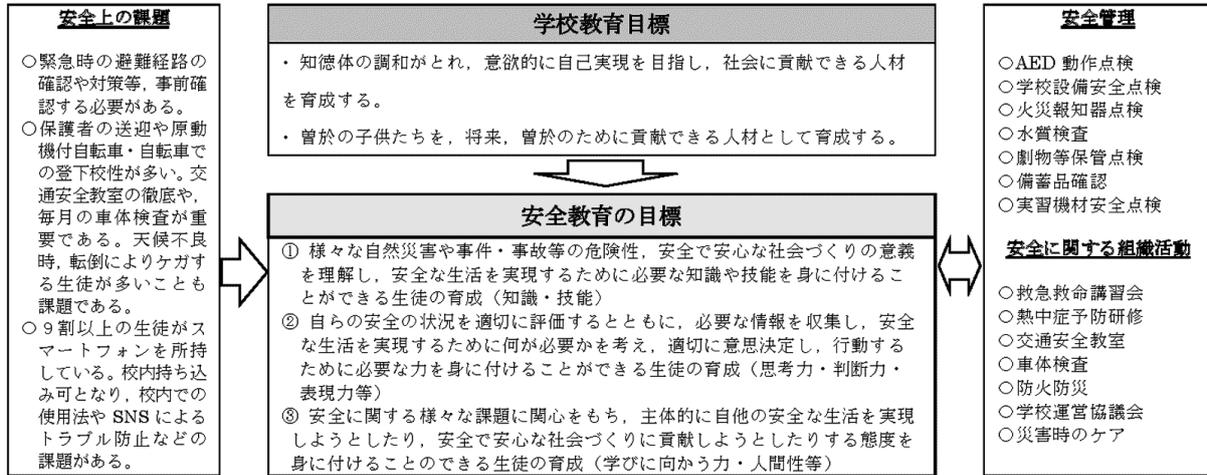
### 性教育等に関連する年間指導計画

	第一学年	第二学年	第三学年
学級活動	<b>生命の誕生・命の継承</b> 生命の誕生には、互いの思いやりが大切で、命は祖先から受け継がれてきた尊いものであると気づかせる。 <b>異性への関心・男女理解</b> 思春期に異性への関心が高まるなど心の特徴について理解させる。	<b>情報への対処</b> 氾濫する性情報や出会い系サイト等、情報化社会の危険や諸問題について理解し対処の仕方を身につけさせる。 <b>望ましい男女交際（１）</b> 異性に対する欲求や意識には男女差や個人差があることを振り返り、異性を思いやる心と自分を大切にする気持ちを高める。 <b>異性との関わりと性的欲求</b> 性的な関心や性欲が高まる中で、適切な男女の関わり方を考え、意思決定ができるようになる。	<b>自他の命を尊重し、命への責任を考える【外部機関連携事業】</b> 保健師と連携し、専門的立場から妊娠・出産等についての理解をし乳幼児とのふれあいを身につけさせる。 <b>望ましい男女交際（２）</b> 適切な男女の関わり方をあらためて考え、自己の進路決定と含めて、望ましい交際を考えさせる。 <b>共に生きる</b> エイズに対する不安や偏見・差別を払拭し、共に生きようとする気持ちを養わせる。
道徳	A（２）節度、節制 B（６）思いやり、感謝 B（８）友情、信頼 D（１９）生命の尊さ	A（２）節度、節制 B（６）思いやり、感謝 B（８）友情、信頼 D（１９）生命の尊さ	A（５）真理の探究、創造 B（６）思いやり、感謝 B（８）友情、信頼 D（１９）生命の尊さ
保健体育	<b>1章 健康な生活と病気の予防①（９月）</b> ・健康の成り立ち 主体の要因と環境の要因 ・運動と健康 食生活と健康 ダイエット <b>2章 心身の発達と心の健康（１～２月）</b> ・体の発育・発達 第２発育急進期と各器官の発育・発達 ・性機能の成熟 思春期の体の変化、射精の仕組み 排卵と月経の仕組み、受精と妊娠 ・性とどう向き合うか 性意識の変化、性情報への対処と責任ある行動 ・心の発達 親や周囲の大人からの自立、友達とのつきあい ・欲求不満やストレスへの対処 心と体の関わり、欲求不満への対処、ストレスへの対処	<b>4章 傷害の防止（１～２月）</b> ・傷害の原因と防止 中学生に多い犯罪被害 ・応急手当の意義と基本 手当をする人の感染防止	<b>5章 健康な生活と病気の予防③（１月）</b> ・感染症とその予防 感染症と発症の原因、感染症の予防 感染経路についての対策、感染症をめぐる近年の問題 ・性感染症とその予防 性感染症、性感染症の予防、エイズ、エイズの予防 ・保健・医療機関と医薬品の有効利用 保健・医療機関とその利用
社会			・基本的人権の尊重（７月）
理科	・植物のくらしとなかま	・生命を維持する働き ・動物のなかまと生物の進化	・生物の連続性 ・生物のふえ方と遺伝
家庭			・わたしたちの成長と家族・地域 ・幼児とのふれあい

# 3 高等学校

## A. 鹿児島県立曾於高等学校

### 令和4年度 鹿児島県立曾於高等学校 安全教育全体計画



学年別重点目標		
【1年生】	【2年生】	【3年生】
<p><b>【生活安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安全な学校生活を送るために、自分を律し、規則を守って学校生活を送ることができる。</li> </ul> <p><b>【交通安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○通学路における危険を予測し、安全に登校することができる。</li> </ul> <p><b>【災害安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分たちの地域と災害について知り、災害を自分自身のこととして真剣に考える態度を身に付ける。</li> </ul>	<p><b>【生活安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全員が安心して過ごせる環境について理解し、ルールとマナーを守って学校生活を送ることができる。</li> </ul> <p><b>【交通安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分を律し、交通ルールを遵守する態度を身に付ける。</li> </ul> <p><b>【災害安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時に高校生が担う役割を自覚し、自分安全と地域の安全のために考え、行動することができる。</li> </ul>	<p><b>【生活安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会の一員として、自他の安全を守るために行動することができる。</li> </ul> <p><b>【交通安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会の一員として自他の安全に責任を持ち、交通ルールを遵守することができる。</li> </ul> <p><b>【災害安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○常に災害に対する危機感を持ち、自他の安全のために備え、行動することができる。</li> </ul>

関連する主な領域及びその指導内容			
	【1年生】	【2年生】	【3年生】
<b>教科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭基礎               <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害への備え（住居について考える）</li> <li>・防犯について</li> </ul> </li> <li>○保健               <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の現状と発生要因</li> <li>・心肺蘇生法</li> <li>・熱中症の予防</li> <li>・安全な交通行動の事故防止</li> </ul> </li> <li>○公共               <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな生活の実現</li> <li>・国際社会の現状と課題</li> <li>・持続可能な社会をつくるために</li> </ul> </li> <li>○歴史総合               <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化する世界</li> <li>・現代の課題</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染と健康</li> <li>・水質汚濁、土壌汚染と健康</li> <li>・犯罪被害の防止</li> <li>・思春期と健康</li> <li>・性意識と性行動の選択</li> </ul> </li> <li>○科学と人間生活               <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレートテクトニクス</li> <li>・地震と津波のメカニズム</li> <li>・降雨災害・ハザードマップ</li> </ul> </li> <li>○物理基礎               <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震波</li> <li>・建造物の耐震・制震・免震</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フードデザイン               <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理実習における安全指導</li> <li>・防災などの安全に配慮した住居の機能</li> <li>・住生活や住環境の工夫</li> </ul> </li> <li>○日本史               <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の中の自然災害</li> </ul> </li> <li>○地理               <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な地域づくり</li> <li>・世界の地形と自然災害</li> <li>・日本の自然環境と自然災害</li> </ul> </li> <li>○政治経済               <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸課題</li> </ul> </li> </ul>
<b>特別活動</b>	<p><b>ホームルーム活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防災LHR               <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校に入学して</li> <li>・通学時の安全確保について</li> <li>・1年生オリエンテーション</li> <li>・桜島噴火時の避難経路について</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>防災LHR</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生になって</li> <li>・通学時の安全確保について</li> <li>・桜島噴火時の避難連絡先見直し</li> <li>・部活動と健康管理</li> </ul>	<p><b>防災LHR</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生になって</li> <li>・通学時の安全確保について</li> <li>・桜島噴火時の避難連絡先見直し</li> <li>・安全意識と行動</li> </ul>
<b>学校行事</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難訓練</li> <li>○交通安全教室</li> <li>○車体検査</li> <li>○安全点検</li> <li>○いのちの安全教育</li> </ul>	<b>課外活動</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防による心肺蘇生法及びAED研修</li> <li>○熱中症予防対策研修</li> <li>○新規免許取得者指導（曾於警察署）</li> <li>○地域清掃（通学路の見直し）</li> <li>○保健委員会</li> </ul>

安全教育の成果を測る指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ルールやマナーを守り、自他ともに安全で安心して過ごせる環境を目指して行動する態度が身に付いているか。（言動・振り返りシート）</li> <li>○災害を自分自身のこととしてとらえて真剣に向き合い、自分や地域の人たちのために行動することができるか。（言動・振り返りシート）</li> <li>○日常生活に潜む危険について理解し、自らの取るべき行動を選択する力がついているか。（テスト、言動・振り返りシート）</li> </ul>

## 4 特別支援学校（学級）

### A. 山口県立萩総合支援学校 中学部

#### ① 1 学年

#### 性に関する学習 年間指導計画案

#### （ 中学 ） 部 （ 1 ） 学年

ねらい		(1) 自分の心身の発達・発育の変化に気づき、自分や他人を大切にしようとする態度を育てる。 (2) 男女の体には違いがあることを理解するとともに、互いに相手を思いやる心情と態度を育てる。 (3) 家庭や社会の役割やルールを理解し、適切な判断や行動がとれる能力や態度を育てる。					
		チェックリストの番号	項目	内容	時間数	指導形態 (集団・指導者)	各教科での扱い
例	5月中旬	18, 19	大切な体-トイレの使い方 -トイレの使い方(排尿・排便) 大切な体-トイレの使い方 -排尿・排便後の始末	・トイレのマナー・トイレトーパーの使い方・水の流しかた・個室の使い方・手洗い・	2 時間	各学級・担任	同じ内容を扱う教科があればわかる範囲で書いておく ・6月頃に体育でも指導
前期	4月						
	5月						
	6月	12,13	大切な体- 自分の体 -自分の体への関心 -体の部分・名称・働き	各部位の名称、器官の働き	1 時間	学級	
	7月	14	大切な体- 自分の体 -プライベートゾーン	プライベートゾーン	1 時間	学級または学年	日生でも指導
	8月						日生でも指導
	9月						
後期	10月	24, 26, 27	大切な体-大きくなる体 -自分の成長に気づく -発育・発達の性差、個人差 -第二次性徴の男女の違い	男女の違い、体の発育・発達、個人差	1 時間	男女別または学級	
	11月						
	12月	1, 2, 3	人とのかかわり-心地よい関係 -心地よさの体感 -他者への意識・関心 他者との心地よい 関わり -他者との適切な距離感	人とのかかわり、心地よい関係	1 時間	学級	自立活動、日生でも必要に応じて指導
	1月	4, 5	人とのかかわり-私と家族 -家族の中での自分の役割(人の役に立つことを知る) -家族の成り立ち(結婚・出産・子育て)	家族の成り立ち、一員としての役割	1 時間	学年	
	2月						
	3月						

② 2 学年

性に関する学習 年間指導計画案

( 中学 ) 部 ( 2 ) 学年

ねらい		(1) 自分の心身の発達・発育の変化に気づき、自分や他人を大切にしようとする態度を育てる。 (2) 男女の体には違いがあることを理解するとともに、互いに相手を思いやる心情と態度を育てる。 (3) 家庭や社会の役割やルールを理解し、適切な判断や行動がとれる能力や態度を育てる。					
		チェックリストの番号	項目	内容	時間数	指導形態 (集団・指導者)	各教科での扱い
例	5月中旬	18, 19	大切な体-トイレの使い方 -トイレの使い方(排尿・排便) 大切な体-トイレの使い方 -排尿・排便後の始末	・トイレのマナー・トイレットペーパーの使い方・水の流しかた・個室の使い方・手洗い・	2時間	各学級・担任	同じ内容を扱う教科があればわかる範囲で書いておく ・6月頃に体育でも指導
前期	4月						
	5月						
	6月	14	大切な体-自分の体 -プライベートゾーン	大切な体 プライベートゾーン・異性への関心	1時間	学年または学級	宿泊学習と合わせて指導 日生でも指導
	7月	24.26.27	大切な体-大きくなる体 -自分の成長に気づく -発育・発達の性差、個人差 -第二性徴の男女の違い	大切な体 男女の違い、体の発育・発達、思春期の体の変化	1時間	学年または学級	宿泊学習と合わせて指導 日生でも指導
	8月						
	9月						
後期	10月	30	大人になる心-思春期の心 -心の成長・異性への関心	大切な体-思春期の心	1時間	男女別または学級	
	11月						
	12月	1.2.3	人とのかかわり-心地よい関係 -心地よさの体感 -他者への意識・関心 他者との心地よい関わり -他者との適切な距離感	人とのかかわり-心地よい関係	1時間	学級	必要に応じて自立活動、日生でも指導
	1月	4.5	人とのかかわり-私と家族 -家族の中での自分の役割(人の役に立つことを知る) -家族の成り立ち(結婚・出産・子育て)	家族の成り立ち、家族の一員としての役割	1時間	学級	
	2月						
	3月						

③ 3 学年

性に関する学習 年間指導計画（草案）

（ 中学 ） 部 （ 3 ） 学年

ねらい	<p>(1) 自分の心身の発達・発育の変化に気づき、自分や他人を大切にしようとする態度を育てる。</p> <p>(2) 男女の体には違いがあることを理解するとともに、互いに相手を思いやる心と態度を育てる。</p> <p>(3) 家庭や社会の役割やルールを理解し、適切な判断や行動がとれる能力や態度を育てる。</p>
-----	---

		チェックリストの番号	項目	内容	時間数	指導形態 (集団・指導者)	各教科での扱い
例	5月中旬	18, 19	大切な体-トイレの使い方 -トイレの使い方 (排尿・排便) 大切な体-トイレの使い方 -排尿・排便後の始末	・トイレのマナー・トイレットペーパーの使い方・水の流しかた・個室の使い方・手洗い・	2 時間	各学級・担任	同じ内容を扱う教科があればわかる範囲で書いておく ・6月頃に体育でも指導
前期	4月						
	5月						
	6月	30.31	大人になる心-思春期の心 -心の成長・異性への関心 -性的欲求、性についての不安や悩みの対処法	大切な体-思春期の心 異性への関心 (復習) 性的欲求、不安や悩み	1 時間	学級または個別	必要に応じて自立活動、日生でも指導
	7月	32.37	大人になる心-思春期の心 -性意識と望ましい性行動の選択・男女交際 性別-他者との関わり -デートDV・男女交際	男女交際・望ましい行動選択	1 時間	学級	必要に応じて自立活動、日生でも指導
	8月						
	9月						
後期	10月	28	大切な体-大人になる体 -体の変化、体の仕組み	大切な体 生殖に関わる機能の成熟	1 時間	男女別または学級	
	11月						
	12月	8	人とのかわり-自分を守る -性に関する情報への対処の仕方	性に関する情報の対処 (SNS含む)	1 時間	学級	日生でも指導
	1月	6.7.39	人とのかわり-自分を守る -性被害から身を守る 加害者にならないための心得 -性感染症・エイズ 性別-他者との関わり -避妊法・人工妊娠中絶	性感染症・対処法、性被害	1 時間	学級	必要に応じて自立活動、日生でも指導
	2月						
	3月						

## B. 山口県立萩総合支援学校 高等部

### ① 1 学年 A

#### 性に関する指導 年間指導計画 (例)

高等部		1 学年(A)						
		チェックリストの 番号	項目	内容	追記① 時間数	追記② 各時間の内容	指導形態 (集団・指導者)	各教科での扱い
例	5月中旬	18, 19	大切な体-トイレの使い方 -トイレの使い方(排尿・排便) 大切な体-トイレの使い方 -排尿・排便後の始末	・トイレのマナー・トイレットペーパーの使い方 ・水の流しかた・個室の使い方・手洗い	2 時間	①自分自身の体の名称を知る(プライベートゾーン)、トイレの知識(使い方) ②トイレの正しい使い方を知ろう。(拭き方の指導など)。	各学級・担任	同じ内容を扱う教科があればわかる範囲で書いておく ・6月頃に体育でも指導
前期	4月							
	5月							
	6月	(15,23)	大切な体-きれいな体 -汚れに気付く 大切な体-身だしなみ -むげそり・むだ毛の処理	・現場実習に向けた清潔な身なり(服装、頭髪、爪等)	1 時間	体の清潔について 身だしなみを整える	全学年(1~4類型)	
	7月	(12~14)	大切な体-自分の体 -自分の体への関心 大切な体-自分の体 -体の部分・名称・働き 大切な体-自分の体 -プライベートゾーン	・体の名称 ・プライベートゾーン	1 時間	体の名称について プライベートゾーンについて	全学年(1~4類型)	
	8月							
	9月	(16,17)	大切な体-きれいな体 -歯磨き・洗面・手洗い 大切な体-きれいな体 -入浴・洗体・洗髪・性器の清潔	・宿泊学習に向けた清潔な身なり(入浴、洗髪、洗体、性器の清潔、歯磨き、洗面、手洗い等)	1 時間	体の清潔と健康の維持について	全学年(1~4類型)	
	10月							
	11月							
	12月							
	1月	(3)	人とのかかわり-心地よい関係 -他者との適切な距離感	・具体的な距離感 ・良いタッチ、悪いタッチ	1 時間	人との距離について考える	全学年(1~4類型)	
	2月	(6)	人とのかかわり-自分を守る -性被害から身を守る・加害者にならないための心得	・性被害から身を守る ・加害者にならないための心得	1 時間	性被害から身を守るには	全学年(1~4類型)	
	3月							

② 2 学年 A

性に関する指導 年間指導計画 (例)

高等部 2 学年(A)

		チェックリストの 番号	項目	内容	追記① 時間数	追記② 各時間の内容	指導形態 (集団・指導者)	各教科での扱い
例	5月中旬	18, 19	大切な体-トイレの使い方 -トイレの使い方 (排尿・排便) 大切な体-トイレの使い方 -排尿・排便後の始末	・トイレのマナー・トイレットペーパーの使い方 ・水の流しかた・個室の使い方・手洗い	2 時間	①自分自身の体の名称を知る (プライベートゾーン)、トイレの知識 (使い方) ②トイレの正しい使い方を知ろう。(拭き方の指導など)。	各学級・担任	同じ内容を扱う教科があればわかる範囲で書いておく ・6月頃に体育でも指導
前期	4月							
	5月							
	6月	(15,23)	大切な体-きれいな体 -汚れに気付く 大切な体-身だしなみ -ひげ剃り・むだ毛の処理	・現場実習に向けた清潔な身なり (服装、頭髪、爪等)	1 時間	体の清潔について 身だしなみを整える	全学年 (1~4類型)	
	7月	(12~14)	大切な体-自分の体 -自分の体への関心 大切な体-自分の体 -体の部分・名称・働き 大切な体-自分の体 -プライベートゾーン	・体の名称 ・プライベートゾーン	1 時間	プライベートゾーンについて 自分の体の大切さについて	全学年 (1~4類型)	
	8月							
	9月	(16,17)	大切な体-きれいな体 -歯磨き・洗面・手洗い 大切な体-きれいな体 -入浴・洗体・洗髪・性器の清潔	・宿泊学習に向けた清潔な身なり (入浴、洗髪、洗体、性器の清潔、歯磨き、洗面、手洗い等)	1 時間	体の清潔と健康の維持について	全学年 (1~4類型)	
	10月							
	11月							
	12月							
	1月	(3)	人とのかわり-心地よい関係 -他者との適切な距離感	・具体的な距離感 ・良いタッチ、悪いタッチ	1 時間	人との距離の取り方の実際	全学年 (1~4類型)	
	2月	(6)	人とのかわり-自分を守ろう -性被害から身を守る・加害者にならないための心得	・性被害から身を守る ・加害者にならないための心得	1 時間	性被害から身を守るには	全学年 (1~4類型)	
	3月							

③ 3 学年 A

性に関する指導 年間指導計画 (例)

高等部

3 学年A

		チェックリストの 番号	項目	内容	追記① 時間数	追記② 各時間の内容	指導形態 (集団・指導者)	各教科での扱い
例	5月中旬	18, 19	大切な体-トイレの使い方 -トイレの使い方(排尿・排便) 大切な体-トイレの使い方 -排尿・排便後の始末	・トイレのマナー・トイレットペーパーの使い方・水の流しかた・個室の使い方・手洗い・	2 時間	①自分自身の体の名称を知る(プライベートゾーン)、トイレの知識(使い方) ②トイレの正しい使い方を知ろう。(拭き方の指導など)。	各学級・担任	同じ内容を扱う教科があればわかる範囲で書いておく ・6月頃に体育でも指導
前期	4月							
	5月							
	6月	(15,23)	大切な体-きれいな体 -汚れに気付く 大切な体-身だしなみ -むげろり・むだ毛の処理	・現場実習に向けた清潔な身なり(服装、頭髪、爪等)	1 時間	体の清潔について 身だしなみを整える	全学年(1~4類型)	
	7月	(12~14)	大切な体-自分の体 -自分の体への関心 大切な体-自分の体 -体の部分・名称・働き 大切な体-自分の体 -プライベートゾーン	・体の名称 ・プライベートゾーン	1 時間	プライベートゾーンについて 自分の体の大切さについて	全学年(1~4類型)	
	8月							
	9月	(16,17)	大切な体-きれいな体 -歯磨き・洗面・手洗い 大切な体-きれいな体 -入浴・洗体・洗髪・性器の清潔	・修学旅行に向けた清潔な身なり(入浴、洗髪、洗体、性器の清潔、歯磨き、洗面、手洗い等)	1 時間	体の清潔と健康の維持について	全学年(1~4類型)	
	10月							
	11月							
	12月							
	1月	(3)	人とのかわり-心地よい関係 -他者との適切な距離感	・具体的な距離感 ・良いタッチ、悪いタッチ	1 時間	人との距離の取り方の実際	全学年(1~4類型)	
	2月	(6)	人とのかわり-自分を守る -性被害から身を守る・加害者にならないための心得	・性被害から身を守る ・加害者にならないための心得	1 時間	性被害から身を守るには	全学年(1~4類型)	
	3月							

④ 1 学年 B

性に関する指導 年間指導計画 (例)

高等部

1 学年⑥

		チェックリストの 番号	項目	内容	追記① 時間数	追記② 各時間の内容	指導形態 (集団・指導者)	各教科での扱い
例	5月中旬	18, 19	大切な体-トイレの使い方 -トイレの使い方 (排尿・排便) 大切な体-トイレの使い方 -排尿・排便後の始末	・トイレのマナー・トイレトペーパーの使い方・水の流しかた・個室の使い方・手洗い	2 時間	①自分自身の体の名称を知る (プライベートゾーン)、トイレの知識 (使い方) ②トイレの正しい使い方を知ろう。(拭き方の指導など)。	各学級・担任	同じ内容を扱う教科があればわかる範囲で書いておく ・6月頃に体育でも指導
前期	4月							
	5月							
	6月							
	7月	(30,31)	大人になる心-思春期の心 -心の成長・異性への関心 大人になる心-思春期の心 -性的欲求、性についての不安や悩みの対処法	・異性への関心 ・性について不安や悩みの対処法	2 時間	①性意識の男女差や個人差の理解 ②異性の気持ちの尊重	全学年 (5,6類型 C課程)	「家庭科」性的自立について 5月頃指導 (C課程 1 年)
	8月							
	9月							
	10月							
	11月							
	12月							
	1月	(26~28)	大切な体-大きくなる体 -発育・発達の性差、個人差 大切な体-大人になる体 -思春期の男女の違い 大切な体-大人になる体 -月経・排卵の仕組み、射精の仕組み	・男女の体の違い (月経、射精) ・発達の性差、個人差	1 時間	生殖器の男女の違いや発達について	全学年 (5,6類型 C課程)	「保健」第2単元で指導 (C課程 2年)
	2月	(37)(38)	性別-他者との関わり -性交・妊娠・出産 性別-他者との関わり -デートDV・男女交際	・性交、妊娠、出産 ・デートDV、男女交際	2 時間	①妊娠中の胎児及び母体の変化について ②性暴力について	全学年 (5,6類型 C課程)	「保健」第2単元で指導 (C課程 2年)
	3月							

⑤ 2 学年 B

性に関する指導 年間指導計画 (例)

高等部

2 学年⑧

		チェックリストの 番号	項目	内容	追記① 時間数	追記② 各時間の内容	指導形態 (集団・指導者)	各教科での扱い
例	5月中旬	18, 19	大切な体-トイレの使い方 -トイレの使い方 (排尿・排便) 大切な体-トイレの使い方 -排尿・排便後の始末	・トイレのマナー・トイレットペーパーの使い方 ・水の流しかた・個室の使い方・手洗い	2 時間	①自分自身の体の名称を知る (プライベートゾーン)、トイレの知識 (使い方) ②トイレの正しい使い方を知ろう。(拭き方の指導など)。	各学級・担任	同じ内容を扱う教科があればわかる範囲で書いておく ・6月頃に体育でも指導
前期	4月							
	5月							
	6月							
	7月	(30,31)	大人になる心-思春期の心 -心の成長・異性への関心 大人になる心-思春期の心 -性的欲求、性についての不安や悩みの対処法	・異性への関心 ・性について不安や悩みの対処法	2 時間	①セクシュアルハラスメントについて ②性情報の取捨選択について	全学年 (5,6類型 C課程)	「家庭科」性的自立について 5 月頃指導 (C課程 1 年)
	8月							
	9月							
	10月							
	11月							
	12月							
	1月	(26~28)	大切な体-大きくなる体 -発育・発達の性差、個人差 大切な体-大人になる体 -思春期の男女の違い 大切な体-大人になる体 -月経・排卵の仕組み、射精の仕組み	・男女の体の違い (月経、射精) ・発達の性差、個人差	1 時間	思春期の心の発達について	全学年 (5,6類型 C課程)	「保健」第 2 単元で指導 (C課程 2 年)
	2月	(37)(38)	性別-他者との関わり -性交・妊娠・出産 性別-他者との関わり -デートDV・男女交際	・性交、妊娠、出産 ・デートDV、男女交際	2 時間	①出産及び出産時の母体の健康について ②性暴力の様々な形について	全学年 (5,6類型 C課程)	「保健」第 2 単元で指導 (C課程 2 年)
	3月							

⑥ 3 学年 B

性に関する指導 年間指導計画 (例)

高等部

3 学年⑧

		チェックリストの 番号	項目	内容	追記① 時間数	追記② 各時間の内容	指導形態 (集団・指導者)	各教科での扱い
例	5月中旬	18, 19	大切な体-トイレの使い方 -トイレの使い方 (排尿・排便) 大切な体-トイレの使い方 -排尿・排便後の始末	・トイレのマナー・トイレットペーパーの使い方 ・水の流しかた・個室の使い方・手洗い	2 時間	①自分自身の体の名称を知る (プライベートゾーン)、トイレの知識 (使い方) ②トイレの正しい使い方を知ろう。(拭き方の指導など)。	各学級・担任	同じ内容を扱う教科があればわかる範囲で書いておく ・6月頃に体育でも指導
前期	4月							
	5月							
	6月							
	7月	(30,31)	大人になる心-思春期の心 -心の成長・異性への関心 大人になる心-思春期の心 -性的欲求、性についての不安や悩みの対処法	・異性への関心 ・性について不安や悩みの対処法	2 時間	①セクシュアル・ハラスメントの実際 ②性行動の選択について	全学年 (5,6類型 C課程)	「家庭科」性的自立について 5月頃指導 (C課程 1 年)
	8月							
	9月							
	10月							
	11月							
	12月							
	1月	(26~28)	大切な体-大きくなる体 -発育・発達の性差、個人差 大切な体-大人になる体 -思春期の男女の違い 大切な体-大人になる体 -月経・排卵の仕組み、射精の仕組み	・男女の体の違い (月経、射精) ・発達の性差、個人差	1 時間	思春期の健康課題について	全学年 (5,6類型 C課程)	「保健」第2単元で指導 (C課程 2年)
	2月	(37)(38)	性別-他者との関わり -性交・妊娠・出産 性別-他者との関わり -デートDV・男女交際	・性交、妊娠、出産 ・デートDV、男女交際	2 時間	①避妊法と人工妊娠中絶について ②性暴力とその対処について	全学年 (5,6類型 C課程)	「保健」第2単元で指導 (C課程 2年)
	3月							

# Ⅲ 『生命（いのち）の安全教育』実践事例（学校種別）

各実践校の実践事例を以下に掲載します。

## 1 幼稚園・保育園・認定こども園

### A. 東京学芸大学附属幼稚園小金井園舎

学年 4～5 歳児



\*授業の風景

## 自分も、相手も大切にしよう

### 取組概要 と工夫

- 学級活動、学校行事、ホームルームなどで指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学年一斉、学級別
  - ・ 取組に関する指導者 : 養護教諭
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/性暴力について
- 「家庭とともに行う生命（いのち）の安全教育」をめざして保護者説明会を実施。指導後は、子供が保護者へ指導内容を伝えたり、親が必要な指導内容を補足したりしたことが確認され、連携による相乗効果を確認。

### 題材の 目標

- 自分だけの大切なところ（プライベートゾーン）について理解することができる。（知識及び技能の基礎）
- 自分のことを大切にし、自分の身を守るための方法を考えることができる。（思考力、判断力、表現力等の基礎）
- 自分のことも相手のことも大切にしようとする気持ちを持つことができる。（学びに向かう力、人間性等）

### 題材に ついて

文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材（幼児期）」PowerPoint を活用した。内容は、自分のからだは大切であること、自分だけのだいじなところ（プライベートゾーン）、いやな気持ちになった時の対処法であった。指導 2「いやな気持ちになったら」では、追加教材として紙芝居「ルナとミミタ」（作：中村ルミ子、絵：鈴木 幸枝、出版社：童心社、発行日：2005 年 09 月、対象年齢：5 歳～小学校 1・2 年生、B4 判・12 場面）を使用した。

### 幼稚園教育要領 との関連

#### 幼稚園教育要領 第 2 章

##### ・健康

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。

##### 1 ねらい

(3) 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。

##### ・人間関係

他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。

- 1 ねらい
- (2) 身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感をもつ。
- (3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。

## 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	テーマ：じぶんだけのだいじなところ【ねらい】 <input type="checkbox"/> 自分の体は自分だけのもので大切であることを理解できるようにする。 <input type="checkbox"/> 自分だけの大切なところ（プライベートゾーン）を理解できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（プール前の安全指導の中で）なぜプールでは水着を着るのか考えさせる。</li> <li>・自分だけの大切なところ（水着で隠れる部分）があることを知らせる。</li> <li>・自分だけの大切なところは人に見せたり、触らせたりしないことを理解させる。</li> <li>・自分の体も、相手の体も大切であることを伝える。</li> </ul>
2 (本時)	テーマ：いやな気持ちになったら【ねらい】 <input type="checkbox"/> 自分の体を見られたり、触られたりして嫌な気持ちになる場面について考え、このような場面が起こったときの対応方法を理解し、実践できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体を触られてしまう場面について考える。</li> <li>・触られていやなところは人によって違うことを知らせる。</li> <li>・きけんな人に会った時の対処法について考え、対処法を知らせる。</li> <li>・安心できる大人がいることに気づかせ、相談することの大切さを知らせる。</li> <li>・自分の体は大切であること、きけんから身を守る大切であることを伝える。</li> </ul>
3	テーマ：おおきくなったわたしたち【ねらい】 <input type="checkbox"/> 赤ちゃんが生まれるまでの様子を知り、生命の神秘さや尊さを感じ、自分のいのちを大切にしようとする気持ちを持つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いのちがどこから生まれるのか問い、おなかの中で赤ちゃんが育つことを知らせる。</li> <li>・赤ちゃん人形を抱っこし、生まれた時の大きさ・重さを知る。</li> <li>・生まれるまで、生まれてからも、家族や幼稚園の先生など、たくさんの人に見守られて大きくなっていることを知らせる。</li> <li>・自分のことも、相手のことも大切に、いのちを大切にしてほしいことを伝える。</li> </ul>

## 保育の展開

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や相手のプライベートゾーンを大切にしようとする気持ちをもつことができる。</li> <li>・プライベートゾーンを触られて嫌な気持ちになったときの対処法を考え、理解することができる。</li> </ul>
-----	--

学習活動	◇評価 <sup>1</sup>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● プール前に指導したプライベートゾーンについて振り返る。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・水着を着るのはなぜだったかを問い、「自分だけの大切なところ」を振り返る。</li> <li>・水着で隠れる部分のことを「プライベートゾーン」ということを知らせる。</li> <li>・人に見せない・触らせないところであることを復習する。</li> </ul> </li> </ul>	◇プライベートゾーンについて生活と結び付けて理解している。

<sup>1</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育のめあてを知る。</li> </ul>	
<p>いやなきもちになったとき、どうしたらよいかかんがえよう</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 紙芝居ルナとミミタ<sup>2</sup>&lt;前半&gt;を聞き、ルナはどうして泣いてしまったのか考える。 予想される反応：「くすぐったかったから」「いやだったから」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルナはプライベートゾーンを触られたことで嫌な気持ちになったことを押さえる。</li> <li>・ ルナとミミタの気持ちを考えさせ、それぞれの気持ちを板書する。ミミタ「たのしい」ルナ「いや」</li> <li>・ 自分が楽しいと思っしていることも、相手にとっては嫌な気持ちになることがあることを押さえる。</li> </ul> </li> <li>● スキンシップをとる2つのイラストを見せ、自分だったらどんな気持ちになるか考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プライベートゾーンではないところでも、急に触られるとびっくりしたり嫌な気持ちになったりすることに気づかせる。</li> <li>・ 「さわられていやなところは人によって違う」ことを押さえる。</li> <li>・ 口や顔もプライベートゾーンの一つであることを知らせる。</li> <li>・ プライベートゾーンを含め、自分のからだはとても大切であり、自分自身で守ってほしいことを伝える。</li> </ul> </li> <li>● 紙芝居ルナとミミタ&lt;後半&gt;を聞き、おじさんうさぎに触られたミミタはどうしたらよいかを考える。 予想される反応：「だめ」「いやと言う」「逃げる」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供の意見を板書し、さまざまな対処法を引き出す。</li> </ul> </li> <li>● いやな気持ちになった時の3つの対処法を知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「いやと言う」「逃げる」「安心できる大人に話す」ことをしてほしいと伝える。</li> </ul> </li> <li>● 「きけんなひと」について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2つの場面（おかしをくれる、車に乗るよう誘う）を提示して注意するように知らせ、3つの対処法で身を守るように伝える。</li> </ul> </li> <li>● 紙芝居ルナとミミタ&lt;まとめ&gt;を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ きけんな人だけでなく、自分のことを守ってくれる「安心できる大人」が近くにいることを知らせる。</li> <li>・ いやな気持ちになった時は安心できる大人（自分の家族、幼稚園の先生）に必ず話すように伝える。</li> </ul> </li> </ul>	<p>◇登場人物の心情を考え、自分なりに思いを口にしたり、教員に伝えようとしている。</p> <p>◇きけんなひとから身を守るための方法を考え、自分なりに思いを口にしたり、教員に伝えようとしている。</p> <div data-bbox="965 981 1375 1272" style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">じぶんだけのだいじなところをさわられていやなきもちになったら、「いやだ！」といおう。にげよう。あんしんできるおとなにおはなししよう。</p>  </div>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育のまとめ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日のお話でどんなことがわかったかを問い、いやな気持ちになった時の3つの対処法を押さえる。</li> <li>・ 自分のからだはとても大切であること、お友達やみんなの体も大切であること、大切に守ってほしいことを伝える。</li> </ul> </li> </ul>	<p>◇保育でわかったことを自分なりに口にしたり、教員に伝えようとして、毎日の生活の中で生かそうとしている。</p>

**使用教材**  
 ・準備物  
 /留意事項

- 「生命（いのち）の安全教育教材（幼児期）」の活用を基本とする<sup>3</sup>。ICT教材でなく、ホワイトボードを用いてラミネートしたスライド教材を示して指導する。
- 追加教材として紙芝居「ルナとミミタ」（作：中村ルミ子、絵：鈴木 幸枝）を使用する。
- 指導後は、保育室にスライド資料を掲示する。指導した内容をお子様と話し合ってもらおうよう護者の方へ依頼する。

<sup>2</sup> ルナとミミタ：中村ルミ子 脚本／鈴木幸枝 絵； <https://www.doshinsha.co.jp/search/info.php?isbn=9784494078721>  
<sup>3</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 2～7 ページを参照のこと。

## B. そがチャイルドハウス保育園

学年 3～4 歳児



\*授業の風景

# 大切なころ・からだ

### 取組概要 と工夫

- 日常の保育中の取組として実施。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学級別、(任意の集団)
  - ・ 取組に関する指導者 : 幼児クラスリーダー、クラス担当、外部講師
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重 / 水着で隠れる部分 / その他 (就学に向けての防犯)
- 対象園児は縦割り保育のため 3～5 歳、日頃から取り組んでいる対話 (語りかけ) を中心に、ペープサート、紙芝居、「NO・GO・TELL」体操等を用いて「大切な自分」を指導。  
保護者と子供の対話を促進するオリジナルの絵本も作成。

### 題材の 目標

- 親子で学ぼう「大切な自分」  
子供 (自分) は大切な一人の人間であることを知る。  
自分の伝えたい思いを大人に伝えることができるようになる。  
子供を取り巻く大人が子供の育ちを理解し、心と体を健やかに育む。
- 保育士が「生命 (いのち) の安全教育」としての単体の活動のみでなく、日常生活の中で生命を学び合う環境をつくる。

### 題材に ついて

幼児期における生命 (いのち) の安全教育の実施において、専門的な意見と保護者の思いを伺いながら進め方を検討している。  
子供の理解、発達段階、その伝え方に疑問や不安がアンケートで回答があった。保護者向けの説明会の時間を設けることで「自分は世界に 1 人だけの大切な人間」「尊い生命」は幼児期から伝えていくことができると理解していただく。

### 保育所保 育指針と の関連

#### 保育所保育指針

##### 第 2 章保育の内容

##### 3 3 歳以上児の保育に関するねらい及び内容

##### (2) ねらい及び内容

##### ア 健康

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。

##### (ア) ねらい

- ③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する。

##### イ 人間関係

他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。

##### (ア) ねらい

- ③ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。

## Ⅰ 言葉

経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。

### (ア) ねらい

- ② 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。

## 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	プライベートゾーン（みずぎでかくれるところ）について	・ ひとりひとりが興味を持って生命（いのち）の安全教育に参加できるように工夫。
2	距離感について学ぶ①	・ 紙芝居を見ながら、子供達が自分たちの意見を文字にし、学んだことを発表・確認できるようにする。
3	距離感について学ぶ②	・ 自分を守るにはどうしたらいいのかを体験をしながら考えていく。
4	NO・GO・TELL について再確認する	・ 皆で今までの活動の内容を確認し合い、体操講師と NO・GO・TELL 体操を踊って楽しむ。

## 保育の展開

### ■ 1 時間目の展開

ねらい	プライベートゾーン（みずぎでかくれるところ）について学ぶ
-----	------------------------------

学習活動	指導上の留意点
● 会場に入室	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 開始時間が近づいたら水分補給やトイレを済ますように見守る</li><li>・ 見やすいように年少さんが前、年中さんが後ろに座るように配慮する</li><li>・ 活動の流れ、内容を簡単に説明 「だいじなお話しをするから静かに聞いてほしい」 「質問がある時には手を挙げてほしい」 「トイレに行きたくなったら行っていい」など</li></ul>
● ペーパーパートを見る →③まで続く	<ul style="list-style-type: none"><li>・ キャラクターの紹介 子供が興味を持って聞いてくれるように紹介していく。 「みんなと同じ年齢、もんペを穿いている」「運動が大好きなのんちゃん」「恥ずかしがり屋のごうくん」等、キャラクターに質問をしながら「生命（いのち）の安全教育」の内容をすすめていく</li></ul>
● 保育者からの質問に手を挙げて答える	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ①じぶんのからだ だいじ 絵本「だいじだいじどーこだ」の内容をなぞっていく</li><li>・ ②からだを大事にするって何をするの？ いのちのはなし</li></ul>
● 保育者の資料を見ながらお話しを聞く	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ③水着でかくれるところ</li></ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育者たちの劇を見ながら一緒に考えていく</li> <li>● ペープサートを見る</li> <li>● 保育者からの質問に答えてもらう</li> </ul>	<p>写真も動画も撮らせたら× お風呂で自分の体を洗えるかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ④いやなきもち・いやだって言っていおう！ 遊んでいる時にもあるよ。 「いやだ」って言ってみよう</li> <li>・ ⑤安心できる大人って誰？ お話を聞いた感想が言える子は発表 質問形式の方が話しやすい場合は問いかける 子供のそばにつき、声が小さく聞き取れない、 発表が難しい場合は保育者に耳打ちでも良い</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 終了の挨拶</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お話しをしてくれた方から感想を聞き、挨拶をする</li> </ul>

## ■ 2 時間目の展開

ねらい	距離感について学ぶ①
-----	------------

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会場に入室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水分補給、トイレを済ませる</li> <li>・ 活動の流れ、内容を簡潔に説明する ①防犯の紙芝居 ②大人と力比べ ③NOGOTELL の振り返り（年中児のみ） ※質問に答える時には挙手する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 紙芝居を見る</li> <li>● 意見を言う時には挙手する 人の意見をしっかり聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①紙芝居は 3 枚で 1 話になっているので、1 話ごとに子供に質問をしながらすすめていく</li> <li>・ ②大人との手の長さ比べ やってみたい人に前にでてきてもらい、皆の前で体験をする ※知らない大人との距離のとり方を学ぶ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 吹き出しの形の画用紙を渡し、一人一人が考えて記入できるようにしていく</li> <li>● 文字が書けない子供は年中児に依頼し、手伝ってもらう</li> <li>● 書き終わったものを模造紙に貼っていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ③NOGOTELL の振り返り 嫌な気持ちになった時は何て言うのか、自分を守るためにできることは何か、安心できる大人は誰かを対話しながら子供と一緒に考えていく</li> <li>・ 完成した模造紙を見ながら振り返りをしていく</li> </ul>

## ■ 3 時間目の展開

ねらい	距離感について学ぶ②
-----	------------

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 椅子の準備を自分で行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開始時間が近づいたら水分補給やトイレを済ますように見守る</li> <li>・ 見やすいように年少さんが前、年中さんが後ろに座るように配慮する</li> <li>・ 今日の活動の流れを説明していく ①大人との距離のとり方 話し掛けられても近寄らない ②大人の手をふりほどく体験 ③車に乗せられてしまったら・・・のお話し</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループに分かれて活動をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①絵本を見せながら大人との距離のとり方を伝える</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>②室内で活動 保育者と手の長さを比べ、大人の手の長さを知り、捕まらない程度の距離を知る 捕まれてしまった時には ※大きな声を出す、腕を強く振り、ほどこうとする等できることを一緒に考える</li> <li>③戸外で活動 車の中から大きな声を出しても外には聞こえないことを知る →ぜったいに車に乗らないこと</li> <li>適宜休憩をしながら ②③の活動を交代して実施</li> </ul>
● 終了の挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>最後は室内に集まり、今日の振り返りをして終了</li> </ul>

#### ■ 4時間目の展開

ねらい	NO・GO・TELL について再確認する
-----	----------------------

学習活動	指導上の留意点
● 会場に入室	<ul style="list-style-type: none"> <li>水分補給、トイレを済ませる</li> <li>活動の流れ、内容を簡潔に説明する</li> <li>①紙芝居 ※質問に答える時には挙手する</li> <li>②NOGOTELL 体操</li> <li>講師の紹介</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 紙芝居を見る</li> <li>● 意見を言う時には挙手する 人の意見をしっかり聞く</li> <li>● 体を動かすため、距離をとって個人のスペースを確保する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ①「イヤって言える？」の紙芝居の中から数枚を読む</li> <li>● 子供に質問をし、一緒に考えながらすすめていく</li> <li>● また、子供からの疑問や意見を共有していく</li> <li>● ②体操講師のお話し 怪我のないように準備運動、まわりの友達に手や足が当たらないようにスペースをつくる</li> <li>● NOGOTELL 体操を踊ってみせる 一緒に踊る</li> </ul>
● その場に座ってもらう	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 御礼の挨拶</li> </ul>

#### 使用教材 ・準備物 /留意事項

- 使用教材
  - ・ (1時間目)  
ペープサート・自己紹介用資料  
絵本「だいじだいじどーこだ」
  - ・ (2時間目)  
絵本「とにかくさげんでにげるんだ」の紙芝居  
キャラクターのイラストを貼った模造紙  
吹き出しの形の色画用紙  
ペン数本
  - ・ (3時間目)  
絵本「ぜったいについていけないよ」  
車1台
  - ・ (4時間目)  
「イヤって言える？」の紙芝居  
(千葉県男女共同参画センターから借用)  
音響スピーカー

- ・ (家庭内)  
親子で読める絵本テキスト「おおきくなっていくあなたへ」<sup>4</sup>

- 留意事項

- ・ オリジナルの絵本やペープサート、紙芝居等を用いて、子供と対話をしながら「大切なところ・からだ」を知らせていく
- ・ 自分や相手の意見を書き出す、クイズ形式を取り入れて活動の振り返り、学びの定着を図る
- ・ 歌やダンス、体を動かしながら保育の活動の中に取り入れる



\*ペープサート



\*親子で読めるオリジナル絵本テキスト「おおきくなっていくあなたへ」

<sup>4</sup> 使用教材については資料編別冊 8～9 ページを参照のこと。

## C. 多摩福祉会 多摩保育園／すみれ保育園

学年 5 歳児



\*授業の風景

# 自分と友達の心と体を大事にしよう

### 取組概要 と工夫

- 保育所保育指針「健康及び安全」に則って、日常の保育活動の一環として実施。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 1 クラスに対する集団指導、並びに個別指導
  - ・ 取組に関する指導者 : ティーム・ティーチング  
(東京女子体育大学講師・公認心理士・クラス担当)
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重 / 水着で隠れる部分 / その他 (心のエネルギー)
- 子供の数ある「困った感」に対する相談希求力を高める「心のエネルギー<sup>5</sup>」に着目した指導を推進。

### 題材の 目標

- 多様な性があるとともに自分と他者の心と体を大事にする感覚を学ぶ。
- 困った時に困ったといえる相談希求力の向上を図る。

### 題材に ついて

自分と友達の心と体を大事にする感覚を養うとともに相談希求力を発揮し、加害者、被害者、傍観者にならないための感覚、行動をクイズやロールプレイを通し、感じ考える。自分と友達を大事にするために自分ができる行動とはなにかを意識させていく。

### 保育所保 育指針と の関連

#### 保育所保育指針

#### 第3章 健康及び安全

#### 1 子どもの健康支援

#### (1) 子どもの健康状態並びに発育及び発達状態の把握

ア 子どもの心身の状態に応じて保育するために、子どもの健康状態並びに発育及び発達状態について、定期的・継続的に、また、必要に応じて随時、把握すること。

ウ 子どもの心身の状態等を観察し、不適切な養育の兆候が見られる場合には、市町村や関係機関と連携し、児童福祉法第 25 条に基づき、適切な対応を図ること。また、虐待が疑われる場合には、速やかに市町村又は児童相談所に通告し、適切な対応を図ること。

<sup>5</sup>「わが子の『やる気スイッチ』はいつ入る? (菅野 純 著)」より。心のエネルギーは、元気や意欲 (やる気) の「素」とされている。心のエネルギーの充足には①安心感②楽しい体験③認められる体験が必要とされている。

## 指導計画

時	主な学習活動	◎指導上の留意点 ◇評価 <sup>6</sup> ☆安全教育の視点に立った留意点
1	自他の体のだいじなところを 1：見せない 2：見ない 3：触らせない 4：触らない で、自他を大事にする行動について考える。	☆クイズを通して自他の体のだいじなところを守る行動への理解を促す。 ◇クイズを通して、得た学びを適切に活用している。 ◎ポジティブフィードバックを行う。
2	困った場面での対処方法を、ロールプレイを通して考え、実践する。	☆困った場面を具体的にイメージできるようにカードを用い、ロールプレイを行う。 ◇困った場面を想定して、自分の気持ちを伝えられている。 ◎ポジティブフィードバックを行う。
3	他者の困り感に気づき、それを大人に伝える対処方法を、ロールプレイを通して考え、実践する。	☆他者の困り感を具体的に大人に伝えられるようにカードを用い、ロールプレイを行う。 ◇他者の困り感を具体的に自分なりに伝えられている。 ◎ポジティブフィードバックを行う。

## 保育の展開

### ■ 1時間目の展開

ねらい

じぶんだけのだいじなところのおやくそく（デモンストレーション）

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 呼びかけ： 今日は、「じぶんだけのだいじなところのおやくそく」という紙芝居を読むよ。紙芝居のなかで、クイズもあるから、みんなでやってみようね。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供達に問いかける。</li> <li>● 子供達に手を使って○・×を示すよう伝える。クイズでは子供が○×を示しおえたら、その都度答えは「×」であることを伝える。</li> <li>● 教職員が子供の体を見たり、触ったりする時は必ず理由を伝える。もし理由が伝えられないときは、例え教職員であっても見せたり、触らせたりしてはだめであることを丁寧に伝える。</li> <li>● 子供がおやくそくの内容を理解しているかを確認する。一生懸命聞いてくれたことに、感謝の意を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供の意見を共有する。また、LGBTQ のトランスジェンダーの子供がいることも想定して、男の子の水着＝パンツタイプではないことを伝える等工夫する。</li> <li>・ 難しいクイズに取り組んでいる子供達に適宜ポジティブフィードバックを行う。</li> <li>・ 理解が未定着である子供を観察者が確認し、個別にフォローを行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 紙芝居をみて、どのように感じたかを子供達に問いかけて、共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 批判や批評等ではなく共有する時間にする。</li> </ul>

<sup>6</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

■ 2 時間目の展開

ねらい	
こまったときに、こまったかおして「こまった」といおう！（ロールプレイ）	
学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 呼びかけ： 今日は、「こまったときに、こまったかおして『こまった』といおう！」っていう紙芝居を読むよ。紙芝居のなかで、クイズもあるから、みんなでやってみようね。おともだちと一緒に練習もしてもらおうよ。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供達に問いかける。</li> <li>● マスクをはずし、嬉しそうな表情と声で同席した教職員の名前を用い、「〇〇先生、こまっています」と言う。子供に困った顔と言葉で伝えられていたか問う。</li> <li>● 困った表情と声で「〇〇先生、こまっています」と言う。子供に困った顔と言葉で伝えられていたか問う。</li> <li>● 相談希求力向上カード「こまっています」カードを用い、二人の教職員でロールプレイの見本を行う。</li> <li>● 2 人組を決めて、子供同士でロールプレイを行う。ロールプレイの様子を観察し、子供の様子で気づいたことをフィードバックする。</li> <li>● カードはどの教職員に見せてもいいことを伝えておく。</li> <li>● 紙芝居をみて、ロールプレイをやってみて、どのように感じたかを子供達に問いかけて、共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供の意見を共有する。</li> <li>・ やや大袈裟な感じで演じる。子供からの具体的なフィードバックを共有する。例：「姿勢がよすぎる」「声が元気すぎる」「しよぼんとしてよかった」「首が下向いてて困っているのがわかった」等。</li> <li>・ 子供に相談希求力向上カード「こまっています」カードを配布する。<u>ロールプレイでは、そのクラスで起こる日常場面を取り上げる。</u></li> <li>・ 理解が未定着である子供・表情が暗い子供等を観察者が確認し、個別にフォローを行う。</li> <li>・ 批判や批評等ではなく共有する時間にする。</li> </ul>

■ 3 時間目の展開

ねらい	
おともだちが、「こまっている」ことをつたえよう！（ロールプレイ）	
学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 呼びかけ： 今日は、「おともだちが、『こまっている』ことをつたえよう！」っていう紙芝居を読むよ。おともだちと一緒に練習もするよ。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供達に問いかける。</li> <li>● 他の教職員に「せんせい、あのね、まちがっているかもしれないんだけどね」と子供から教えてもらった時どう思うかを問う。聞かれた職員は、そうしてもらうことで教職員やお家の人ができるということを伝える。</li> <li>● 大人もわからない・気づかないことがあることを伝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子供の意見を共有する。</li> <li>・ 2 種類のカードを配布する。</li> </ul>

<p>える。カードの表と裏を読みあげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 相談希求力向上カード「せんせいあのね」「あのね」カードを用い、二人の教職員でロールプレイの見本を行う。</li> <li>● 2人組を決めて、子供同士でロールプレイを行う。ロールプレイの様子を観察し、子供の様子で気づいたことをフィードバックする。</li> <li>● 伝えてもらえると教職員やお家の方が助かるということを再度伝える。カードはどの教職員に見せてもいいことを伝えておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>ロールプレイでは、そのクラスで起こる日常場面を取り上げる。</u></li> <li>・ 理解が未定着である子供・表情が暗い子供等を観察者が確認し、個別にフォローを行う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 紙芝居をみて、ロールプレイをやってみて、どのように感じたかを子供達に問いかけて、共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 批判や批評等ではなく共有する時間にする。</li> </ul>

使用教材  
・準備物  
/留意事項

- 「生命（いのち）の安全教育教材」を基礎教材とする<sup>7</sup>。
- デモンストレーションやイラストやクイズ、カード（相談希求力向上カード「こまっています」カード）をも用いたロールプレイ等を用いることで、知識と共に経験を重ねて、自分と他者の心と体を大事にする感覚を意識できるようにする。
- 日々の生活の中で学んだことを繰り返し行うことで、生活の中で意識できるようにする。



\*相談希求力向上カード「こまっています」カード

<sup>7</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 10～26 ページを参照のこと。

## D. 上士幌町認定こども園

学年 5 歳児



\*日常の読み聞かせの風景

# プライベートゾーンが自分だけの大切なところであることを学ぶ

### 取組概要 と工夫

- 日常保育の一環として指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学年一斉  
(年長の子供と、保育教諭と一緒に授業を行う形式)
  - ・ 取組に関する指導者 : 保育教諭
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/水着で隠れる部分
- 子供たちの記憶に残りやすい、プール遊びの1週間ほど前の時宜を得たタイミングで、プライベートゾーンについて対話形式による指導を実施。

### 題材の 目標

- プール遊びについて事前の準備と遊びについて学ぶ。
- プールの楽しさや怖さについて学ぶ。
- 教材を活用し、プライベートゾーンが自分だけの大切なところであることを学ぶ。

### 題材に ついて

「プール遊び」の事前指導で「生命（いのち）の安全教育教材」を活用し、男子と女子の違いや身体の大変な部分等について、触らせたり見せたりしないこと等に関して指導を行う。また、冬の「自然体験学習」の際、温泉体験に向けた事前指導にも同教材を活用する。

プール遊び等の事前指導であるため、水着から身体の大変な部分について園児にもイメージしやすく、効果があがる。

教材については幼児から小学校低学年向けであるため、保育教諭が幼児にもわかるような言葉に置き換えて指導にあたる。

### 教育・保 育要領と の関連

#### 幼保連携型認定こども園教育・保育要領

第2章ねらい及び内容並びに配慮事項

第3 満3歳以上の園児の教育及び保育に関するねらい及び内容

ねらい及び内容

人間関係

2 内容

(9) よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。

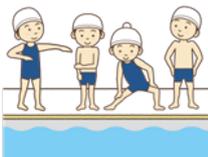
## 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	プライベートゾーンについて学ぶ	<p>普段の生活の中で、男女を意識し始める言動が見られるようになったときにタイムリーに指導することに留意する。</p> <p>指導の時期としては「プール遊び」等の実体験と連携した学びが効果的である。</p>

## 保育の展開

ねらい

プライベートゾーンについて学ぶ

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● プール遊びの楽しさ等、希望を持って聞く。</li> </ul>  <p>図を見て水着とプールキャップを用意することを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>身体を隠す大きめのタオル</u>を用意することを理解する。</li> <li>● プール遊び中に気を付けることを理解する。</li> <li>● 楽しむことは大切。でも水中では決してふざけないことを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プール遊びについて</li> <li>・ 図を提示し、プールで使用する水着とプールキャップを用意することを伝える。男児と女児の水着の違いを伝える。</li> <li>・ プール遊び後に着替えをすることを伝え、身体を拭くタオルの用意を伝える（大きめのもの）</li> <li>・ プールでの諸注意を伝える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プールに入る前に体を洗う</li> <li>・ 指導員の指示に従うことを伝える</li> <li>・ プールでははしゃがないことを伝える</li> <li>・ 友だちの練習の邪魔をしないように、水の中は危険であることを伝える。</li> </ul> </li> </ul>

### プライベートゾーンについて

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他人がいるときにむやみに裸になるものではないことを理解する。</li> <li>● プライベートゾーンを確認し、「いやだ」とはっきり主張すること、信頼できる大人に知らせることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プールに入る時水着を着るのはなぜかな？ 問いかける。 お風呂は裸であること。</li> <li>・ 水着で隠れているところは自分だけの大事なところであることを伝える。（口や顔も大事）</li> <li>・ 他の人の水着で隠れているところも見たり触ったりしないことを伝える。</li> <li>・ 自分だけの大事なところを触られて嫌な気持ちになったら「いやだ」と言ってその場を離れ、信頼できる大人に話すこと。 認定こども園であれば先生、その他は保護者や近くにいる大人に。</li> <li>・ びっくりしたり、いやな気持ちになる時ってどんな時だろう？</li> <li>・ 園児の意見を聞き、それぞれの意見を肯定しながら図 20 を提示し、知らない人にジロジ</li> </ul>
---	--

- 水着でかくれているところは、じぶんだけの大事なところを確認する。

- 見られることも危険なことを伝える。
  - ・ 再度水着で隠れているところは自分だけの大事なところであることを伝える。

## 使用教材

### ・準備物

### /留意事項

- 「生命（いのち）の安全教育教材」を基礎教材とする<sup>8</sup>。
- 子供たちの聞く姿勢を大切に、お話を進める。
- 子供たちの意見を大切に受け取り、大事なことを伝えるように心掛ける。

<sup>8</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 27～28 ページを参照のこと。

## 2 小学校

### A. 東京学芸大学附属竹早小学校

(特別活動(1年生)、自己実現活動(3、5年生))

学年 小学1・3・5年生



\*授業の風景

## 自分や友だちを守る力を育てよう

### 取組概要 と工夫

- 特別活動(学級活動)(1年生)、自己実現活動<sup>9</sup>(3、5年生)にて指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学年一斉(1、3年生)、学級別(5年生)
  - ・ 取組に関する指導者 : 養護教諭
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重 / 水着で隠れる部分 / SNSの危険性
- 事前アンケートでの児童の実態を踏まえ、重点指導を計画した。また、授業中に子供たちのアンケート結果を提示、自分ごととしての理解を促進。

### 題材の 目標

- 自分やともだちの心や体をたいせつにしよう
- 大切な友だちとより良い関係を築こう
- 被害者にも加害者にもならない行動について考えよう

### 題材に ついて

子供たちが性被害に遭わないだけでなく、加害者や傍観者にならないために、発達段階に応じた、上学年・下学年にわけて、指導内容を精査する。  
事前のwebアンケートの結果や本校の児童の実態を踏まえ、自他の生命の大切さについて考えを深め、知識や考えを実生活に生かし主体的に行動するための、視覚・歌唱教材や状況事例などを活用した指導内容とする。

### 学習指導 要領との 関連

#### 小学校学習指導要領

##### 特別活動

##### 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

##### 〔学級活動〕

##### 2 内容

- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

<sup>9</sup> 実践校では国立大学の附属学校として「自己実現活動」という教科横断的な枠組みを用いて授業を行っている。「自己実現活動」の時間は色々な教科から抽出されている。体育科や算数、理科等も一部がその活動時間に組み込まれている。

## 指導計画<sup>10</sup>

時	主な学習活動	安全教育の視点に立った留意点
1 下学年 (第1学年・第3学年)	自分やともだちの心や体をたいせつにしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らに心や体を守るために必要な知識を視覚教材や歌唱教材を通して、日ごろの生活とリンクしながら、理解することができるよう配慮する。</li> </ul>
1 上学年 (第5学年)	大切な人たちとより良い関係を築こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>自らの心や体を守るための行動や周りの人との安心安全な関係について考えることのできる状況事例視覚教材化したものを活用し考えを深める支援をする。</li> </ul>

## 授業の展開

### ■ 授業（下学年（第1学年・第3学年））の展開

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>プライベートゾーン等の自分だけの大切な場所についてしろう。</li> <li>いやな気持ちになった時の対処方法をしろう。</li> </ul>
-----	--

学習活動 ● 教員の指導 ■ 児童の活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>「おしえて! くもくん」の絵本を読む。(4Pまで) 発問) くもくんは、どうしてあわてて飛んできたのでしょうか?  <ul style="list-style-type: none"> <li>ふざけたから</li> <li>パンツをおろしちゃったから</li> <li>かれんちゃんが、「きゃーっ」っていったから</li> </ul> </li> <li>学習の内容を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせをしながら、登場人物の気持ちに寄り添って聞けるよう配慮する。</li> </ul>
今日のめあて：自分やともだちの心や体をたいせつにしよう	
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の体が自分だけのもので、とても大切であることを説明する。</li> <li>自分の体を大切にする行動について考える。</li> <li>自分だけの大切な場所（プライベートゾーン）について説明する。</li> <li>自分だけの大切なところをさわられたときの対処方法について説明する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>にげる。</li> <li>安心できる大人に話す。</li> </ul> </li> <li>自分の心を大切にする行動について考える。</li> <li>「いやだ!」と言えなかった時、についての状況事例を提示する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>被害にあった自分を責めない。</li> </ul> </li> <li>後からでも安心できる人に相談し、解決するための手立てを一緒に考えていくことを説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワーポイントを使って「おはなししたいこと」</li> <li>プライベートゾーンの場所やどのように行動すべきかについて確認する</li> <li>いやだと思わないと発言する子への対応→周囲がどのように捉えているか、挙手をして確認する。</li> <li>いやだと思わないと発言する子への対応→周囲がどのように捉えているか、webアンケートの結果を提示し、自分以外の人の感じ方や考え方を伝えていく。</li> <li>今まで、または今困っていることがある子については、後で個別に話を聞けるよう配慮する。</li> <li>実際に被害にあった子の話を聞く際は「話してくれてありがとう」「あなたは悪くない」というメッセージも必ず伝える。 また犯罪者は、見た目や外見だけでは判断が難しいことを伝える。</li> </ul>

<sup>10</sup> 全体計画については8ページを参照のこと。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習をまとめる。</li> <li>■ 自分だけの大切なところをさわられたり、みられたりした時にどうすればいいか考える。</li> <li>● 日頃から「やめて！さわらないで」と声に出せるように、歌唱教材「Don't touch me」を紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートを使用。</li> <li>・ 犯罪者は、見た目ではなく自分が「いやだな」と感じた人が、犯罪者であることもあることをしっかり伝える。</li> <li>・ 今まで、または今困っていることがある子については、後で個別に話を聞けるよう配慮する。</li> </ul>
--	--

■ 授業（上学年（第5学年））の展開

授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分や友達の心や体を守るためにできることを考えよう。</li> <li>・ 自分を大切にすると人の距離（付き合い方）について知ろう。</li> <li>・ ネットゲームやSNSの危険について考えよう（5年・6年）。</li> </ul>
--------	---

学習活動 ● 教員の指導 ■ 児童の活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分だけの大切なところ（プライベートゾーン）を確認する。</li> <li>■ プライベートゾーンを自分の生活から考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体の距離は自分と友達と違うことに気付かせる。</li> <li>・ 相手が「嫌だ」と言わなくても体の大切な部分は、勝手に見たり触ったりしないこと確認する。</li> <li>・ いやだと思わないと発言する児童への対応→周囲がどのように捉えているか、拳手をして確認する。</li> </ul>

今日のめあて：大切な人たちとより良い関係を築こう

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 人との距離について考える。</li> <li>● （ワークシート） SNS で、友達から、お菓子を学校で食べようと誘われる事例を提示する。 発問）嫌だなと感じる会話部分に丸をつけてみよう。</li> <li>■ 「嫌だ」とはっきりいう</li> <li>● 発問）いやだ！と言えなかった時、どうする？ 安心できる大人に相談する。（SC・おうちの人・T2先生・相談員など）一緒に解決していく。</li> <li>● 発問）SNS を使うときにどうしたら知らない人から、自分を守ることができるか考えてみよう</li> <li>● 後からでも安心できる大人に相談し、解決するために一緒に考えていくことを説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気持ちや感じ方は、人それぞれ違うことについて考えさせる。 自分を大切にすると人の距離（付き合い方）について考えるよう促す。</li> <li>・ 無意識に思いこみで、自分や相手を傷つけたり困らせたりしている部分に気づかせる。</li> <li>・ SNS は、友達だけでなく、知らない人とも繋がれることの危険性に気づかせ、自分を守るために気をつけることを考えさせる。</li> <li>・ それでも被害にあってしまった場合は、被害にあった自分を責めない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● やさしそうな言葉で、犯罪に誘いだそうとする人もいることを説明する。</li> <li>● （ワークシート） 人との距離が守られていないときや SNS で怖い思いをしたとき、どうすればいいか考える。</li> <li>● 人との付き合い方には体の距離と心の距離があること、また相手との関係に困っているときは、誰かに相談することを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯罪者は、見た目ではなく自分が「いやだな」と感じた人が犯罪者であることもあることをしっかり伝える。</li> <li>・ 今まで、または今、困っていることがある児童については、後で個別に話を聞けるよう配慮する。</li> <li>・ 実際に被害にあった児童の話を書く際は「話してくれてありがとう」「あなたは悪くない」というメッセージも必ず伝える。</li> </ul>

使用教材  
・準備物  
/留意事項

(下学年)

「生命（いのち）の安全教育教材」を基礎教材<sup>11</sup>とし、副教材として、「おしえて! くもくん」の絵本の一部（1 ページから 4 ページ）を導入の読み聞かせとして使用。

また、「いやだ。さわらないで。」を言えるようにするために、「Don't touch me」と言う歌唱教材を作り披露した。

(上学年)

「生命（いのち）の安全教育教材」を基礎教材とし、導入では後出しじゃんけんをアイスブレイクとして取り入れて、中盤の「心の距離感」に関する指導内容について“思い込み”によって自分や相手を傷つける可能性のある言動について考えるための伏線とする。

導入では、「勝ちたい」「じゃんけんは勝つもの」との思い込みが、「負けないといけない」と頭ではわかっているにもかかわらず、勝つ行動をとってしまうことを体験することで、アンコンシャス・バイアスがより自分ごとになることをねらって、「後出しじゃんけん」を活動として取り入れる。

SNS については安全教育教材の「SNS を使うときに気をつけること」のスライドから、どの場面で、どんな予防ができたかについて、考えを発表させ、顔のみえない相手とのやり取りの危険性や犯罪者はみたくではわからないことなどを補足。

<sup>11</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 29～34 ページを参照のこと。

## B. 千葉市立西小中台小学校、有吉小学校（特別活動）

学年 小学 3・5 年生



\*授業の風景

# 生命（いのち）の安全教育

### 取組概要 と工夫

- 特別活動（学級活動）において指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学年一斉（5年生。体育館で）、学級別（3年生。教室で）
  - ・ 取組に関する指導者 : ティーム・ティーチング（T1（外部講師（性暴力の専門家））、T2（学級担任））
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/水着で隠れる部分/SNSの危険性/性暴力について
- 外部講師の知見を活用しながら、ティーム・ティーチング形式とすることでノウハウを吸収。

### 題材の 目標

（小学校 1～4 年生）

- 自分の体も他の人の体も大切であることを理解できるようにする。
- 自分と他の人の大切なところ（「水着で隠れる部分」等）を理解できるようにするとともに、お互いの体を守るルールを理解できるようにする。
- 安心な触り方と嫌な触り方についてその違いを理解する。
- 自分の体を見られたり、触られたりして嫌な気持ちになる場面について考え、このような場面が起こったときの気持ちについて考え、その対応方法を身に付けることができるようにする。
- 他にも嫌な気持ちを感じる時について、どんな場面があるか考える。
- 自分と他の人を大切にすることを養う

（小学校 5～6 年生）

- 自分と他の人の体の大切なところ（「水着で隠れる部分」等）を守るルールを理解できるようにする。
- 心と体には距離感があるという認識を身に付け、自分を守り、他の人の気持ちを尊重した意思決定と行動選択ができるようにする。
- 距離感が守られないときにできることを理解し、自分を守るためにできることを身に付けることができるようにする。
- SNS で見えない相手と関わる時の注意点について考え、安全な意思決定と行動選択ができるようにする。
- お互いの気持ちを尊重し、より良い人間関係を構築しようとする態度を養う。

### 題材に ついて

（小学校 1～4 年生）

小学校低・中学年から自分と他の人の体を大切にできるようにすることで、性暴力の被害者・加害者にならないための知識や判断力を身に付ける必要がある。  
自分以外の誰かに自分のプライベートゾーンを見せたり、触らせたりする必要がないこと

を知ること、性暴力の被害者になるリスクを減らす。また、その行為が性暴力の加害行為にもなることから、プライベートゾーンを見せたり、触らせたりしないことを理解する。

他の人のプライベートゾーンを見たり、触ったりすることは性暴力にあたることを理解することで、性暴力の加害者にならないための思考を身に付ける必要がある。

性暴力の加害者は家族や親族等の身近な人である場合もあり、児童が性暴力被害に気が付いていない場合もあることから、自分と他の人のプライベートゾーンを守るルールを理解することで、性暴力の被害になるべく早く気づき、自分を守るスキルを身につける必要がある。

(小学校 5～6 年生)

小学校 1 年生～4 年生の学習で身に付けた「自分と他の人の体を大切にす」という考え方をベースに、自分以外の他人を尊重するための心と体の距離感を学び、自分と他人を守る距離感のルールを理解することで、性暴力の被害者・加害者にならないための思考力を高める必要がある。

対等な関係性を理解することで、性暴力の被害者・加害者にならないための思考を身に付ける必要がある。

小学校高学年でスマートフォンを所持している児童や、パソコンを使用できる環境にある児童、ネットワークゲーム機を利用している児童も多く、SNS 等を介した性暴力被害を未然に防ぐため、事例を通して SNS 等を利用する場合の注意点を理解する必要がある。

学習指導  
要領との  
関連

小学校学習指導要領

特別活動

第 2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕

2 内容

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

指導計画<sup>12</sup>

時	主な学習活動	指導上の留意点
1 (第 1 学年～ 第 4 学年)	自分を大切に するためにできることを 考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の理解を深めるため、日常生活の場面を想定した事例を通して、自分と他の人の大切なところを守るルールや、自分の体を見られたり、触られたりして嫌な気持ちになったときの対応方法について指導する。</li> <li>実際の性暴力においては、水着で隠れる部分への接触だけでなく、体を撫でる、顔にキスするといった行為が多いことを念頭に、「水着で隠れる部分」のみが大事であるという伝え方にならないように注意する。</li> </ul>
1 (第 5 学年～ 第 6 学年)	人と人との適切な 距離感について考え よう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分と他の人の大切なところを守るルールを確認し、日常生活の場面を想定した事例を通して、自分を守り他人を尊重するための心と体の距離感や、距離感が守られないときの対応方法、SNS の危険性について指導する。</li> <li>実際の性暴力においては、水着で隠れる部分への接触だけでなく、体を撫でる、顔にキスするといった行為が多いことを念頭に、「水着で隠れる部分」のみが大事であるという伝え方にならないように注意する。</li> </ul>

<sup>12</sup> 全体計画については 9 ページを参照のこと。

## 授業の展開

### ■ 授業の展開（第1学年～第4学年）

ねらい

自分を大切にするためにできることを考えよう。

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今日の学習のテーマを確認する。【T 1】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵本の内容を想起させ、授業の内容につなげる。</li> </ul>
<p>自分を大切にするためにできることを考えよう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の体は自分だけの大切なものであることを理解する。【T 1】</li> <li>● 他の人の体も大切であることを理解する【T 1】</li> <li>● 授業の学習内容のねらいを理解する【T 1】</li> <li>● 自分だけの大切なところ（「水着で隠れる部分」等）を知る【T 2】</li> <li>● 自分だけの大切なところは見せたり、触らせたりしてはいけないことを理解する【T 2】</li> <li>● 他の人の大切なところを、見たり、触ったりしてはいけないことを理解する【T 2】</li> <li>● 自分の体を触られて嫌な気持ちになる場面について考え、対応方法を知る【T 1】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活の場面のイラストを示して、自分の体は自分だけのもので大切であることを伝える。例えば、けがをしたときは、痛くなくなるようにしたり、けがが治るようしたりすることで、自然と自分の体を大切にしていることを伝える。</li> <li>・ 自分の体と同様に、他の人の体も大切であることを伝える。</li> <li>・ 自分の体を大切にするためにできることは何かを考えさせる。</li> <li>・ 水着で隠れる部分だけでなく、どのような場所が大切か考えさせ、口や顔、その他の部分を含め、自分の体はすべてが大切であることを伝える。</li> <li>・ 日常生活の場面のイラストを示して、自分だけの大切なところを守るためのルールを伝える。</li> <li>・ 日常生活の場面のイラストを示して、他の人の大切なところを守るためのルールを伝える。</li> <li>・ 自分の体を触られてびっくりしたり、嫌な気持ちになったりする場面について考えさせる。</li> <li>・ 児童の間でスカートめくりやズボン下ろし等が行われている場面を見かけたときは、そうした行為も性暴力につながる可能性があることを念頭に、スカートめくりやズボン下ろし等も嫌な触り方/触られ方であることを伝える。</li> <li>・ 嫌な触られ方をしたときに相談する「安心できる大人」について考えさせ、例えば学校の教職員や、養護教諭、家族等がいることを伝える。</li> <li>・ 「変だな」、「嫌だな」と思う人にはついていってはいけないことを伝える。</li> <li>・ 自分の体に嫌な触られ方をしてしまっても、「触られた人が悪いわけではないよ」ということを伝える。</li> <li>・ 加害経験がある児童を責めるような発言をしてはならない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嫌な触られ方をしたときの対処方法を考え、発表する【T 1】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 嫌な触られ方をしたときの対処方法を考え、発表させる。嫌な触られ方をしたときには、「いやだと言う」、「逃げる」、「安心できる大人に相談する」ことを確認する。</li> </ul>

■ 授業の展開（第5学年～第6学年）

授業のねらい

人と人との適切な距離感について考えよう。

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今日の学習のテーマを確認する。【T 1】</li> </ul>	<p style="text-align: center;">人と人との適切な距離感について考えよう。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分だけの大切なところは、見せたり、触らせたりしてはいけないことを確認する【T 2】</li> <li>● 他の人の大切なところを、見たり、触ったりしてはいけないことを確認する【T 2】</li> <li>● 自分の体は一番大切であり、自分の体と同様に他の人の体も大切であることを確認する【T 2】</li> <li>● 人との距離感があることを知る【T 2】</li> <li>● SNS において、見えない相手とつながることの危険性を理解する【T 1】</li> <li>● 教材の例から、SNS を利用するにあたって考えられる問題点について、ワークシートに書く。【T 1】</li> <li>● 人との距離感が守られないとき取るべき行動を知るとともに、相談方法を身に付ける【T 1】</li> <li>● 教材の例から、SNS を利用するにあたって考えられる問題点について、ワークシートに書く。【T 1】</li> <li>● 自分と相手を大切に、良好な関係性を築くためにはどうしたら良いか考え、ワークシートに振り返りを書く。【T 1】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活の場面のイラストを示して、自分だけの大切なところを守るためのルールを確認させる。</li> <li>・ 水着で隠れる部分だけでなく、どのような場所が大切か考えさせ、口や顔、その他の部分を含め、自分の体はすべてが大切であることを伝える。</li> <li>・ 日常生活の場面のイラストを示して、他の人の大切なところを守るルールを確認させる。</li> <li>・ これまでに学んだ内容について、児童の理解を確認する。</li> <li>・ 自分と他の人（家族や教員も含む）の間には心と体の距離感があること、尊重すべきことを日常生活の場面を想定した事例を通して理解させる。</li> <li>・ 児童の間でスカートめくりやズボン下ろし等が行われている場面を見かけたときは、そうした行為も性暴力につながる可能性があることを念頭に、スカートめくりやズボン下ろし等も「体の距離感が守られていない」といえることを伝える。              距離感とは：              自分の心と体は自分だけのものであり、他の人も同様である。互いに心と体を尊重できているかを確認するための言葉を「距離感」としている。</li> <li>・ スマートフォン所持率が高くなり、様々な情報を入手しやすくなることから、事例を通して、SNS 等を介して性暴力被害が起き得る危険性があることに気付かせる。</li> <li>・ 性暴力被害に遭っても、「被害者は悪くない」ということを伝える。</li> <li>・ 人との距離感が守られない場合には、どのような行動を取るべきかを考えさせ、「いや」と言うことが大切であることや、誰に相談すれば良いかを伝える。</li> <li>・ 良好な関係性を築くためにできることを考えさせる。</li> </ul>

使用教材  
・準備物  
/留意事項

- 使用教材  
文部科学省「生命（いのち）の安全教育」教材<sup>13</sup>
- (第1学年～第4学年)
- 児童の理解を深めるため、日常生活の場面を想定した事例を通して、自分と他の人のプライベートゾーンを守るルールや、自分の体を見られたり、触られたりして嫌な気持ちになったときの対応方法等について指導する。
  - プライベートゾーンという言葉の定着を図る。
  - 実際の性暴力においては、水着で隠れる部分への接触だけでなく、体を撫でる、顔にキスをするといった行為が多いことを念頭に、「水着で隠れる部分」のみが大事であるという伝え方にならないよう注意する。
  - シングル家庭、社会的養護が必要な児童がいる場合も考慮し、「父・母」の表現は使わず、「おうちの人」で統一する。
- パワーポイント資料を映し出す環境を確保し、ポイントとなる言葉「自分の体は自分のもの、水着で隠れるところ（プライベートゾーン）、嫌だと言ってもいい、逃げてもいい、相談しよう」などは、その内容に触れる場面、最後のまとめのところでも強調する。
  - 自分だけの大切なところについては、男の子と女の子の水着のイラストを黒板に貼って説明し、児童が視覚的にイメージしやすいようにするとともに、児童の印象に残るようにする。
- (第5学年～第6学年)
- 自分と他の人の大切なところを守るルールを確認し、日常生活の場面を想定した事例を通して、自分を守り他の人を尊重するための心と体の距離感や、距離感が守られないときの対応方法、SNSの危険性について指導する。
  - 実際の性暴力においては、水着で隠れる部分への接触だけでなく、体を撫でる、顔にキスをするといった行為が多いことを念頭に、「水着で隠れる部分」のみが大事であるという伝え方にならないよう注意する。
  - シングル家庭、社会的養護が必要な児童がいる場合も考慮し、「父・母」の表現は使わず、「おうちの人」で統一する。
- パワーポイント資料を映し出す環境を確保し、ポイントとなる言葉「自分の体も他の人の体も大切、水着で隠れるところ（プライベートゾーン）を守る、人との距離、嫌だと言ってもいい、逃げてもいい、相談しよう」などは、その内容に触れる場面、最後のまとめのところでも強調する。
  - 本題材の中でキーワードとなる言葉（例：自分の体は一番大切）を黒板に書き、授業の内容を振り返りやすくする。
  - 一方的な授業とするのではなく、子供からの意見を尊重しながら共有することによって、人権教育としての側面も大切にす。

<sup>13</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 35～42 ページを参照のこと。

## C. 浦安市立美浜南小学校、舞浜小学校、明海南小学校、入船小学校 (特別活動)

学年 小学 1・2・5・6 年生



\*授業の風景

# 生命(いのち)の安全教育

### 取組概要 と工夫

- 特別活動（学級活動、学校行事、ホームルームなど）
  - ・ 取組に関する指導形態 :学級別
  - ・ 取組に関する指導者 :チーム・ティーチング  
(学級担任と外部講師(ENJOY CAP)による)
  - ・ 取組における指導内容 :自他の尊重 / 知らない人からの声かけ（低学年） / SNS の危険性（高学年） / 性暴力について
- 体験型のワークショップを実施する外部講師の知見・ノウハウを吸収して、児童に「自分と相手の人権」について考えられる機会を創出。

### 題材の 目標

- 自分や友達を守る方法について考え、自他を大切にしようとする気持ちを高める。

### 題材に ついて

- ①児童の人権意識を高めるとともに、発達段階に応じて、暴力についての知識習得と暴力防止のためにできることを考える。
- ②ロールプレイ（役割演技）等を通し、つらいことやいやなことをされた時には、自分を守る方法（「いやだ」と言う、逃げる、相談する）を学ぶ。また、第三者として、他者を守るための行動を学ぶ。
- ③学校全体で継続的に取り組むことで、児童の相談を促し、未然防止、被害の早期発見、早期対応につなげる。

### 学習指導 要領との 関連

#### 小学校学習指導要領

##### 特別活動

##### 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

##### 〔学級活動〕

##### 2 内容

##### (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

##### イ よりよい人間関係の形成

##### ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

## 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	どうしたら自分や友達を守ることができるかな	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生きるために必要な権利について学び、自分がかげえのない存在である事を知り、自分を守る力にする。</li> <li>・ ロールプレイ（役割演技）や話し合いを通じて、児童たちがもともと持っている「内なる力」を引き出し、行動の選択肢を増やす。</li> </ul>
事後	児童の様子を見ながら、行動の変容を認めたり、さらに指導したりしていく。	

## 授業の展開

### ■ 授業（第1学年・第2学年）の展開

ねらい	どうしたら自分や友達を守ることができるかな
-----	-----------------------

学習活動	◎指導上の留意点 ◇評価 <sup>14</sup>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● こどもの権利について知る</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">                     どうしたら自分や友達を守ることができるかな                 </div>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● いじめ防止について考える                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 友達からされて嫌な気持ちになるのはどんなことか</li> <li>■ 予想される児童の反応                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コソコソばなし</li> <li>・ 急におどろかされる</li> <li>・ じろじろ見られる</li> </ul> </li> <li>■ ロールプレイ1（仲間外れ）</li> </ul> </li> <li>● 嫌な気持ちになった時は我慢せず「イヤだ」「やめて」「ダメ」という→友達や安心できる大人に相談することを確認する。</li> <li>● 知らない人に声をかけられたらどうするか考える                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ロールプレイ2（知らない人からの声掛け）                                     どのような行動が望ましいか、その状況下でできることを話し合う。</li> <li>■ 「にげる」→信頼できる大人に報告することを確認する。</li> </ul> </li> <li>● 人から嫌な触られ方をしたらどうするか考える                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ロールプレイ3（嫌な触られ方）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 第三者（取り巻き）の気持ちをよく考えさせる。また、どのような行動が望ましいか、生活に生かせることを話し合わせる。</li> <li>◎ 相談と告げ口は違うことを確認する。</li> <li>◎ 嫌だと言われたらやめる。</li> <li>◎ 困っている友達がいたら助ける行動をとることに触れる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ できるだけ距離をとること、長く話さずその場から去ること、その後信頼できる人に伝えることを確認する。</li> <li>◎ 身近な大人も加害者になること、男女を問わず被害者になりうることを想起させる。</li> <li>◎ 親しい者同士のスキンシップと嫌な触られ方の違いを比較、確認できるようにする。</li> </ul>

<sup>14</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 安心できる大人に報告することを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 初めに相談した人が信じてくれない場合は、別の人（信じてくれる人が見つかるまで）に相談するよう伝える。</li> </ul>
<p>ふり返し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、〇〇に気を付けていきたい。</li> <li>・〇〇することで自分や友達を大切にしていけそう。</li> <li>・友達があのような状況だったら、こんな気持ちかな。〇〇な行動をして～を守ろう。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自分や友達の心や体を守ることや方法について考えることができたか。</li> <li>◇ 感じ方の違いに気付き、自分も友達も大切にされるべき存在と知ることができたか。</li> </ul>	

■ 授業（第5学年・第6学年）の展開

ねらい	どうしたら自分や友達を守ることができるだろう
-----	------------------------

学習活動	◎ 指導上の留意点 ◇ 評価 <sup>15</sup>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 暴力について知る</li> <li>● こどもの権利について知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 様々な暴力について意見を出させながら種類や場面があることに気付くようにする。</li> </ul>
<p>どうしたら自分や友達を守ることができるだろう</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ いじめ防止について考える</li> <li>■ ロールプレイ 1（いじめ・おごり）</li> <li>● 嫌な気持ちになったときは我慢せず「イヤだ」「やめて」「ダメ」という→友達や安心できる大人に相談することを確認する。</li> <li>● 知らない人から誘われたらどうするか考える</li> <li>■ ロールプレイ 2（知らない人からの誘い） <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険を防ぐためにはどうしたら良いか、SNSを使うときに気を付けることについて考える。</li> </ul> </li> <li>■ 危険を感じたら、すぐに信頼できる大人に相談することを確認する。</li> <li>■ 人から嫌な触られ方をしたらどうするか考える</li> <li>■ ロールプレイ 3（嫌な触られ方）</li> <li>■ 安心できる大人に報告することを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 第三者（取り巻き）の気持ちをよく考えさせる。また、どのような行動が望ましいか、生活に生かせることを話し合わせる。</li> <li>◎ 相談と告げ口は違うことを確認する。</li> <li>◎ 嫌だと言われたらやめる。</li> <li>◎ 困っている友達がいたら助ける行動をとることにも触れる。</li> <li>◎ 文部科学省動画を使用。</li> <li>◎ SNSの危険性を理解させる。</li> <li>◎ SNSでやり取りしている相手は信頼できる人なのか疑うことを喚起する。</li> <li>◎ 身近な大人も加害者になること、男女を問わず被害者になりうることを想起させる。</li> <li>◎ 親しい者同士のスキンシップと嫌な触られ方の違いを比較、確認できるようにする。</li> <li>◎ 初めに相談した人が信じてくれない場合は、別の人（信じてくれる人が見つかるまで）に相談するよう伝える。</li> </ul>
<p>ふり返し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わたしは、〇〇に気を付けていきたい。</li> <li>・自分と友達の感じ方の違いはおもしろい。どちらも大切。</li> <li>・過去に怖い思いをしたことを思い出した。嫌だと言うことは大切だと思った。</li> <li>・声が出ない時にはどうすればよいかわかった。</li> </ul>	

<sup>15</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

- ◇自分や友達の心や体を守ることや方法について考えることができたか。
- ◇感じ方の違いに気付き、自分も友達も大切にされるべき存在と知ることができたか。

使用教材  
・準備物  
/留意事項

- 「生命（いのち）の安全教育教材(動画)」の活用を基本とする。
- 児童にいじめや暴力行為から自分を守るためのワークショップを体験させる。
- 「～してはいけません」といった危険防止教育ではなく、「～することもできるよ」と身を守るための行動選択をできるようにする。
- 被害者、加害者、傍観者を体験することによって意識の変容を実体験することができるようにする。
- いじめ（性）暴力被害を受けている児童がいる可能性があることに留意する。これまでに被害を受けた（可能性がある）児童がいる場合は、特に注意深く見守り、適宜フォローする。
- 指導後、談に来る児童がいることを想定し、適切な対応方法について教職員で共有しておく。場合によっては関係機関につなぐ必要がある。

## D. 阿南市立大野小学校（特別活動）

学年 小学 1・6 年生



\*授業の風景

# 自分も友達も大切にする 人間性豊かな児童の育成をめざして

### 取組概要 と工夫

- 特別活動（学級活動）で指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学級別  
(ただし、1年生、6年生共に1学年1学級)
  - ・ 取組に関する指導者 : 学級担任/養護教諭/外部講師
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/水着で隠れる部分/SNSの危険性
- 教職員の学びの充実、学校と家庭の学びの共有、外部講師による出前授業を通じて授業を実践。

### 題材の 目標

- 自分の体の大切なところを理解し、大切なところを守るために適切な行動をとり、自分や相手を大切にしようとする態度を養う。
- 心と体には距離感があることや、それが守られないとき取るべき行動、相談方法があることを理解させる。
- SNSで見えない相手とつながることの危険について考え、安全な意思決定と行動選択しようとする態度を養う。

### 題材に ついて

(1年生)

「生命（いのち）の安全教育」の学習を通して、自分の体の大切なところや、大切なところを守るために適切な行動をとることを理解し、自分や相手を尊重しようとする態度を育成する。また、相手の気持ちを考えることの大切さに気付かせ、自分ならどうするかを考え、ロールプレイすることで、進んで相手の気持ちを考えた行動をしようとする態度を育てる。

(6年生)

心と体には適切な距離感があることを学び、自分と他の人を守る距離感のルールを理解することで、性暴力の加害者や被害者、傍観者にならないための思考力を育成したい。また、SNS等を介した性暴力被害を未然に防ぐため、事例を通してSNSの危険性を理解できるようにする。

### 学習指導 要領との 関連

#### 小学校学習指導要領

特別活動

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕

2 内容

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

イ よりよい人間関係の形成

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

## 指導計画<sup>16</sup>

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	プライベートゾーンを見られたり触られたりしたら、どうすれば良いか考えよう。	・ 自分でできる対処法と助けを求めることの大切さを理解させる。
2	生命の安全について考えよう。	・ より良い関係を築くために、相手の体や気持ちを尊重する言葉と行動が大切であることを理解させる。

## 授業の展開

### ■ 1 時間目の展開

ねらい	・ 自分の体の大切なところを理解し、大切なところを守るために適切な行動を取り、自分や相手を大切にしようとする態度を養う。
-----	--

学習活動	◎ 指導上の留意点 ◇ 評価 <sup>17</sup>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまでの学習を振り返り、なぜ自分の体を大切にしなければいけないのかを考え、授業の学習課題をつかむ。</li> </ul>	◎ 自分の体を大切にするためにできることは何かを考えさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     プライベートゾーンを見られたり触られたりしたら、どうすれば良いか考えよう。                 </div>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● プライベートゾーンを見られたり、触られたりしたとき、どうすれば良いか考え、ロールプレイをする。</li> <li>● 自分や相手を大切にするために自分ができることを話し合う。</li> </ul>	◎ プライベートゾーンを見られたり触られたりしたときの気持ちを考えさせ、相手もそう感じていることを理解させる。 ◇ 自分の考えを伝えたり、友達の考えを共感的に聞いたりすることができたか。 ◎ 自分でできる対処法と助けを求めることの大切さを理解させる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 時間目の学習を振り返り、学習のまとめをする。</li> </ul>	◎ 相手がいやだと思うことは絶対してはいけないことを理解させ、自分や相手を大切にしていこうとする態度を育てる。

### ■ 2 時間目の展開

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心と体には距離感があることや、それが守られないとき取るべき行動、相談方法があることを理解させる。</li> <li>・ SNS で見えない相手とつながることの危険について考え、安全な意思決定と行動選択しようとする態度を養う。</li> </ul>
-----	--

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまでの学習を振り返り、プライベートゾーンやそれを守るために大切なことを考え、授業の学習課題をつかむ。</li> </ul>	◎ 自分や他の人の大切なところを守るためのルールを確認させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     生命の安全について考えよう。                 </div>	

<sup>16</sup> 全体計画については 10 ページを参照のこと。

<sup>17</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「自分と他の人との距離感」について話し合い、他の人との適切な距離感を保つために大切なことを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ロールプレイや話し合い活動を通し、体や心の距離感について考え、自分と他の人との距離は自分で決めていいということが理解できるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「SNS を使うときに気をつけること」について話し合い、SNS 上での距離感や安全を守るために大切なことを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 人との距離感が守られないときは、どのような行動を取るべきかを考えさせ、自分の意思を適切に伝えることが大切であることや、誰に相談すれば良いかを伝える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2 時間目の学習を振り返り、学習のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ SNS 上の距離感が守られない場合には、どのような行動を取るべきかを考えさせ、自分の意思を適切に伝えることが大切であることや、誰に相談すれば良いかを伝える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2 時間目の学習を振り返り、学習のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ より良い関係を築くために、相手の体や気持ちを尊重する言葉と行動が大切であることが理解できるようにする。</li> </ul>

使用教材  
・準備物  
/留意事項

- 「生命（いのち）の安全教育教材」を基礎教材とするが、スライド枚数の削減、選択、文字の拡大を実施<sup>18</sup>。
  - 1 年生向けの事前指導においては、市販の関連絵本の読み聞かせを何度も行うこと。  
市販絵本例：  
・「おしえて! くもくん」  
・「いいタッチ、わるいタッチ」
- 等

<sup>18</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 44～54 ページを参照のこと。

### 3 中学校

#### A. 東京学芸大学附属世田谷中学校（保健体育）

学年 中学1年生



\*授業の風景

## 性への関心と行動 ～性情報への適切な対処とは～

#### 取組概要 と工夫

- 保健体育科（保健分野）で指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学級別
  - ・ 取組に関する指導者 : 教科担当
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/水着で隠れる部分/  
SNSの危険性 / 性暴力について / デートDV
- 公共交通機関を利用して通学する生徒が多いことから、痴漢対策について指導。また、インターネットを通じた人間関係上のトラブルへの対応を指導。具体事例や対策ツールの紹介等通じて性被害・性加害を未然に防止する知識を身に付け、問題が発生した際の対処法についての指導を実施。

#### 題材の 目標

- インターネットやSNS等で発信したもの（メッセージ、写真、動画等）は、適切な使用方法を選択しなければ、様々なトラブルに発展することや、性暴力・性犯罪に巻き込まれる可能性があることを理解し、トラブルに巻き込まれないための危険予測や回避の方法、トラブルに巻き込まれたときの対処方法について考える。
- 思春期は性への関心が高まるとともに、性情報に触れる機会が増えるため、正しい判断ができないとパートナーや自分自身を傷つけてしまう可能性があることを理解する。

#### 題材に ついて

- 近年のICT機器の普及により、詐欺やネット犯罪被害が低年齢層においても増加している中、中学生がその被害を自ら予期し、回避することができるようになる必要がある。  
オンラインゲームやSNSの危険性を理解し、特に性犯罪被害において自分ごととしてとらえた上で、自分も身近な仲間・友人も被害にあわない、加害者にならないよう考えさせることが大切である。
- 中学生の時期は、個人差はあるものの性への関心が高まり、性的欲求が起こる時期でもあるため、「性情報」への興味関心も高まる時期である。特に中学生にとって簡単に入手できるインターネットの「性情報」は、正しいものもあれば、人の性への興味・関心を利用した過激な表現や、事実がゆがめられていることもある。このような身近にある「性情報」が正しいものか判断していくことが必要である。  
さらに、「性情報」に対する誤った判断が相手や自分を傷つけ、性暴力につながる可能性があることをおさえる必要がある。「性情報」に対する思考・判断から意思決定（行動）について、自分ごととしてとらえさせることが大切である。  
これらを通して、自分という存在を大切にすることやパートナーを大切にすること、互いを尊重し高め合う関係づくりについても考える機会としたい。

学習指導  
要領との  
関連

中学校学習指導要領

保健体育  
〔保健分野〕  
2 内容

(2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。

(1) 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。

イ 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。

指導計画

時	学習活動 ●教員の指導 ■生徒の活動	◎指導上の留意点 ◇評価 <sup>19</sup> ☆安全教育の視点に立った留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自分の身近にあるインターネットや SNS は、使用方法によっては性暴力・性犯罪といった様々なトラブルに巻き込まれる可能性があることを知る。</li> <li>■ トラブルに巻き込まれたときの対処の方法について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆生徒にとって身近な事例やデータを挙げることで、性暴力・性犯罪を「自分ごと」として考えることができるようにする。</li> <li>◇身近なインターネットや SNS が、性暴力・性犯罪といった様々なトラブルにつながることを知り、トラブルへの対処方法を理解することができる。(知識・技能)</li> <li>◇インターネットや SNS を介したトラブルが起こる理由を考え、トラブルを回避するための方法を考えることができる。(思考・判断・表現)</li> <li>◇自分自身のインターネットや SNS の使用方法を振り返り、学んだことを生活に活かそうとすることができる。(主体的に学習に取り組む態度)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 身近な「性暴力・性犯罪」について考え、対処の方法を理解する。</li> <li>■ 思春期は性への関心が高まる時期であり、「性情報」について、正しい判断をしなければパートナーを傷つける可能性があることについて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆生徒にとって身近な事例(デート DV)を挙げ、ロールプレイといった活動を通して性暴力・性犯罪を「自分ごと」として考えることができるようにする。</li> <li>◎思春期の性への関心については、個人差があることに留意する。</li> <li>◇性暴力は SNS で知り合った人や見知らぬ人だけでなく、身近な人との関係性の中で起こる可能性があることを理解できる。(知識・技能)</li> <li>◇性情報を正しく判断しなければ、相手や自分自身を傷つけることにつながる可能性について考えることができる。(思考・判断・表現)</li> <li>◇自分の言動を振り返り、学んだことを生活に活かそうとすることができる。(主体的に学習に取り組む態度)</li> </ul>

<sup>19</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

## 授業の展開

### ■ 1 時間目の展開

ねらい	インターネットや SNS 等で発信したもの（メッセージ、写真、動画等）は、適切な使用方法を選択しなければ、性暴力・性犯罪といった様々なトラブルに巻き込まれる可能性があることを理解する。 トラブルに巻き込まれないための危険予測・回避の方法やトラブルに巻き込まれたときの対処方法を考える。
-----	---

学習活動 ● 教員の指導 ■ 生徒の活動	◎ 指導上の留意点 ◇ 評価 <sup>20</sup> ☆ 安全教育の視点に立った留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業のねらいを知る</li> <li>■ 生徒が利用している「SNS」について挙げる。 (事前アンケート結果より)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 生徒が使用している（身近な）インターネット、SNS、オンラインゲームで経験したことのあるトラブルを挙げることで、自分ごととして考えることができるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事例 1：「性的な暴力とは？」（動画） 文科省：生命（いのち）の安全教育動画教材（中学校）2 性的暴力（SNS の危険性：自画撮り被害）を視聴する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例の中学生（かえでさん）の問題点は何か考え、クラスで意見共有する。</li> </ul> </li> <li>● グラフを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①「【児童ポルノ事犯】児童が自ら撮影した画像に伴う被害に遭った児童の推移」（警視庁：グラフ「児童虐待及び子供の性被害の状況について」）</li> <li>②「【SNS に起因する事犯】被害児童が多いサイト」（警察庁：グラフ「なくそう子供の性被害。」）</li> </ul> </li> <li>● 事例 2：「SNS の危険性」（動画）文科省：情報モラル動画「SNS を通じた出会いの危険性」を視聴する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例の中学生（ひかるさん）の問題点は何か考え、クラスで意見共有する。</li> <li>・ SNS を通じて知り合った人と会う理由について自分に置き替えて、メリット（プラス面）とデメリット（マイナス面）について考え、ペアで意見交換を行い、クラスで意見共有する。</li> <li>・ SNS を通じて児童・生徒と知り合おうとする側＝加害者にとってのメリットを説明する。</li> </ul> </li> <li>● 事例 1：「性的な暴力とは？」（動画）解説を視聴する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「SNS を通じた性暴力の被害者にならないために」の解説を確認する。</li> <li>・ グルーミング（手なずける）について説明する。</li> <li>・ 「Twitter」を使って、実験的な調査をした事例を紹介する。</li> </ul> </li> <li>■ インターネットや SNS を通じて知り合った人とのトラブルに巻き込まれないために、日頃から気を付けるべきことや対策を考えて発信する。</li> <li>● トラブルに巻き込まれたら、どのように対処したら</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 動画を通して、日頃 SNS を通じて自分や仲間の写真・動画等を挙げるという行為がどのようなトラブルに巻き込まれる可能性があるか想像することができるようにする。</li> <li>◇ 動画の主人公の行動から、トラブルに巻き込まれた理由を考え、発信することができる。（思・判・表）</li> <li>☆ 「自画撮り被害」は中高生に多く、この数字は氷山の一角であること、SNS を通じて被害に遭っていること等確認し、自分自身にも起こる可能性があることについて考えることができるようにする。</li> <li>☆ 動画を通して、日頃 SNS を通じていかに簡単に誰とでもつながり、トラブルに巻き込まれる可能性があるか想像することができるようにする。</li> <li>◇ 動画の主人公の行動から、トラブルに巻き込まれた理由を考え、発信することができる。（思・判・表）</li> <li>◎ ペアで意見交換した後にクラスで意見共有することで、自分の意見を伝えやすい雰囲気をつくる。</li> <li>◇ SNS を通じて知り合った人と会う理由について自分に置き替えて理由を考え、ペアに意見を発信することができる。（思・判・表）</li> <li>◇ SNS を通じた性暴力の被害者にならないために、どのような危険予測・回避の行動をとれば良いか理解する。（知・技）</li> <li>◎ 「SNS を通じて知り合った人と会う理由」で考えた自分にとってのメリット（プラス面）を引き出し、付け込むことがグルーミングの手口であることに気づかせる。</li> <li>◇ インターネットや SNS を通じて知り合った人とのトラブルに巻き込まれないために、日頃から心がけていることや行っている対策を考え、発信することができる。（思・判・表）</li> </ul>

<sup>20</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

良いか考える。→解説する。	
● 授業の振り返りを行う。	◇これまでのインターネットや SNS の使い方について振り返り、今後の生活において危険予測・回避・対処するためにすべきことを考えて、記述することができる。(思・判・表)

## ■ 2 時間目の展開

ねらい	身近な「性暴力・性犯罪」について考え、対処の方法を理解することができる。 思春期は性への関心が高まる時期であり、「性情報」について正しい判断をしなければ自分やパートナーを傷つける可能性があることについて考えることができる。
-----	--

学習活動	◎指導上の留意点 ◇評価 <sup>21</sup> ☆安全教育の視点に立った留意点
● 教員の指導 ■ 生徒の活動	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 時間目の SNS を通じた「自画撮り被害」の他に、どのような「性暴力」があるか確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性暴力の中でも自分が巻き込まれる可能性が高い「痴漢」について対処方法を考える。</li> <li>・ 「性暴力」にあった時の対応・対処について考える。</li> <li>・ 「性暴力にあってしまった（あいそな）時、どうしますか？」という事前のアンケート結果を紹介する。</li> <li>・ 警察が推奨している「DigiPolice」（アプリ）を紹介する。</li> <li>・ 「痴漢抑止バッジ」を紹介する。 →女子高生が考案したバッジで、痴漢加害者の「歪んだ認知」を逆手にとった意思表示であることを説明する。</li> <li>・ このような対策をしても痴漢にあってしまった場合の対応を確認する。</li> </ul> </li> <li>■ 思春期の「性への関心」について、アンケート結果やグラフと共に確認する。</li> <li>■ 「身近な人からの性暴力」について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例 1：「性的な暴力とは？」（生命（いのち）の安全教育動画教材（中学校）2 性暴力とは？デート DV の事例：身体的・精神的暴力）</li> <li>・ 事例 2：デート DV（デート DV の事例：精神的暴力） 漫画を使ってペアでロールプレイを行う。</li> <li>・ プライベートパーツの画像（写真・動画等）を「撮る・撮らせる、持つ・持たせる、送る・送らせる」について考える。</li> <li>・ なぜ事例 1、2 のような「デート DV」が起こるか考える。</li> </ul> </li> <li>■ 性情報への対処について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前アンケート結果「性情報の入手先」を確認する。</li> <li>・ 信頼できる性情報とは何かを考える。</li> <li>・ 「性情報との付き合い方」を確認する。</li> </ul> </li> <li>■ パートナーとステキな関係を築くために大切にすべきことを考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「交際する」についてパートナーとの認識の違いを考える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎イラストのスライドを用いることで、性暴力・性犯罪についてイメージすることができるようにする。</li> <li>☆生徒にとって身近な「電車」に性暴力・性犯罪が潜んでいることを意識させる。</li> <li>◎「性暴力」にあった場合の対応・対処方法のアンケート結果を紹介し、「痴漢にあった」場合に置き替えた時、どのような反応・対処ができるか考えることができるようにする。</li> <li>☆痴漢という言葉にどのような反応を見せるか、生徒の表情等を観察しながら説明する。</li> <li>◎思春期の性への関心については、発達段階によって差があり、「異性・同性」「関心がない」といった個人差があることに留意して説明する。</li> <li>◇親しい間柄でも「自分が望まない性的な行為」はすべて性暴力であることを理解する。（知・技）</li> <li>◎経済的暴力は生徒にとっては意外性があるため、具体的な事例を挙げて説明することで、自分に置き替えて考えることができるようにする。</li> <li>◎ロールプレイをすることで、性暴力をする側・される側の気持ちを想像できるようにする。</li> <li>◎1 時間目の性的な画像を送ってしまった事例につながることに気付かせ、撮る・撮らせる（送らせる）行為は、被害者にも加害者にもなることを理解できるようにする。</li> <li>◇大切なパートナーとの間になぜ性暴力が起こるのか考えることができる。（思・判・表）</li> <li>◎生徒にとって身近な事例（「壁ドン」等）を挙げることで、「性情報」がいかに簡単に手に入り、間違った解釈が性暴力につながり、大切なパートナーを傷つける可能性があることを想像することができるようにする。</li> <li>◇パートナーとステキな関係を築くために大切にすべ</li> </ul>

<sup>21</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● パートナーとステキな関係を築くために大切なことを確認する。</li> </ul>	<p>きことを考えることができる。(思・判・表)</p> <p>◎ パートナーとのステキな関係について「KW」(簡潔な言葉)を挙げることで、人とかかわりにおいても大切であることに気づくことができるようにする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業の振り返りを行う。</li> </ul>	<p>◎ 自分(パートナー)の「気持ち・心」「身体」「らしさ」を大切にする、「違い」を認め「受け入れる」ことを大切にするのが人(仲間)とかかわりにおいても大切であることに気づくことができるようにする。</p>

使用教材  
・準備物  
/留意事項

- 生徒にとって身近な事例となる動画(文科省)や漫画、イラスト、様々なデータ等資料の活用やロールプレイといった活動を通して、性暴力・性犯罪といったトラブルについて、「自分ごと」としてとらえられるようにする<sup>22</sup>。
- 生徒の実態アンケート等を活用することで、仲間の考え(意識)を知ることができ、「自分だけではない」といった安心感や発達段階による「個人差」があることについて向き合いやすくする。



\*痴漢対策ツール(Digi Police(アプリ)、痴漢抑止バッジ)の紹介

<sup>22</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 55～65 ページを参照のこと。

## B. 東京学芸大学附属国際中等教育学校（特別活動）

学年 中学3年生



\*授業の風景

# 人との距離感 ～性被害の認識と対処～

### 取組概要 と工夫

- 保健体育科（保健分野）で性感染症を取り扱ったのち、性被害防止について指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学級別
  - ・ 取組に関する指導者 : 教科担当教諭
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/ SNS の危険性/性暴力について /デートDV
- 性感染症の授業が終わった後に、文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材」を動画にしたものを事前に視聴させて生命（いのち）の安全教育に臨むという形式を採用。

### 題材の 目標

- 距離感（身体的・精神的）について考え、より良い関係であるために必要な距離について考える。
- 性暴力について知り、その対処法を考える。

### 題材に ついて

身体的被害としての性感染症に目を向け、望まない性交によって心も体も傷ついてしまう可能性があることについて学習している。そのような性被害について、自分ごととしてとらえる学習の機会としたい。

思春期に入り、誰かに好意を抱いたり、性への関心が高まってきたりする時期ではあるが、自らの行動が性加害となってしまう可能性があることや、自分が被害にあっているという認識をもつことは必ずしもできることではない。

また、SNS 等の利用は生徒にとってあまりにも身近で、SNS 上での相手との距離感を見誤ることによって、思わぬ被害にあう可能性があることについて考える必要がある。

自分自身や身近な友人も含めて被害にあわない、加害者にならないために、性暴力について学び、その対処について考える。

### 学習指導 要領との 関連

#### 中学校学習指導要領

特別活動

〔学級活動〕

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

イ 男女相互の理解と協力

男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画すること。

ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応

心や体に関する正しい理解を基に、適切な行動をとり、悩みや不安に向き合い乗り越えようとする。

エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

## 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	性被害を自分ごととしてとらえ、自分自身や身近な友人も含めて被害にあわない、加害者にならないために、性暴力について学び、その対処について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人との距離感について、身近な話題を取り入れることで、実感をもって考えることができるようにする。</li> <li>・性暴力が起こってしまう背景について、当事者の関係性と考え方に着目して考えさせる。</li> </ul>

## 授業の展開

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事前の学習内容を確認する <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前学習確認クイズに回答する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プリントにある問題に、回答させる。クイズ形式で振り返りを行う。</li> <li>・ 性暴力はどのような理由があっても許されるものではないことを確認する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>確認クイズ</b></p> <p>①一定の関係性があればどのような行為も性暴力とはならない。                  ②直接からだに触れなくても性暴力になることがある。                  ③性暴力では、悪いのは加害者である。                  ④心や体の距離感はみんな同じなのでいつも自分を基準に考えても問題ない。</p> </div>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近な人との距離感について共有する 「距離感とは」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近づきたい、あまり触れられたくない、自分と相手の気持ちを尊重することができるか。その心と体の在り方が距離感。</li> </ul> </li> <li>「体の距離感」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心地よくいられる身体的な距離の感じ方</li> </ul> </li> <li>「心の距離感」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心地よくいられる、心理的、心の距離の感じ方事前学習確認クイズに回答する。</li> </ul> </li> <li>● SNSを通じた性被害について理解する <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不特定の人から被害を受ける可能性について知る。</li> <li>・ 親しい間柄（恋人など）でも被害者や加害者になる可能性を理解する。</li> </ul> </li> <li>● デートDVについて理解する <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、経済的暴力</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 距離感について確認し、互いの距離感を知ること、個人差があることを認識させる。</li> <li>・ 「距離感が近いこと＝良い関係」とは限らないことを確認する。</li> <li>・ 誰でも、誰とでも、いつでも同じとは限らないこと。一人一人が異なることを理解させる。 ※パーソナルスペース</li> <li>・ 事前学習スライドを利用する。</li> <li>・ 性別にかかわらず被害者にも、加害者にもなりえることを理解させる。</li> <li>・ 事前アンケート結果を活用する。インターネット・SNSを利用して性に関する情報を得ている生徒が最も多い。スマートフォンの所持率も100%に近く、手軽にアクセスできる状況であるが、そこに潜む危険性について理解させる。</li> <li>・ SNSの利用については、安全指導教室で学習済み。デジタルタワーなども確認する。 →改めて「性暴力（被害、加害）」としての認識をもたせる。</li> <li>・ その瞬間だけの問題ではなく、その後の生活に大きく影響を及ぼす。</li> <li>・ 生徒の興味関心のあることの上位にある恋人やパートナーとの付き合い方に注目し、恋人同士の間で起こるデートDVについて理解させる。</li> <li>・ 生徒の言葉を引き出しながら、原因について考</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 性暴力が起こってしまう背景について考える <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループで意見を出し合う。</li> <li>・ 対応策も考える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>える。</li> <li>・ 性暴力が起こる原因について、当事者の関係性に着目させて考えさせる。</li> <li>・ 対等ではない関係の中に起こっていることを気付かせ、自分と相手を大切にすることを意識させる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 性暴力の被害者にも加害者にもならない、より良い関係づくりについて、自分言葉でまとめる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前学習と授業の学習を手がかりに、さまざまな視点から考えさせる。</li> </ul>

**使用教材**  
・準備物  
/留意事項

- 生命（いのち）の安全教育教材（中学生）を編集したものを事前に配布・共有し、性暴力防止について理解する<sup>23</sup>。
- 授業時に提示するスライドでの生徒のコメントなどは、質問オンラインフォーム (Microsoft Forms)を利用して事前に集計する。

<sup>23</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 66～68 ページを参照のこと。

## C. 足立区立第十中学校（保健体育）

学年 中学2年生



\*授業の風景

# 生命（いのち）の安全教育

### 取組概要 と工夫

- 保健体育科（保健分野）において指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学級別
  - ・ 取組に関する指導者 : 教科担当教諭
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/水着で隠れる部分/  
SNSの危険性/性暴力について/デートDV
- 「人権と生命を尊重する教育の推進」を掲げる足立区では、就学前段階における「プライベートゾーン」の理解」を起点に、発達段階に応じた連続性のある「自他の尊重」と「より良い人間関係」に関する学びを構成するため、生命（いのち）の安全教育に取り組んでいる。

### 題材の 目標

- 心と体には距離感があるという認識を身に付け、相手の気持ちを尊重した意思決定ができるようにする。
- 距離感が守られないときに取るべき行動を理解し、相談方法を身に付けることができるようにする。
- 性暴力の例や背景を理解し、デートDV、SNSで見えない相手とつながることの危険性について考え、安全な意思決定ができるようにする。
- お互いの気持ちを尊重し、より良い（望ましい）人間関係を構築しようとする態度を養う。

### 題材に ついて

自分や相手、一人一人を尊重することにより、加害者、被害者、傍観者にならないための思考や態度を身に付ける必要がある。

### 学習指導 要領との 関連

#### 中学校学習指導要領

保健体育  
〔保健分野〕  
2 内容

- (3) 傷害の防止について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
  - ア 傷害の防止について理解を深めるとともに、応急手当をすること。
  - イ 傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現すること。

## 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● より良い人間関係について理解する。</li> <li>● 体と心の距離感について考える。</li> <li>● 性暴力（デートDV、SNS）について理解する。</li> <li>● 性暴力が起きないようにするための方法について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心と体には距離感があるという認識を身に付け、相手の気持ちを尊重した意思決定ができるようにする。</li> <li>・ 距離感が守られないときに取るべき行動を理解し、相談方法を身に付けることができるようにする。</li> <li>・ お互いの気持ちを尊重し、より良い（望ましい）人間関係を構築しようとする態度を養う。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 性被害に遭ったときの対応方法を理解する。</li> <li>● 事例をもとに性被害への対処方法について話し合い、対応力を高める。</li> <li>● 性被害の相談先について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例をとおして、性暴力の例や背景を理解し、デートDV、SNSで見えない相手とつながることの危険性について考え、安全な意思決定ができるようにする。</li> </ul>

## 授業の展開

### 1 時間目の展開

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● より良い人間関係について理解する。</li> <li>● 体と心の距離感について考える。</li> <li>● 性暴力（デートDV、SNS）について理解する。</li> <li>● 性暴力が起きないようにするための方法について考える。</li> </ul>
-----	---

学習活動 ■ 主な発問 ・生徒の反応	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習上の注意点について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習中に不調を来して退出したい等の場合は教員に申し出て良いこと等を伝える。</li> <li>・ 授業のねらいと授業内容を説明する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業の目的や「生命（いのち）の安全教育」の全体像を知る</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● より良い人間関係について理解する。</li> <li>■ 良い人間関係とはどのようなものか考えてみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手のことを思いやることができる。</li> <li>・ 互いに助けあうことができる。</li> <li>・ 悩みごとを相談できる。</li> <li>・ いつも一緒にいたいと思える。</li> </ul> </li> <li>■ 体の距離感、心の距離感について考えてみましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 良い人間関係とはどのようなものか問いかけ、小集団での話し合いを進めながら、生徒が十分に考えることができるようにする。</li> <li>・ 距離感の種類を例示することで、目に見えない人との距離感の概念について伝える。</li> <li>・ 距離感が守られていないときの状況について理解し、距離感が守られていないときの対処方法について考える時間を十分に取ることで、自他の距離感を守ることの大切さを理解できるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 性暴力（デートDV、SNS）について理解する。</li> <li>■ 性暴力という言葉聞いたことがありますか。また、性暴力について知っていることはありますか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性暴力の例を示すことで、接触型暴力と非接触型暴力があることを理解できるようにする。</li> <li>・ 電車通学痴漢被害等、生徒の実態に応じて事例を準備し、性暴力が身近な問題であるこ</li> </ul>

<p>か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>性的なことに関する言葉や体を触るといった行為のこと。</li> <li>裸の写真等をとられること。</li> <li>無理やりキス等をされること。</li> </ul> <p>● 性暴力が起きないようにするための方法について考える。</p> <p>■ 授業を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>より良い人間関係を築くためには、心と体の距離感を保つことが大切であることを理解できた。</li> <li>性暴力の被害者、加害者、傍観者にならないよう十分に気を付けて生活していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>とに気付くことができるようにする。</li> <li>SNSやインターネット上に載せた画像や動画は、見た人が勝手に保存する等、取り返しのつかないことになることを十分に理解できるようにする。</li> <li>性暴力に性別は関係ないことを伝えることで、誰にでも起こりえることであることを理解できるようにする。</li> <li>被害に遭うと心身に様々な傷を負うことを共有することで、被害者が訴えにくい状況にあることを理解できるようにする。</li> <li>非対等な人間関係が、性暴力につながる可能性があり、誰ものが加害者、被害者、傍観者にならないようにするために、交際相手の写真を事例に、より良い人間関係を築くことで性暴力防止につながることを伝える。</li> </ul>
<p>● 授業を振り返る。</p> <p>■ 授業を振り返りましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>より良い人間関係を築くためには、心と体の距離感を保つことが大切であることを理解できた。</li> <li>性暴力の被害者、加害者、傍観者にならないよう十分に気を付けて生活していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちを尊重することで、良い人間関係を築けることを再確認できるようにする。</li> </ul>

■ 2 時間目の展開

<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>性被害に遭ったときの対応方法を理解する。</li> <li>事例をもとに性被害への対処方法について話し合い、対応力を高める。</li> <li>性被害の相談先について知る。</li> </ul>
------------	--

<p>学習活動 ■ 主な発問 ・生徒の反応</p>	<p>指導上の留意点</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>学習上の注意点について確認する。</li> <li>1 時間目の学主内容を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前時の振り返りについて発表してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>より良い人間関係を築くためには、心と体の距離感を保つことが大切であることを理解できた。</li> <li>性暴力の被害者、加害者、傍観者にならないよう十分に気を付けて生活していきたい。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習中に不調を来して退出したい等の場合は教員に申し出て良いこと等を伝える。</li> <li>性暴力の被害者、加害者、傍観者にならないために、より良い人間関係を築くことが必要であることを押えることで、授業の学習へとつなげる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な性犯罪について考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 万が一、性暴力の被害にあってしまったらどのように対処しますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>相手に嫌だと自分の意思を示し、声を出す。</li> <li>その場から逃げ、助けを求める。</li> <li>相手からの連絡に返信をしない。</li> <li>信頼できる大人に相談する。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>事例をもとに、性犯罪の被害者、加害者傍観者にならないためにどうすれば良いかについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事例を基に、事例の問題点と対処法について個人で考え、グループや全体で話し合いましょう。 <p>(事例1)「デートDV①(暴力)」</p> <p>(事例2)「デートDV②(束縛)」</p> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友人から相談された場合も、担任、養護教諭、スクールカウンセラー、保護者など信頼できる人に相談することが重要であることを理解できるようにする。</li> <li>事例(適宜選択)をもとに、登場人物の気持ちを想像し、加害者、被害者、傍観者にならないようにするためにはどうすれば良いかを考えることができるようにする。</li> <li>例で挙げている事例の他に、電車通学痴漢被害等、生徒の実態に応じた事例を準備する</li> </ul>

<p>(事例3)「SNS③(連れ去り)」 (事例4)「SNS④(写真の投稿)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 性被害の相談先について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 性犯罪・性暴力に関する悩みについては、信頼できる大人に相談する他に、専用の相談窓口があります。</li> </ul> </li> </ul>	<p>ことで、性暴力が身近な問題であることに気付くことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な相談先を提示し、自身が相談しやすい相手を選択できることについて安心感をもつことができるようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 授業を振り返りましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事例をとおして、自身が性被害にあったときの具体的な対処方法を考えることができた。</li> <li>・ 友達が性被害にあったときには、友達の気持ちに寄り添いながら、身近な大人に助けを求めようアドバイスしていきたい。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自身が性被害にあったときの対処方法について振り返ることができるように言葉掛けをする。</li> <li>・ 相手の気持ちを尊重すると、良い人間関係を築くことができることを再確認する。</li> </ul>

**使用教材**  
**・準備物**

- 文部科学省「生命(いのち)の安全教育教材」を基礎教材とする<sup>24</sup>。

<sup>24</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 69～71 ページを参照のこと。

## D. 白石市立福岡中学校（特別活動）

学年 中学 2～3 年生

# 「生命（いのち）の安全教育」

### 取組概要 と工夫

- 特別活動（2、3年生）で指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学級別（1学年1学級のため学級別＝学年一斉）
  - ・ 取組に関する指導者 : 養護教諭による実践授業 1 時間
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/水着で隠れる部分  
/SNS の危険性/性暴力について/デート DV
- 「生命の尊さ」「生きる権利」への理解を土台とする「性暴力・性被害」防止への学習を推進。

### 題材の 目標

- 「性暴力」について知り、これからの行動について考えよう

### 題材に ついて

学校における生命（いのち）の安全教育推進事業として、発達段階に応じた「生命を大切にする」「加害者にならない」「被害者にならない」「傍観者にならない」ための教育を行う。生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、命を大切にする考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を発達段階に応じて身につけさせる。

上記の内容を身につけさせていくにあたり、「男女の違い」についての正しい理解も必要のため、「性の多様性」も踏まえ、「性暴力・性被害」の詳しい内容についての学習を行う。

心と体が急激に変化しながらアイデンティティを形成していくという、まさに中学生の時期だからこそ、まずは自分の内面に丁寧に向き合わせることを通して、「自分や相手の心と体を大切にする」ということの意味を深めさせていく。

### 学習指導 要領との 関連

#### 中学校学習指導要領

特別活動

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕

2 内容

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

## 指導計画<sup>25</sup>

時	主な学習活動	◎指導上の留意点 ◇評価 <sup>26</sup> ☆安全教育の視点に立った留意点
1	「性暴力」について知り、これからの行動について考える。	◎命を大切にする教育を土台とし、性暴力の学習を行う。 ◎性暴力が身近に起こり得ることを理解させ、SNS被害やデートDVなどの事例を通して生徒に考えさせる。 ◇ワークシート ☆性的虐待を含め、性被害にあったことがある生徒がいる可能性を考慮して指導にあたる。

## 授業の展開

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>性暴力の事例や背景を理解し、デートDV、SNSで見えない相手とつながることの危険性について考え、安全な意思決定ができるようにする。</li> <li>心と体には距離感があるという認識を身に付け、相手の気持ちを尊重した意思決定ができるようにするとともに、距離感が守られていないときに取るべき行動を理解し、相談方法を身に付けることができるようにする。</li> </ul>
-----	---

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>性の講話の振り返り。</li> <li>授業の学習内容を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気分が悪い場合などは席を外したり、無理に話をしたりしないで良いことを伝える。</li> </ul>
「性暴力」について知り、これからの行動について考えよう	
<ul style="list-style-type: none"> <li>性暴力について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「性暴力」とは、どんなことか、身近に起こりうることであることを理解する。</li> </ul> </li> <li>事例から考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>束縛に関わる事例を読み、Aの気持ち、Bの気持ちを推測する。</li> <li>どんな付き合い方が良いのかグループで意見交換する。</li> <li>お互い対等な関係であることが大切であることを確認する。</li> </ul> </li> <li>SNSによる性被害やSNSを利用する際に、気をつけるべきことについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>SNSを介した事件について知る。</li> <li>SNS利用時の気をつけるべきことについて考える。</li> <li>ネット上に写真をのせる危険性について改めて</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>性暴力は、年齢や男女問わず起こること、見知らぬ男性だけが危険なのではないことを伝える。</li> <li>体に触らない暴力があることを伝える。</li> <li>身近な問題としてとらえさせ、どんな付き合い方が良いのか、お互いを大事にするとはどういうことか考えさせたい。</li> <li>意見交換時のルール（否定しない、きちんと聞く）を確認する。</li> <li>携帯安全教室での学習を振り返らせながら、事件につながることを知らせる。</li> <li>SNSにアップする写真には十分注意が必要であること、拡散や勝手に写真をアップするなどしてはいけない事を確認する。</li> </ul>

<sup>25</sup> 全体計画については11ページを参照のこと。

<sup>26</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

<p>確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 距離が守られていないときや被害にあった場合の対処方法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 万が一、被害にあった場合の対応について知らせる。</li> <li>・ 具体的な相談先を提示する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業の振り返り <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからの生活で気を付けたいことや授業の感想を記入する。</li> </ul> </li> </ul>	

**使用教材**  
**・準備物**  
**/留意事項**

- 文部科学省より指定された教材を使い、性暴力とは何かを知り、性暴力の根底にある誤った認識や行動、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解し、生命を大切にす、加害者、被害者、傍観者にならないための思考や態度を身に付けさせる<sup>27</sup>。

<sup>27</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 72～81 ページを参照のこと。

## E. 大阪府立市岡中学校（総合的な学習の時間）

学年 中学2年生



\*授業の風景

# 生命（いのち）の安全教育 ～デートDVについて知ろう～

### 取組概要 と工夫

- 総合的な学習の時間（探究課題「自他のからだと心を尊重した共生社会に向けて」）を用いて指導<sup>28</sup>。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学年一斉
  - ・ 取組に関する指導者 : ティーム・ティーチング  
(学級担任・教科担当教諭・養護教諭)
  - ・ 取組における指導内容 : SNSの危険性/性暴力について/デートDV
- 「性に関すること」＝「怖いこと・関わってはいけないこと」などのネガティブなイメージとならないような導入時の工夫を取り入れて指導を実施。

### 題材の 目標

- ① 人とのふれあいには段階があることを知り、相手の気持ちを尊重する気持ちをはぐくむ。
- ② 「デートDV」を含めた「性暴力」について知る。
- ③ 危険な場面において考える力をはぐくみ、危険回避能力を育てる。
- ④ グループワークをとおして、自他の意見の尊重や意思決定スキルを高める。

### 題材に ついて

本校の生徒の実態として、性に関する話を「恥ずかしいこと」「自分には関係ないこと」など「できればあまり受けたくない授業」としてとらえている傾向がある。

しかし、性に関する知識は思春期だけでなく、生涯にわたって子供たちが心豊かに、健康な人生を送るために必須のものだと考える。「生命（いのち）の安全教育」は、自他の心と体を大切にするために正しい知識や行動選択について考え、実践する能力を身につけることができる題材である。

### 学習指導 要領との 関連

#### 中学校学習指導要領

##### 第4章 総合的な学習の時間

##### 第1 目標

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問を見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

##### 第2 各学校において定める目標及び内容

##### 1 目標

<sup>28</sup>学校教育目標「自律した個人として自己を確立させ、他者と協力し、これからの社会を担うことをめざさせ、心豊かに力強く生きる力を育む。」を踏まえて総合的な学習の時間の目標「探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。」を定めており、探究課題である、自他を尊重し個性や多様性について考える、共生社会についての探究学習を行った。本授業は、単元14時間のうちの2時間として実施。また、保健体育科での「心身の発達と心の健康」の単元や、SNSの危険性（性暴力について）を取扱うメディアリテラシー教育と教科を横断、連携させて実施。

各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。

## 2 内容

各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。

## 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	ふれあいの12段階について考えよう デートDVってなんだろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいには段階があり、心と体の距離感が人それぞれ違うことを知る。また、尊重しなければならないことを知る。</li> <li>「デートDV」のDVDを鑑賞し、スライドを通して深く知る。</li> </ul>
2	危険行動を回避しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険行動の予測と及ぼす影響について考える。</li> </ul>

## 授業の展開

### ■ 1 時間目の展開

ねらい	デートDVを理解する
-----	------------

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>1年時の性教育を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「性」とは？ 生きる「こころ」 体の成長とともに「こころ」も成長する。</li> <li>「性の多様性」について</li> </ul> </li> </ul>	<p>※グループワークの班で集まってもらい、最初のワークに必要なものを配布しておく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各クラス男子のみ、女子のみの班を6班作っておく。（1・2班の男子、3・4班の男子・・・という風に）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「恋するきもち」や理想の付き合い方について考える。</li> <li>親しくなる「お付き合い」のプロセスを考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ここでは、いわゆる「男女」のパターンで考えるが、自分の好きな相手の性に置き換えて考えても大丈夫</li> <li>ふれあいの12段階を使ってグループワークを行う。（グループで話し合いながら、12段階の順番を考えて並べる）</li> <li>どうしてそのような順番に決めたのかも話し合う。</li> </ul> </li> <li>ふれあいには段階があり、「こころの距離」が近づく「体の距離」も近づくことを知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>距離が近づくには、相手の気持ちが大切であることを知る。</li> </ul> </li> <li>「性的接触」について知り、予期せぬ妊娠があることを知る</li> <li>動画を見て、相手を大切にしない付き合い方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カードは置くだけで、貼らないこと。</li> <li>学年の先生方もグループをまわって、一緒に考えたり、作業が進まないグループをサポートしたりする。</li> <li>「ふれあいの12段階」の答え合わせと説明をする。</li> <li>人生にとって、恋愛すること、ふれあうことの大切さを伝える一方で、性行為は妊娠する行為であり、妊娠したらどうするかを考えて行動しなければならないことをしっかりと押さえる。</li> <li>グループのままで動画を視聴する。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「DV」や「デートDV」があることを知る</li> <li>● 動画の内容を振り返りながら、スライドで復習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライドを使って説明する。</li> </ul>
---	---

## ■ 2 時間目の展開

ねらい	危険行動を回避する
-----	-----------

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● スライドの説明を聞く <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「性暴力」や SNS での被害について知る。</li> </ul> </li> <li>● 事例をもとに「危険予測・行動決定」のワークをする（班）</li> <li>● スライドの説明を聞く <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心身への影響、相談先についても学ぶ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライドに沿って説明する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「危険な場面」は誰にでもどこでも起こりうることをしっかりと心に留め、常にいったん「止まって」「考え」「安全な選択」ができる力を身につける。</li> <li>● 友だちから相談を受けたら、相手の気持ちを受け止め、しっかりと話を聞いてあげる。</li> <li>● 友だちの状況がデート DV だと思ったら、すぐに信頼できる大人や相談できる場所に相談する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先を見据えた行動ができるよう、日頃から考えて動くことを押さえる。</li> <li>・ ピアプレッシャーについて押さえ、友だちから相談を受けたときの対応を知らせる。</li> <li>・ 困ったときの相談機関を知らせる。（パンフレット）</li> </ul>

<b>使用教材</b> <b>・準備物</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材（中学校用教材）」を基礎教材とする<sup>29</sup>。</li> <li>● その他の準備物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 模造紙</li> <li>・ カード入りの封筒</li> <li>・ PC</li> <li>・ ホワイトボード</li> <li>・ DVD 教材「デートDVって知っていますか」（大阪府作成）</li> </ul> </li> </ul>
----------------------------	---

<sup>29</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 82～86 ページを参照のこと。

## F. 板橋区立志村第一中学校（特別活動）

学年 中学1～3年生



\*授業の風景

# 生命（いのち）の安全教育

### 取組概要 と工夫

- 特別活動において指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学級別
  - ・ 取組に関する指導者 : 学年主任（養護教諭（教材制作支援））
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/ SNS の危険性/性暴力について /デートDV
- 「人との距離感には、良いものも悪いものもある」など、心地良いこととそうでないこと等を対比しつつ、生徒が対話的に学習を深めていけるよう工夫。

### 題材の 目標

- より良い人間関係について考え、人と人との距離感には様々な見方や考え方、感じ方があることに気付く。
- 性暴力に関する正しい知識をもつ。
- 性暴力が起きないようにするための考え方・態度を身に付けることができるようにする。
- 性暴力が起きたとき等に適切に対応する力を身につけることができるようにする。
- 心と体には距離感があるという認識を身に付け、相手の気持ちを尊重した意思決定ができるようにする。
- 距離感が守られないときに取るべき行動を理解し、相談方法を身に付けることができるようにする。
- 性暴力の例や背景を理解し、デートDV、SNSで見えない相手とつながることの危険性について考え、安全な意思決定ができるようにする。
- お互いの気持ちを尊重し、より良い（望ましい）人間関係を構築しようとする態度を養う。

### 題材に ついて

「生命（いのち）の安全教育」は、性犯罪・性暴力対策の強化の方針の中で、学校等における教育や啓発の内容の充実を目指して行われるものである。保健体育科の「健康な生活と疾病の予防」「心身の機能の発達と心の健康」「傷害の防止」との関連があり、特別活動を含む、教育課程内外のさまざまな活動の中で実施するものとなる。性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないようにするとともに、性暴力の根底にある誤った認識や行動について理解させ、性暴力が及ぼす影響を正しく理解させた上で、生命を大切に考えることや、自分や相手、一人ひとりを尊重する態度を身に付けさせることが必要である。

一方、中学校での性暴力は、加害者に優位性がある状況での被害が多く、生徒間での性暴力も増加する。また、インターネットへのアクセスが容易になり SNS 等を介した被害も発生する。被害が増える一方で、大人に相談するのが難しくなりやすく、一人で抱え込むことがある。性暴力が起こる背景についても学び、自分が被害に遭った場合に信頼できる大人に話す等対処の方法を身に付ける必要がある。自分や相手、一人ひとりを尊重することにより、加害者、被害者、傍観者にならないための思考や態度を身に付ける必要がある。

## 中学校学習指導要領

### 特別活動

#### 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

##### 〔学級活動〕

##### 2 内容

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

イ 男女相互の理解と協力

ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応

エ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

## 学習指導要領との関連

## 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1 (第1学年)	自他の尊重や相手の気持ちを尊重した意思決定について正しい知識をもつ。 相手の気持ちを尊重した意思決定を行い、他者と適切に対応する力を身に付ける。 相手の気持ちを尊重した意思決定を行うための考え方・態度を身に付ける。	「自他の尊重」 (1) 自分と相手を尊重する上で、距離感が大切であることを理解する。 (2) 相手の同意や気持ちを尊重した意思決定について理解する。
1 (第2学年中時)	デートDVについて正しい知識をもつ。 デートDVに遭ったときに、適切に対応する力を身に付ける。 デートDVの被害に巻き込まれないようにするための考え方・態度を身に付ける。	「デートDV」 (1) デートDVの実態を理解する。 (2) 性暴力被害に遭ったときの対応を理解する。
1 (第3学年)	性暴力について正しい知識をもつ。 自分や他者が性暴力の被害に遭ったときに、適切に対応する力を身に付ける。 性暴力の加害者や被害者にならないための考え方・態度を身に付ける。	「性暴力の実態」 (1) 性暴力に遭うと起こること等を理解する。 (2) 性暴力の被害に遭ったときに、被害を拡大させないためにとるべき方策について理解する。

## 授業の展開

### ■ 授業（第1学年）の展開

ねらい

・ よりよい人間関係について考えよう

### 学習活動

- 日々の人間関係について振り返る。

### 指導上の留意点

- ・ 学習中に体調等がすぐれない場合は退出して良いことを伝える。
- ・ アンケート結果より、人間関係の悩みをもつ人もいること、自分の気持ちが正しく伝わっているとは限らないこと、相手の気持ちを正しく理解できていないこともあることを押さえる。

めあて：よりよい人間関係について考えよう

<ul style="list-style-type: none"> <li>● より良い人間関係について意見を共有する。</li> <li>● 自分と相手を守る「距離感」について考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人との「距離感」を整理する。(身体的・心理的)</li> </ul> </li> <li>● 「距離感が守られない時は」動画を視聴する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心地良い距離の感覚は人によって違うこと、仲の良い相手でも自分と同一の考えではない場合もあることを押さえる。</li> <li>・ 身体的距離感については、掲示資料（SST（ソーシャルスキルトレーニング）より）をもとに説明する。</li> <li>・ 相手が嫌だと言ったら相手の気持ちを受け入れることが大切であることを考えさせる。「束縛、干渉、支配、依存」につながる行動を想起させる。</li> <li>・ 対等な関係性を築く上で、嫌なことは嫌だと言える人間関係が大切であることを考えさせる。</li> <li>・ 人との距離は自分で決めて良いこと、自分の気持ちや考え方は自分で決めて良いこと、を全体で押さえる。また、相手の気持ちを尊重した関係性を築くために、相手も同意したかどうか正しく判断できることが大切である。嫌なことは嫌と言うこと、相手が嫌と言うことはしないことを共通理解する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事後アンケートを入力して振り返りを行う。</li> </ul>	

■ 授業（第2学年）の展開

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デート DV について正しい知識をもつ。</li> <li>・ デート DV に遭ったときに、適切に対応する力を身に付ける。</li> <li>・ デート DV の被害に巻き込まれないようにするための考え方・態度を身に付ける。</li> </ul>
-----	---

学習活動	指導上の留意点
<p>ねらい「自分の心と体を大切にする」ために知識をつけ、安全な意思決定ができるようにする</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の心と体を大切にするために、性暴力に関する知識を正しく身に付けることが大切であることをおさえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害に遭った人の方が抱え込んで苦しんでしまうことを伝える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 性暴力、デート DV について正しい知識をもち、どのような行動がデート DV に当てはまるかを考える。</li> <li>● 性暴力が起きてしまう関係性について学び、より良い人間（恋愛）関係について考えを深める。</li> <li>● デート DV の事例をもとに「傍観者」と「当事者」の2つの側面から安全な意志決定の方法を考える。</li> <li>● 性暴力の被害に遭ったときの、自分の心と体の守り方を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どんな理由があっても性暴力は決して許されないことを強く伝える。また、性暴力は「愛があれば暴力は許される」などの間違った思い込みから起こりやすくなってしまふことを伝える。</li> <li>・ より良い人間（恋愛）関係を築くことが、性暴力を防ぐことにつながることを伝える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 性暴力の被害に遭ったときの対応について説明する。</li> <li>● 事後アンケートを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暴力を受けたときの「心の SOS」を見逃さない。少しでもパートナーとの関係に疑問を抱いたら客観的に考えてみることを伝える。</li> <li>・ 相談窓口があること、ひとりで抱え込まないこと、暴力は決して許されないことを伝える。</li> </ul>

■ 授業（第3学年）の展開

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性暴力について正しい知識をもつ。</li> <li>・ 自分や他者が性暴力の被害に遭ったときに、適切に対応する力を身に付ける。</li> <li>・ 性暴力の加害者や被害者にならないための考え方・態度を身に付ける。</li> </ul>
-----	---

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習上の注意点</li> <li>● 授業のねらいや全体像を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習中に不調を申し出て退出したい等の場合は教員に申し出て良いこと等を伝える。</li> <li>・ 授業のねらいと授業内容を説明する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     ねらい 性暴力について理解し、自分や他者を大切にする方法を考える。                 </div>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● よりよい人間関係について考えワークシートを記入する</li> <li>● 性暴力の実態を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よい人間関係とはどのようなものか問いかけ、生徒に考えさせ、ワークシートに記入させる。</li> <li>・ 距離感の種類を例示することで、目に見えない人との距離感の概念について伝える。</li> <li>・ 距離感が守られていないときはどうすれば良いかを生徒に考えさせ、自他の距離感を守ることの大切さを理解させる。</li> <li>・ 性暴力には、接触型暴力と非接触型暴力があることを例示する。</li> <li>・ 事例は生徒の実態に応じて準備し、登場人物を同世代とすることで性暴力が身近な問題であることに気付かせる。</li> <li>・ SNS やインターネット上に載せた画像や動画は、後で消すことが難しくなることを伝える。</li> <li>・ 性暴力に性別は関係ないことを伝える。</li> <li>・ 被害に遭うと心身に様々な傷を負うことを共有し、被害者が訴えにくい状況にあることを伝える。</li> <li>・ 非対等な人間関係が、性暴力につながることを伝える。</li> <li>・ 加害者、被害者、傍観者にならないために、交際相手の写真を事例に、よりよい人間関係を築くことで性暴力防止につながることを伝える。</li> <li>・ 被害に遭ったらどのように対応すれば良いかを伝える。</li> <li>・ 友人から相談された場合も教員、スクールカウンセラー、保護者など信頼できる人に相談することをすすめる。</li> <li>・ 補足資料のデート DV、SNS の危険性の事例をもとに、登場人物の気持ちを考えさせ、被害に遭わない方法や加害者にならないようにするにはどうすれば良いかを考えさせる。</li> <li>・ グループ内でお互いの考えを交流し、どのようにすれば被害に遭わないか、加害者にならないかを話し合わせる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害に遭ったときの対応を身に付ける</li> <li>● 事例について考え、ワークシートを記入する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の気持ちを尊重すると、良い人間関係を築けることを再確認する。</li> <li>・ 相談機関について補足説明する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワークシートを記入し、まとめを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の気持ちを尊重すると、良い人間関係を築けることを再確認する。</li> <li>・ 相談機関について補足説明する。</li> </ul>

使用教材  
・準備物  
/留意事項

- 「生命（いのち）の安全教育教材（中学校用教材）補足資料（事例集）」に掲載されている SNS の危険性やデート DV に関する事例を用い、生徒が対話的に学習を深めていけるように授業を計画する<sup>30</sup>。
- また、3年間の系統性を意識し、「自分や他者が性暴力の被害に遭ったときに、適切に対応する力」の育成につなげることができるよう、事例をもとに、被害に遭ったときに対応することについて、授業者が説明する場面と、生徒が考える場面を授業内で効果的に構成する。

<sup>30</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 87～89 ページを参照のこと。

## G. かつらぎ町立笠田中学校（特別活動）

学年 中学3年生



\*授業の風景

# お互いを尊重するために

### 取組概要 と工夫

- 特別活動（学級活動）で指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学級別（全2学級）
  - ・ 取組に関する指導者 : 教科担当教諭（学級担任）
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/デートDV
- 性に関する指導の一環として、生命（いのち）の安全教育を指導。

### 題材の 目標

- 「性別に関する先入観や偏見をなくし、男女が互いに尊重し、自立した対等な関係づくりを進める」ことへの理解を一層深める。

### 題材に ついて

ジェンダー・バイアスについて考えさせ、またアンガー・マネジメント、アサーション・トレーニングも取り入れて、改めて対等な関係の築き方や、それぞれの生命の大切さについて考えさせることにより、より一層互いを尊重する思考や態度を育む。

### 学習指導 要領との 関連

#### 中学校学習指導要領

##### 特別活動

##### 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

##### 〔学級活動〕

##### 2 内容

- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応

### 指導計画<sup>31</sup>

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	ジェンダー・バイアスについて考える	・ 社会的な性差がデートDVの要因となることについて考えさせるとともに、「男らしさ、女らしさ」ではなく互いの「自分らしさ」が大切であると気づかせる。
2	アンガー・マネジメントについて学習する	・ 「対等な関係」であるためには、自分の意見を伝えることの大切さを再確認するとともに、どのように自分の意見を伝えれば良

<sup>31</sup> 全体計画については12ページを参照のこと。

		いかということについて I メッセージを通して学ばせる。
3	アサーションについて学習する	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手を尊重しながら自分のことを伝えるためには、どのようにすることが大切かということについて、アサーション・トレーニングを通して学ばせ、自分の生活に活かそうとする態度を養う。</li> </ul>

## 授業の展開

### ■ 1 時間目の展開

ねらい	ジェンダー・バイアスについて考える
-----	-------------------

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>学習上の注意点</li> <li>授業のねらいを知る</li> <li>ジェンダー・バイアスについて考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習中に不調を来して退出したい等の場合は教員に申し出て良いこと等を伝える。</li> <li>授業のねらいと授業内容を説明する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果を確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ある恋人同士の会話を黙読させ、その後再現会話を聞かせる。</li> <li>社会の中における「男らしさ・女らしさ」について考えさせ、デート DV が起きる社会的な要因に繋がっていることを説明する。</li> <li>事前アンケートの結果を通して、自分達の集団の中にあるジェンダー・バイアスについて確認させる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の感想や気が付いたことを記入させる。</li> <li>次回授業の予告をしておく。</li> </ul>

### ■ 2 時間目の展開

ねらい	アンガー・マネジメントについて学習する
-----	---------------------

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>学習上の注意点</li> <li>授業のねらいを知る</li> <li>アンガー・マネジメントについて学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習中に不調を来して退出したい等の場合は教員に申し出て良いこと等を伝える。</li> <li>授業のねらいと授業内容を説明する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>I メッセージの学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>LINE メッセージのやりとりを見て考えさせる。</li> <li>アンガー・マネジメントにおいて大切なことを説明する。</li> <li>教員のロールプレイを示す。 ( I メッセージ、You メッセージの 2 パターン)</li> <li>それぞれの言われた側の気持ちを比較させる。</li> <li>I メッセージの説明をする。</li> <li>ロールプレイングをさせる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>I メッセージの練習</li> <li>授業のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対等な立場で、互いに自分の意見を伝えながら、相手の意見や考えも大切にできる関係づくりが必要であることを説明する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>次回授業の予告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習全体を通しての感想や、気づいたことについて記入させる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>さらに互いを尊重するために必要なことについて考えていくことを伝える。</li> </ul>
--	--

### ■ 3 時間目の展開

ねらい	アサーションについて学習する
-----	----------------

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>学習上の注意点</li> <li>授業のねらいや全体像を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習中に不調を来して退出したい等の場合は教員に申し出て良いこと等を伝える。</li> <li>授業のねらいと授業内容を説明する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>アサーションについて学習する</li> <li>アサーション・トレーニングをおこなう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 時間目の感想紹介</li> <li>自分のコミュニケーションタイプについてふりかえらせる。</li> <li>3 つのコミュニケーションタイプについて説明する。</li> <li>事例から、問題点や、ふたりの考えや気持ちを考えさせる。</li> <li>ふたりの会話をアサーティブ・コミュニケーションでおこなうと、どのようになるかを考えさせる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業のまとめ</li> <li>全体のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アサーティブなコミュニケーションをおこなうことで、相手のことを尊重しながら自分の思いを伝えられることを確認させる。</li> <li>学習全体を通しての感想や、気づいたことについて記入させる。</li> </ul>

<p>使用教材 ・準備物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材（中学校用教材）」を基礎教材とする<sup>32</sup>。</li> <li>参考資料 <ul style="list-style-type: none"> <li>内閣府 「令和 2 年度男女間における暴力に関する調査」</li> <li>内閣府 「人と人とのより良い関係をつくるために交際相手とのすてきな関係をつくっていくには」</li> <li>江戸川区デート DV 予防スライド 4 「その怒りは誰のもの？つき合っている相手に対してイライラしてしまう人へ」</li> <li>江戸川区デート DV 予防スライド 5 「人と人とのより良い関係について一緒に考えようアサーティブ・コミュニケーション編」</li> </ul> </li> </ul>
----------------------	---

<sup>32</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 90～98 ページを参照のこと。

## 4 高等学校

### A. 鹿児島県立曾於高等学校（保健体育）

学年 高校 1～2 年生



\*授業の風景

## 健康に関する意思決定・行動選択 ／ 性意識と性行動の選択

#### 取組概要 と工夫

- 保健体育科（保健科目）で指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学級別
  - ・ 取組に関する指導者 : ティーム・ティーチング（教科担当教諭と養護教諭）
  - ・ 取組における指導内容 : SNS の危険性/性暴力について/デート DV/セクシュアルハラスメント
- 授業中にリアルタイムで子供たちのアンケート結果を提示、理解と関心を促進。さらに、学んだことを「生命（いのち）の安全教育啓発漫画」として制作させるなど、生徒たちの啓発活動を指導。

#### 題材の 目標

- 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び健康づくりが関わっていることを理解できるようにする。

#### 題材に ついて

生涯の各段階においては、健康に関わる様々な課題があり、それに対応して、個人や社会に求められる能力や機能なども異なっている。したがって、生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康とのかかわりを踏まえて、場面に応じた適切な意志決定や行動選択が不可欠であることを理解できるようにする必要がある。

異性を尊重する態度が必要であること、及び性に対する情報等に適切に対処して行動することの必要性を理解する。

#### 学習指導 要領との 関連

#### 高等学校学習指導要領

保健体育

第2款 各科目

第2 保健

2 内容

(3) 生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 生涯を通じる健康について理解を深めること。

(ア) 生涯の各段階における健康

生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。

イ 生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現すること。

## 指導計画 <sup>33</sup>

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	健康に関する意思決定・行動選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>意思決定・行動選択には様々な要因により影響を受けることを理解することができるようにする。</li> <li>性暴力の現状や性的同意について理解することができるようにする。</li> </ul>
2	性意識と性行動の選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちを尊重した意思決定ができるようにする。</li> <li>性暴力の現状等を理解し、安全な意思決定ができるようにする。</li> <li>自分や身近な人が性暴力の被害に遭った場合、適切な対処ができるようにする。</li> </ul>

## 授業の展開

### ■ 1 時間目の展開

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>性暴力の現状について理解することができる。</li> <li>性的同意について理解することができる。</li> </ul>
-----	--

学習活動	◎ 指導上の留意点 ◇ 評価 <sup>34</sup>
<ul style="list-style-type: none"> <li>意思決定・行動選択とは何かを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>発問： <ul style="list-style-type: none"> <li>1 学期に学んだ生活習慣病について、授業後、習慣を見直して何かを始めたり止めたりしたことはあるか。またその理由は？</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 何をすべきか自分で考え、それを実践していくことが重要であり、そのことを意思決定・行動選択とすることを理解させる。</li> <li>◎ 知識の不足等から適切でない意思決定・行動選択をすることで性暴力被害を受けたり与えたりしていることがあることを理解させる。</li> <li>◇【知・技】 <ul style="list-style-type: none"> <li>規則的な生活習慣について、言ったり書いたりしている。</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>性暴力について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>性暴力被害の分類について</li> <li>それぞれの被害の特徴を替えるときに、水着ゾーンを見せないようにする。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 気分が悪くなったり居辛くなったりした時は、遠慮なく退室してもいいことを伝える。</li> <li>◎ 提示する資料が見たくない場合は、見なくてもいいことを伝える。</li> <li>◎ 性暴力の加害者は、知らない人ばかりではなく、知人によるものがあることを理解させる。</li> <li>◎ 被害によっては、どこにも相談しなかったケースがあることを理解させる。</li> <li>◎ 性暴力の加害者、被害者になっている可能性があることを理解させる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>性的同意について理解する。性的同意のチェックシートをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 互いの意思が確認できていない、同意が取れていない「性行為」が、「性被害」や「性暴力」につながる可能性があることを理解させる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で学習したことを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 性暴力の加害者、被害者にならないために、どの</li> </ul>

<sup>33</sup> 全体計画については 13 ページを参照のこと。

<sup>34</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

	<p>ように意思決定・行動選択を行えばいいかを自分のこととしてとらえさせる。</p> <p>◎身近に性暴力の被害者がいた場合、どのように意思決定・行動選択を行えばいいかを話し合う。</p> <p>◇【思・判・表】 自分のこととしてとらえ、どのように対処していけばいいかを言ったり書いたりしている。</p>
--	--

■ 2 時間の展開

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちを尊重した意思決定ができるようにする。</li> <li>性暴力の現状等を理解し、安全な意思決定ができるようにする。</li> <li>自分や身近な人が性暴力の被害に遭った場合、適切な対処ができるようにする。</li> </ul>
-----	--

学習活動	◎ 指導上の留意点 ◇ 評価 <sup>35</sup>
● 授業の狙いや全体像を知る	<p>◎ 気分が悪くなったり、居辛くなったりした時は、遠慮なく退室しても良いことを伝える。</p> <p>◎ 提示する資料が見たくない場合は、見なくても良いことを伝える。</p>
● より良い人間関係について理解する。	<p>◎ より良い人間関係とはどのようなものか、生徒に考えさせる。</p> <p>◎ 距離感の種類を例示することで、目に見えない人との距離感の概念について伝える。</p> <p>◎ 自他の距離感を守ることの大切さを理解させる。</p> <p>◇【知】 「より良い人間関係とは？」「心の距離感」「体の距離感」について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>
● 性暴力の実態を知る	<p>◎ 動画を通して、性暴力にはどのようなものがあるか、接触型暴力と非接触型暴力を例示しその内容を理解させる。</p>
● 性暴力被害に関するデータから被害の実態を知る。	<p>◎ 自身も被害者や関係者になり得るという現状について、性暴力被害に関するデータを用いて伝える。</p>
● 性暴力事例（デートDV）について理解する。	<p>◎ デートDVの背景にある思い込みなどについて動画を通して具体的に理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動画の性暴力（デートDV）の例から、どんなことがデートDVになるのか生徒に考えさせる。</li> <li>「いやだ」「やめて」「いけない」「だめだ」といったことを言葉でしっかりと伝えることが大事であることを伝え、事例を挙げて、実際に「いやだ」というようなロールプレイングを実施する。</li> <li>相手から「いやだ」といった意思表示があった場合はどうしたら良いか、動画視聴前または視聴後、生徒自身に考えさせる。</li> </ul>
● SNSを通じた性暴力の実態を知る。	<p>◎ SNSやインターネット上に載せた画像や動画は、見た人が勝手に保存する等、あとで消すことが難しくなることを伝える。</p>
● 性暴力（セクシュアルハラスメント）とは、性的な発言や行為によって相手を不快な気持ちにさせたり相手を傷つける行為であることを知る。	<p>◎ 性暴力に性別は関係ないことを伝える。</p> <p>◎ 被害に遭うと心身に様々な傷を負うこと、被害者が訴えにくい状況にあることを伝える。</p> <p>◎ 生徒の状況を踏まえた上で、必要に応じて、性</p>

<sup>35</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 性暴力はなぜ起こるのかを知る。</li> <li>● 性暴力が起きないようにするためにどうすれば良いか知る。</li> <li>● SNSを通じた性犯罪の被害に遭わないためにどうすれば良いか知る。</li> <li>● 性暴力の被害にあったらどうすれば良いか知る。</li> <li>● 二次被害について知る。</li> </ul>	<p>暴力により妊娠したり性感染症にかかったりする場合もあることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎動画を視聴し、非対等な人間関係が、性暴力につながる可能性があることを理解させる。</li> <li>◎動画を視聴し、自分と相手を大切にすること、暴力を許さないことを理解させる。</li> <li>◎加害者、被害者、傍観者にならないためにどうすれば良いのか、動画を基に考えさせる。</li> <li>◎より良い人間関係を築くことで性暴力防止につながることを伝える。</li> <li>◎動画の事例から、どうすれば被害を防ぐことができるか考えさせる。</li> <li>◎性暴力の被害に遭ったとき、友達が性暴力の被害に遭ったときにどうすれば良いか動画を視聴し、理解させる。</li> <li>◎動画を視聴し、二次被害について正しい知識を伝える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業で学習したことを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないためにどのような意思決定・行動選択を行えばいいのかを自分のこととしてとらえさせる。</li> <li>◎自分や身近な人が被害にあったら、相談できる人や機関があることを伝える。</li> </ul> <p>◇【思・判・表】 性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないための適切な方法を話し合ったり、ノートなどに記述したりして筋道を立てて説明している。</p>

使用教材  
・準備物  
/留意事項

- 文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材」を基礎教材とする<sup>36</sup>。
- 動画視聴やワーク(タブレット PC によるリアルタイムアンケート等)を通じて、性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないようにするために、生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切に考える考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を身に付けられるようにする。

<sup>36</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 99～105 ページを参照のこと。

## B. 千葉市立稲毛高等学校（特別活動）

学年 高校2年生



\*授業の風景

# ～大切な心と体を守るために～

### 取組概要 と工夫

- 特別活動におけるロングホームルームにて指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学年一斉
  - ・ 取組に関する指導者 : 外部講師  
(NPO 法人虹色のたね理事長 池畑博美氏)
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/SNSの危険性/性暴力について/  
デートDV/JKビジネス/セクシャルハラスメント
- 学校の先輩・同級生・後輩・交際相手、指導者等身近な人等からの性暴力の背景や現状を理解するとともに、安全な意思決定ができるよう指導。

### 題材の 目標

- 生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響等を正しく理解した上で、生命を大切にすることを考え、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を身に付ける。

### 題材に ついて

高校での性暴力は、人間関係が広がる中で学校の先輩・同級生・後輩・交際相手、指導者等身近な人から性暴力を受ける場合が多い。その一方で、加害者との関係性、噂話の広がりへの懸念、自分の立場の脆弱性から、大人に相談するのが難しくなりやすく、一人で抱え込むことがある。

そこで、距離感が守られない場合取るべき行動や相談方法を理解させる。

また、性暴力の背景や現状を理解し、デートDV、SNSの危険性、セクシュアルハラスメントなどを含め、安全な意思決定ができるようにする。

### 学習指導 要領との 関連

#### 高等学校学習指導要領

##### 特別活動

##### 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

##### 〔ホームルーム活動〕

##### 2 内容

##### (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立

## 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	自分や相手、一人一人を尊重する態度等を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>性暴力の背景や現状を理解し、デートDV、SNSの危険性、セクシュアルハラスメントなどを含め、安全な意思決定ができるようにする。</li> <li>配慮が必要と思われる生徒がいれば授業中の様子を複数の教職員で特に注意深く見守る。</li> </ul>

## 授業の展開

ねらい	生命を大切にする考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を身に付ける。
-----	---------------------------------------

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>学習上の注意点を知る</li> <li>授業のねらいを知る</li> <li>より良い人間関係について理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習中に不調を来して退出したい等の場合は教員に申し出て良いこと等を伝える。</li> <li>授業のねらいと授業内容を説明する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>性暴力の実態を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>良い人間関係とはどのようなものか問いかけ、生徒に考えさせる。</li> <li>自分と他人との距離は「自分自身で決めることができる」ことを押さえる。</li> <li>距離感の種類は体の距離と心の距離があることを例示することで、自分と人との距離感の概念について伝える。</li> <li>特に心の距離感については、自分の身の回りにいる人との関係について考え、その距離は自分で決めることができる。</li> <li>距離感が守られていないときはどのようにすれば良いかを生徒に考えさせ、自他の距離感を守ることの大切さを理解させる。</li> <li>性暴力にはどのようなものがあるか、接触型暴力と非接触型暴力を例示する。</li> <li>性暴力の責任は加害者にあり、被害を受けた人は決して悪くないことを押さえる。</li> <li>電車通学の生徒が多い等、各校の実態に応じて痴漢や盗撮被害について言及しても良い。</li> <li>自身も被害者や関係者になり得るという現状について、性暴力被害に関するデータを用いて伝える。</li> <li>事例が実際に校内であった場合は、内容を変えるなど、配慮が必要。</li> <li>SNS やインターネット上に載せた画像や動画は、見た人が勝手に保存する等、あとで消すことが難しくなることを伝える。</li> <li>被害にあった場合、速やかに外部機関に相談</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害に遭ったときの対応を身に付ける</li> </ul>	<p>する等の具体的な対応方法を知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暴力に性別は関係ないことを伝える。</li> <li>・ 被害に遭うと心身に様々な傷を負うことを共有し、被害者が訴えにくい状況にあることを伝える。</li> <li>・ 生徒の状況を踏まえた上で、必要に応じて、性暴力により妊娠したり性感染症にかかったりする場合もあることを伝える。</li> <li>・ 非対等な人間関係が、性暴力につながる可能性があることを伝える。</li> <li>・ 加害者、被害者、傍観者にならないために、事例を提示し、より良い人間関係を築くことで性暴力防止につながることを伝える。</li> <li>・ 二次被害の例や背景を伝える。</li> <li>・ 被害に遭ったら、どのように対応すれば良いかを伝える。</li> <li>・ 友人から相談された場合、友人が加害者だった場合も、担任、養護教諭、スクールカウンセラー、保護者など信頼できる人に相談することをすすめる。</li> <li>・ 補足資料のデート DV、SNS の危険性、セクシュアルハラスメント JK ビジネスの事例（適宜選択）をもとに、登場人物の気持ちを考えさせ、被害に遭わない方法や加害者にならないようにするにはどうすれば良いかを考えさせる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談機関について補足説明する。</li> <li>・ 自分の気持ちを大切に、相手の気持ちを尊重すると、良い人間関係を築けることを再確認する。</li> </ul>

**使用教材**  
・準備物

- 文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材」を基礎教材とする<sup>37</sup>。
- 授業で活用可能なその他教材  
内閣府「人と人とのより良い関係をつくるために 交際相手とのすてきな関係をつくっていくには」

<sup>37</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 106～111 ページを参照のこと。

## C. 東京都立忍岡高等学校（特別活動）

学年 高校 1～3 年生



\*授業の風景

# 大切な心と体を守るために

### 取組概要 と工夫

- 特別活動（ホームルーム活動）で指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学級別
  - ・ 取組に関する指導者 : 学級担任
  - ・ 取組における指導内容 : (自他の尊重/水着で隠れる部分/) SNS の危険性/性暴力について/デート DV
- 通学途中の公共交通機関等での被害や、SNS に関する認識や理解が浅いためトラブルといった現状があることを踏まえて、生徒自身が安全に行動できる力を身に付け、他者や社会の安全にも貢献する態度の醸成を目標とする指導を実施。

### 題材の 目標

- 地域・社会で起こる犯罪や危険について理解し、安全に行動できるようにする。

### 題材に ついて

思春期は、身体の成長とともに人格の発達過程においても重要な時期である。人間関係のトラブルが発生した場合は、様々な形で問題となって表れる。近年では性犯罪や性暴力に巻き込まれる事件が取り沙汰されている。生徒が「加害者にならない」、「被害者にならない」、「傍観者にならない」ためには、より良い人間関係について考え、どのような状況下にあっても適切に行動することが求められる。

文部科学省「生命（いのち）の安全教育」教材等を活用し、「より良い人間関係」について考えさせ、対話的な学習を行う。また、SNS などにおける性被害等の防止策や相談先なども学び、自分の心と体を守ることができるようにしていく。

### 学習指導 要領との 関連

#### 高等学校学習指導要領

##### 特別活動

#### 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

##### 〔ホームルーム活動〕

#### 2 内容

#### (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア 自他の個性の理解と尊重、より良い人間関係の形成

イ 男女相互の理解と協力

オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立

## 指導計画

時	主な学習活動	安全教育の視点に立った留意点
1	動画 生命（いのち）安全教育教材（高校）1・2を視聴する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他人事と思わず、自分や自分の大切な人のことだと思って取り組めるようにする。</li> <li>・ 先にワークシートに生徒が考えたセリフを記入させ、全員でそれぞれの役を交互に演じる等、発言しやすいようにする。</li> </ul>

## 授業の展開

ねらい

より良い人間関係について考え、グループやクラスで話し合うことで、性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないようにするためにどうすれば良いか考える。

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「生命（いのち）の安全教育」の目的を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材スライドを用いて、性犯罪や性暴力の「加害者にならない」、「被害者にならない」、「傍観者にならない」ための授業であると伝える。</li> </ul>
大切な心と体を守るための行動を考えよう	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動画 生命（いのち）の安全教育動画教材（高校）1・2を視聴する。</li> <li>● より良い人間関係、性暴力とは何かについて考える。</li> <li>● デート DV 事例についてそれぞれのセリフを考え、ワークシートに記入する。</li> <li>● ペアになり、Aさん Bさんのセリフを言ってみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性暴力の被害者がいる可能性を考慮し、授業に出たくない場合は、保健室、学校図書館に移動しても良いことを伝える。</li> <li>・ 教材スライドを使用して説明する。</li> <li>・ 自分の気持ちを大事にし、良い人間関係にするためのセリフを考えさせる。</li> <li>・ 2つのグループに分け、全員でそれぞれのセリフを交互に言ってみる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワークシートに授業の感想を記入する。</li> <li>● 被害者は悪くないことを確認する。</li> <li>● 相談先等を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 困ったことが起こったら、必ず話しやすい大人に必ず相談するように伝える。</li> <li>・ 相談先のプリントを全員に配布する。</li> </ul>

## 使用教材 ・準備物 /留意事項

- 文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材（高校用教材）（含：動画）」を基礎教材とする<sup>38</sup>。
- 授業の進め方の工夫  
動画視聴、ロールプレイによるトラブルに巻き込まれた時の対象方法を考えさせるが、他人事と思わず、自分や自分の大切な人のことだと思って取り組めるようにする。
- ワークを行う際のポイント  
先にワークシートに生徒が考えたセリフを記入させ、全員でそれぞれの役を交互に演じる等、発言しやすいようにする。

<sup>38</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 112～116 ページを参照のこと。

## D. 和歌山県立箕島高等学校（特別活動）

学年 高校 1 年生



\*授業の風景

# 大切な心と体を守るために

### 取組概要 と工夫

- 特別活動（ホームルーム活動等）で指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学年一斉
  - ・ 取組に関する指導者 : ティーム・ティーチング  
(保健主事、養護教諭、学級担任・副担任)  
(各クラスに授業内容を生配信し、担任、副担任がフォローする体制)  
外部講師  
(県教育委員会教育相談室専門員、県教育委員会指導主事併任の警察官)
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/ SNS の危険性/  
性暴力について/デート DV/JK ビジネス/セクシュアル  
ハラスメント/レイプドラッグ・酩酊に乗じた性暴力
- 性に関する指導の一環として、高校 1 年生を対象として I C T を活用した授業を実践。

### 題材の 目標

- 心と体には距離感があるという認識を身に付け、相手の気持ちを尊重した意思決定ができるようにする。
- 距離感が守られないときに取るべき行動を理解し、相談方法を身に付けることができるようにする。
- 性暴力の例、背景、現状のデータを理解し、デート DV、SNS で見えない相手とつながることの危険性、セクシュアルハラスメント、JK ビジネスについて考え、安全な意思決定ができるようにする。
- 二次被害の例や背景を理解し、被害者の気持ちを尊重して、二次被害が起きないための発言や行動ができるようにする。
- お互いの気持ちを尊重し、より良い（望ましい）人間関係を構築しようとする態度を養う。

### 題材に ついて

高校での性暴力は、人間関係が広がる中で、学校の先輩・同級生・後輩、交際相手、指導者等、身近な人から性暴力を受ける場合が多い。

被害が増える一方で、大人に相談するのが難しくなりやすく、一人で抱え込むことがある。性暴力が起こる背景についても学び、自分が被害に遭った場合に信頼できる大人に話す等対処の方法を身に付ける必要がある。

自分や相手、一人一人を尊重することにより、加害者、被害者、傍観者にならないための思考や態度を身に付ける必要がある。

## 高等学校学習指導要領

### 特別活動

#### 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

##### 〔ホームルーム活動〕

#### 2 内容

##### (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア 自他の個性の理解と尊重、より良い人間関係の形成

イ 男女相互の理解と協力

オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の確立

## 学習指導要領との関連

## 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	大切な心と体を守るために	<ul style="list-style-type: none"> <li>性暴力被害に関するデータや身近な事例等を用いて学習することで、性暴力の実態を知り、自分自身も被害者や関係者になり得ることを理解させる。</li> </ul>

## 授業の展開

ねらい	<p>より良い人間関係について理解する。                      性暴力の実態を知る。                      被害に遭ったときの対応を身に付ける。                      警察官から話を聞き、性被害と加害に対する理解を深める。</p>
-----	---

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>学習上の注意点</li> <li>授業のねらいや全体像を知る</li> <li>より良い人間関係について理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習中に不調を来して退出したい等の場合は教員に申し出て良いこと等を伝える。</li> <li>授業のねらいと授業内容を説明する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>性暴力の実態を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>良い人間関係とはどのようなものか問いかけ、生徒に考えさせる。</li> <li>距離感の種類を例示することで、目に見えない人との距離感の概念について伝える。</li> <li>距離感が守られていないときはどのようにすれば良いかを生徒に考えさせ、自他の距離感を守ることの大切さを理解させる。</li> <li>性暴力にはどのようなものがあるか、接触型暴力と非接触型暴力を例示する。</li> <li>自身も被害者や関係者になり得るという現状について、性暴力被害に関するデータを用いて伝える。</li> <li>事例は生徒の実態に応じて準備し、登場人物を同世代とすることで、性暴力が身近な問題であることに気付かせる。</li> <li>SNS やインターネット上に載せた画像や動画は、見た人が勝手に保存する等、あとで消すことが難しくなることを伝える。</li> <li>性暴力に性別は関係ないことを伝える。</li> <li>被害に遭うと心身に様々な傷を負うことを共有し、被害者が訴えにくい状況にあることを伝える。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 被害に遭ったときの対応を身に付ける</li> <li>● ワーク</li> <li>● 警察官から話を聞き、性被害と加害に対する理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性暴力により妊娠したり性感染症にかかったりする場合もあることを伝える。</li> <li>・ 非対等な人間関係が、性暴力につながる可能性があることを伝える。</li> <li>・ 加害者、被害者、傍観者にならないために、交際相手の写真を事例に、より良い人間関係を築くことで性暴力防止につながることを伝える。</li> <li>・ 二次被害の例や背景を伝える。</li> <li>・ 被害に遭ったら、どのように対応すれば良いかを伝える。</li> <li>・ 友人から相談された場合も、教職員、スクールカウンセラー、保護者など信頼できる人に相談することをすすめる。</li> <li>・ 補足資料のセクシュアルハラスメント、SNS の危険性、JK ビジネスの事例をもとに、登場人物の気持ちを考えさせ、被害に遭わない方法や加害者にならないようにするにはどうすれば良いかを考えさせる。</li> <li>・ 警察官から実際の性被害、加害の現状や事例などを聞かせ、知らないうちに巻き込まれる危険と知識や判断力を身につける必要性に気付かせる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談機関について補足説明する。</li> <li>・ 相手の気持ちを尊重すると、良い人間関係を築けることを再確認する。</li> </ul>

使用教材  
・準備物  
/留意事項

- 文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材」を基礎教材とする<sup>39</sup>。
- 内閣府「令和 2 年度男女間における暴力に関する調査」
- 内閣府「人と人とのより良い関係をつくるために交際相手とのすてきな関係をつくっていくには」
- 性暴力に関する SNS 相談「Cure Time（キュアタイム）」（内閣府）ホームページ
- 性暴力救援センターわかやま mine ホームページ
- パーソナルスペース  
THE HIDDEN DIMENSION.  
(Hall、Edward.T.著、日高敏隆・佐藤信行訳『かくれた次元』.)

<sup>39</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 117～125 ページを参照のこと。

## E. 鳥取県立岩美高等学校（特別活動）

学年 高校2年生



\*授業の風景

# 大切な心と体を守るために ～より良い人間関係について考えよう～

### 取組概要 と工夫

- 特別活動（ホームルーム）において指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学年一斉
  - ・ 取組に関する指導者 : ティーム・ティーチング  
(人権教育担当教諭・養護教諭がメインで指導し、  
学級担任が生徒のグループディスカッションを支援)
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/性暴力について/デートDV
- 傍観者でいること、無関心でいることが、性に関する被害者や性的マイノリティをいかに生きづらくしているのかということに目を向けて、生徒一人一人が自分のあり方を見つめるとともに、『自分の大切さとともに他者の大切さを認める』人権意識や、そのための適切な実践力を高める指導を実施。

### 題材の 目標

- 「自分の大切さとともに他者の大切さを認める」人権感覚の育成  
性犯罪や性暴力を自分事としてとらえ、「性の問題は人権に直結する」との理解を深める。
- 人権問題に対する適切な理解と認識を深め、差別を許さず、人権が尊重される社会づくりに貢献できる人間の育成  
大切な心と体を守るための「より良い人間関係づくり」について適切なあり方を実践する。

### 題材に ついて

地方都市在住のため、性犯罪や性暴力を身近に感じられにくい生徒が本校には一定数在籍している。あわせて、思春期真っただ中の高校生の性に関する興味関心をいっただけに刺激することを抑える配慮も必要となる題材である。

これらを踏まえ、段階的に生徒の意識づけを図るとともに、問題を自分事としてとらえられるような視点で発問したり、生徒が自分のことばで本音を語り合えるプロセスを重視したりすることをおして、性暴力・性犯罪の問題は誰にも関わる深刻な人権問題であることを理解させ、「（他者との）より良い関係づくり」に係る行動等について具体的に考察する。

### 学習指導 要領との 関連

#### 高等学校学習指導要領

特別活動編

第3章

第1節

2 ホームルーム活動の内容

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア 自他の個性の理解と尊重、より良い人間関係の形成

オ 生命の尊重と心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣の  
確立

## 指導計画

時	主な学習活動	主な学習内容及びねらい
1	講演会 (講師：野の花診療所 医師 徳永 進氏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「生きるということ」=「いのち」とどう向き合うかについて考える。</li> <li>自傷行為やSNSによる誹謗中傷、いじめ等の様々な問題がある中、他者を思いやることや自分を大切にすることはどういうことかについて考える。</li> </ul>
2 (本時)	導入指導 「大切な心と体を守るために」～ より良い人間関係について考 えよう～	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな行為が性暴力になるのかについて適切に理解する。</li> <li>デートDVの事例をもとに、性暴力や性犯罪が起きないようにするためにはどうすべきかについて考えることをとおして、自他の心と体を大切にしようとする態度を育てる。</li> </ul>
3	講演会 「より良い関係づくりのために」 (講師：ウイメンズセンター 大阪 代表 原田 薫氏)	<ul style="list-style-type: none"> <li>デートDV等に係る事実及びその背景等並びにより良い関係づくりを妨げている言動等について適切に理解し、自分のあり方を振り返る。</li> <li>適切な判断と行動が取れ、誰かのために動けることが重要であるとのマインドセットを喚起する。</li> </ul>
4	ピア・エデュケーション 「より良い交際」 (講師：鳥取大学医学部保 健学科学生サークル「ピアイ ンハート」に所属する学生、 大島麻美氏(助教))	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ピア・エデュケーション」の手法を用いて性に関する基礎的な知識を学ぶとともに、生徒・学生間のワークショップをとおして性の問題は生き方や人権に直結することを理解し、自身の行動について適切な判断ができるようになる。</li> </ul>
5	事後指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の学びを振り返り、自分のあり方・生き方について考えを深める。</li> </ul>

## 授業の展開

ねらい

デートDVに係る事例をもとに性暴力が起きないようにするためにはどうすべきかについて考えることをとおして、自他の心と体を主体的に大切にしようとする態度を育てる。

### 学習活動

◎指導上の留意点 ◇評価<sup>40</sup>

☆安全教育の視点に立った留意点

● 授業の目標及び学習内容の共有

- ☆成年年齢引き下げ等により、若者を取り巻く状況の変化から、性暴力や性犯罪に巻き込まれる危険性が高まっていることに触れる。
- ☆自分を含めて誰もが「自分の心と体を尊重される権利」をもっていることを確認する。
- ☆授業中に気分が悪くなったりする場合は教員に伝えた上で教室を退出しても良いことを伝える。
- ◎生徒の表情等を観察するとともに適宜見守る。

- 1年次「性に関する指導講演会」の振り返り
  - ・ 性行為には「3つの命」に対する責任が伴う。  
(自分の命、相手の命、生まれてくる命)
  - ・ 性の問題は、自分の人生、相手の人生、生ま

- ◎指導者・生徒間でのやり取りを重視する。
- ◎1年次講演会時の講師(助産師)が用いたことばを多用することで、生徒それぞれが考えたこと

<sup>40</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

<p>れてくる子供の人生に関わる大切なことだとの認識を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私たちは誰もが、自分の心と体を尊重される権利を持っていることについても確認する。</li> </ul> <p>● 授業の主題の提示</p>	<p>等を効果的に想起させるよう工夫する。</p>
<p>大切な心と体を守るために、大切にしたいことは何かについて考えよう</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 性暴力とは何かについて理解する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性暴力の一般的な定義を共有する。 →「自分の心と体を尊重される権利」を侵害するもの</li> <li>・ 生徒の状況や発達段階に応じた補助説明を行う。 (例) 性暴力とは「あなたが望まない性的な行為」のこと。 (例) 性別にかかわらず性暴力の被害に遭うことがある。</li> </ul> </li> <li>● 文部科学省「生命（いのち）の安全教育」動画教材を視聴する (冒頭～13分45秒まで)</li> <li>● 動画教材におけるポイントを確認する <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性暴力の実態</li> <li>・ 性暴力は身近なところで起こっている →接触型暴力、非接触型暴力等</li> <li>・ デートDVも性暴力である</li> </ul> </li> <li>● グループディスカッション <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大阪府茨木市発行「デートDV 予防啓発冊子」（一部）を活用したケーススタディを、生徒間グループディスカッション形式で行う。</li> <li>・ グループ別に異なるケースを取り扱う。（4事例）</li> <li>・ それぞれの事例において、何が問題になっているのか、そしてそのことについてどう思うのかについて、幅広く意見を交換する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶事例1 携帯メモリーを勝手に消す！？</li> <li>▶事例2 「死んでやる」って。え～！？</li> <li>▶事例3 無理やり？ちょっとまって！</li> <li>▶事例4 「俺の女」？どういうこと？</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● クラス全体で意見を共有し、デートDVの予防や問題解決のための視点等について考察する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディスカッションをとおして考えたこと等をメンターに個別入力する。</li> <li>・ 生徒が投稿した意見や考えをテーマ別に一覧表示し、クラス全体で共有する。</li> <li>・ 共感的アプローチでどの意見や考えも取り上げた上で、デートDVの根本的な問題を適切に認識するためにそれぞれの事例において確認すべきことを共有する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆体に触れる暴力だけが性暴力ではなく、性的な言葉や行動で人を傷つけることも性暴力であることにこの段階で言及する。</li> <li>☆悪いのは加害者であり、どんな理由があっても性暴力は許されないことであることを確認する。</li> <li>◎生徒が、ワークシートに自分の本当の思い等を記入できているかどうか等について巡視し、観察する。</li> <li>◎記入を戸惑ったりする生徒については、状況に応じて声をかける。</li> <li>◇どんな行為が性暴力になるのかを理解している。</li> <li>☆接触型暴力だけでなく非接触型暴力についても、その問題性を適切に理解させる。</li> <li>☆レイプカルチャーに通底する、性暴力に係る誤った認識等についても適切に理解させる。</li> <li>◎生徒にフラッシュバック等が発生していないかどうかについて丁寧に観察する。</li> <li>◎ディスカッション中、指導者は原則として生徒のやり取りを見守ったり、より活発な意見交換のためにヒントを出したりすることに徹する。</li> <li>◎生徒が自分の本音を語れる雰囲気づくりに努める。</li> <li>◇自分の本当の思いをことばにしている。</li> <li>◇自分とは異なる他者の意見や考え方を共感的に受け止めている。</li> <li>◇分からないこと等について質問したりしながら積極的に意見を交換している。</li> <li>◎生徒が自分の本当の思いをタブレット型端末に入力できるよう、時間を十分に確保する。</li> <li>☆〈事例1〉 友人との付き合いや連絡を監視するのはプライバシーの侵害となることを確認する。</li> <li>☆〈事例2〉 相手の行動を監視したり、おどして自分の言うことをきかせようとしたりするのも暴力であることを確認する。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 性暴力を起こさないようにするために、私（達）がどうするべきかについて考えを深める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の欲求のまま行動せず、相手の気持ちを尊重して接する。</li> <li>・ 自分らしさを忘れず、自分の意思を持つことが大切。</li> <li>・ 相手の人権を尊重する対等な関係性こそ「より良い人間関係づくり」の基軸。</li> <li>・ 困ったときは、信頼できる人や外部機関に相談できる。</li> </ul> </li> </ul>	<p>☆〈事例3〉 嫌がる行為を無理にすることは相手の人格を無視した暴力であり、恋人同士であっても、相手の気持ちが無視したセックスはレイプにあたり犯罪であることを確認する。</p> <p>☆〈事例4〉 どんな人でも暴力を受けていい人などいないこと、そしてどんな場合でも暴力をふるうことは許されないことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 適宜、生徒がディスカッションで指摘した事柄等を引用しながら、共感的に思考を深められる展開を心がける。</li> <li>◎ 今後の授業で繰り返し言及するフレーズを必ず用いる。</li> <li>☆ 相談センター等の情報や連絡先等については、視覚教材に明記して、どの生徒にも周知を図る。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Web アンケートツールを活用してアンケートを実施する。</li> <li>・ 自由記述部分にもコメントを記載することをとおして、自分のことばで授業を振り返る時間を確保する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 授業で感じたことや考えたことを整理し、自分のことばで振り返られるよう、時間を十分に取る。</li> <li>◎ 生徒がアンケートに回答している間は一切の指導や説明を控える。</li> <li>◇ 授業の学びを振り返りながら、自他の心と体を大切にしようとする心情が高まっている。</li> </ul>

**使用教材**  
・準備物

- 文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材（含：動画）」を基礎教材とする<sup>41</sup>。

<sup>41</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 126～128 ページを参照のこと。

## 5 特別支援学校（学級）

### A. 葛飾区立柴又小学校 特別支援学級（特別活動）

学年 1～6年



\*授業の風景

## 自分も友達も守ろう

### 取組概要 と工夫

- 特別活動（学級活動）で指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学級別（発達状況別臨時編成）
  - ・ 取組に関する指導者 : 学年担任、学級担任、養護教員、支援員によるチーム・ティーチング
  - ・ 取組における指導内容 : 自他の尊重/水着で隠れる部分
- 交通安全、生活安全等の定期的な安全教育に登場させるキャラクター「マモルンジャー」や、すごろく、タブレット PC などを用いてゲーム感覚の授業を実施。

### 題材の 目標

- 体の大切な部分に気付き、自分と相手の体を守るための行動ができるようにする。
- 自分の心や体が守られていないと感じたときの対処方法を考えることができるようにする。

### 題材に ついて

「見ない・見せない」「触らない・触らせない」というキーワードを基に、なぜ他人に気軽に触ったり触らせたりしてはいけないのかを考えさせる。  
体の大切さに気付かせ、様々な場面における自分の身の守り方を考え、日常的に自分と相手の体を守るための行動を意識させていく。

### 学習指導 要領との 関連

#### 小学校学習指導要領

##### 特別活動

##### 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

##### 〔学級活動〕

##### 2 内容

##### (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

##### ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。

## 指導計画

時	主な学習活動	◎指導上の留意点 ◇評価 <sup>42</sup> ☆安全教育の視点に立った留意点
1	体の大切な部分について知り、自分と相手の体を守るための行動について考える。	☆体の大切な部分や体を守るための行動について、分かりやすい言葉でまとめて理解を促す。 ◇「水着ゾーン」や「マモルンジャー」の言葉とハンドサインの意味を理解し、適切に活用している。
2	自分の身の守り方や、守られていないと感じたときの対処方法を考え、実践する。	◎日常生活の場面を取り上げて、具体的にイメージしながらロールプレイを行わせる。 ◇場面に合った自分の身の守り方を考えている。

## 授業の展開

### ■ 1 時間目の展開

ねらい	体の大切な部分に気付き、自分や相手の体を守るための行動について考えることができる。
-----	---

学習活動	◎指導上の留意点 ◇評価 <sup>43</sup> ☆安全教育の視点に立った留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● スライドショーを見て、体の大切にしないでいけない部分について知る               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プールに水着で入る理由や意味を考える。</li> <li>・ 体には見せてはいけない部分があることを知る。事前学習確認クイズに回答する。</li> </ul> </li> <li>● 授業のめあてを知る</li> </ul>	◎冒頭に、大切な学習であることをおさえる。 ◎スライドショーを用いて、児童の興味関心を引く。 ☆学校場面や生活場面を取り上げて、日頃から体を見せたり触ったりする場面があることに気付かせる。 ☆「水着ゾーン」という言葉を使い、体の大切な部分をおさえる。 ◇体の大切な部分（水着ゾーン）の意味と場所を理解している。
<p>じぶんとみんなのからだをまもるほうほうをしよう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● クイズを通して、自分と相手の体を守るための行動について考える               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 着替えるときに、水着ゾーンを見せないようにする。</li> <li>・ 相手が着替えているときは、見ない。</li> <li>・ 相手が嫌がる場所（水着ゾーン）は、触らない。</li> <li>・ 自分の水着ゾーンは、触らせない。</li> </ul> </li> <li>● 場面に合わせて、体を守るためにどのように行動したら良いのかを考える               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「マモルンジャーすごろく」</li> </ul> </li> </ul>	◎ストーリー仕立てのクイズにして、場面に応じてどのように行動すれば良かったかを考えさせる。 ◎マモルンジャーのイラストから、場面に合わせた望ましい行動を考えられるようにする。 ☆水着ゾーンは守らなくてはいけない部分であることを繰り返し確認する。 ☆ハンドサインを使って、体を守るための具体的な行動の仕方を考えさせる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 性暴力の被害者にも加害者にもならない、より良い関係づくりについて、自分の言葉でまとめる</li> </ul>	◎グループに分かれることで、自分の考えを周囲に伝えられるようにする。 ☆生活場面が描かれたイラストを見せ、場面に合った行動の仕方（マモルンジャー）を選択させる。 ☆ハンドサインを繰り返し使わせて、生活の中でも使えるようにしていく。 ・ 事前学習と授業の学習を手がかりに、さまざまな視点から考えさせる。

<sup>42</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

<sup>43</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

■ 2 時間目の展開

ねらい 嫌な触られ方をしたときや、自分の心と体が守られていないと感じたとき取るべき行動を理解し、相談できる相手を考えられる。

学習活動	◎指導上の留意点 ◇評価 <sup>44</sup>  ☆安全教育の視点に立った留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前時の復習をする           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水着で隠れる場所（プライベートゾーン）は「見ない」「見せない」「触らない」「触らせない」。(ジェスチャー)</li> <li>・ 人によって嫌に思う距離感が違う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ イラストなどを見せて思い出させる。</li> <li>◇ キーワードを言いながらジェスチャーで表現している。</li> </ul>
<p>自分の心と体を守るためにどうしたら良いか考えよう。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 良いタッチ悪いタッチのカードを分けよう           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレットを使って相手や場面の違うタッチを自分の感覚で二つに分ける。</li> <li>・ どのように分けたかを大型提示装置に示されたものを共有する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 場面の理解ができない児童には具体的な動作を行う。</li> <li>◇ タブレットで、良いタッチ、悪いタッチを自分で分けている。</li> <li>◇ 嫌なタッチは人によって違うこともあるが、人が嫌がることはしないことを共有している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 嫌なタッチをされそうになったりされたりしたときどうしたらいいか考える           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例題をみんなで考える。</li> <li>・ ワークシートに記入する。</li> <li>・ 一人で考えられないと訴え、ヒントカードをもらう。</li> <li>・ 映像を見てロールプレイで演じる。</li> <li>・ 声を出したり逃げたりする。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 声を出したり逃げたり相談したりすることを確認する。</li> <li>◎ 選択肢を用意して話し合う。</li> <li>◎ 自力解決ができない児童にはヒントカードを渡す。</li> <li>◇ ロールプレイをしたり友達の演技に反応したりする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● まとめをする           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分を守るためにどうするかをワークシートに記入する。</li> <li>・ 相談できる人を考える。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 自力解決できない児童には選択肢を描いたヒントカードをわたす。</li> <li>☆ 性被害に合わないことを意識させる。</li> <li>◎ 実際の事件を紹介し身近なこととして考えられるようにする。</li> <li>◎ 被害に合った人は決して悪くないことを知らせる。</li> <li>◇ 拒否の気持ちを表現したり、相談相手を考えたりできる。</li> </ul>

<sup>44</sup> 実践校による独自視点での評価指標。

使用教材  
・準備物  
/留意事項

- 文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材」を基礎教材とする<sup>45</sup>
- マモンジャーすごろく、タブレット PC、イラストやスライドショー、クイズやロールプレイなどを用いることで、視覚的にも体の大切さや自分や相手の身体を守るための行動に気付けるようにする。
- 学習の要点をわかりやすい言葉でまとめ、キーワードやハンドサインを繰り返し練習することで、生活の中で意識できるようにする。



\*マモンジャー



\*トラブルカード

マモンジャーすごろく



\*マモンジャーすごろく

<sup>45</sup> 使用教材については資料編別冊 129～131 ページを参照のこと。

## B. 東京学芸大学附属特別支援学校 中学部 （特別活動）

学年 中学部 2 年生



\*授業の風景

# 変な人についていかない

### 取組概要 と工夫

- 東京学芸大学附属特別支援学校が独自に創設している教科「くらし」の中で指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学年一斉  
(学年全体で6名。対象生徒は知的障害の軽度から重度)
  - ・ 取組に関する指導者 : ティーム・ティーチング  
(養護教諭(T1)、学級担任・専任教諭(当該学級付の教員)(T2およびT3))
  - ・ 取組における指導内容 :  
「小学校高学年用教材」を中心に実施(特に「自他の尊重」  
「水着で隠れる部分」の内容に「自己防衛スキル」を追加)
- 生徒一人ひとりの発達段階や障害の程度・状態に合わせ「生命(いのち)の安全教育教材」から必要な内容を精選した上で実施。

### 題材の 目標

- 変な人に声をかけられた時の対処方法がわかる。
- 模擬場面で変な人に声をかけられた時に取るべき行動を練習する。
- 自分や友だちの心と体を守るルールを理解し、生活に活かそうとする。

### 題材に ついて

本校の教科「くらし」は、家庭や地域で暮らすために必要な基礎的な知識や技能、態度を形成するとともに、将来の生活を主体的に切り開いていこうとする実践的な態度を育てることを目標としている。本校は、通学時に電車等の公共交通機関を利用している生徒が多いため、中学部での取組では、模擬場面(ロールプレイ)は本校から最寄りの駅までの経路と設定し、生徒が日常生活の場面に結び付けながら理解できるようにした。

### 学習指導 要領との 関連

#### 特別支援学校中学部学習指導要領

##### 特別活動

中学部の特別活動の目標、各活動・学校行事の目標及び内容並びに指導計画の作成と内容の取扱いについては、中学校学習指導要領第5章に示すものに準ずる。

##### 中学校学習指導要領

##### 特別活動

##### 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

##### 〔学級活動〕

##### 2 内容

##### (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

##### ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応

##### 自立活動

##### 第2 内容

##### 3 人間関係の形成

##### 6 コミュニケーション

## 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	中学生らしいマナーを知り、友だちと適切な関わり方をしようという気持ちをもつ。	◎予め撮影しておいた教員が行う適切な関わり方のモデル／不適切な関わり方のモデルを教材で使用し、「すてきな中学生」「カッコいい中学生」等をキーワードに生徒が適否を考えて意見が出せるようにする。
2 (本時)	模擬場面（ロールプレイ）で変な人に声をかけられた時取るべき行動を練習する。	◎ロールプレイは、日常生活の場面に結び付けて理解できるように、下校時と設定する。

## 授業の展開

ねらい

変な人に声をかけられた時の対処方法がわかる。  
 模擬場面で変な人に声をかけられた時取るべき行動を練習する。  
 自分や友だちの心と体を守るルールを理解し、生活に活かそうとする。

### 学習活動

- 始まりの挨拶をする。
- 「自分だけの大切なところ（水着で隠れる部分等）」や「自分の体も相手の体も大切であること」について、絵を見る。

### 指導上の留意点

- ◎文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材（小学校（高学年））」パワーポイント教材の中から、以下を抜粋し絵カードにして提示する。



- どんな人が変な人かを発表する。
- 変な人から身を守るために、大切なことを板書カードで確認する。
  - ①大きな声で「いや」と言う
  - ②逃げる
  - ③家の人に報告をする
- 模擬場面（ロールプレイ）で適切な対処方法を練習する。

- ◎上記、文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材（小学校（高学年））」パワーポイント教材の絵を手掛かりに、生徒の発言を促す。
- ◎T1 は、変な人は単に見た目が怖い人だけではなく、違和感のない人や親切な人の中にも気をつける人がいることを伝える。
- ◎授業の学習での「変な人」の定義として、「体の大切な部分を勝手に触ってくる人」であることを、絵カードで提示する。
- ◎①②③の自己防衛スキルを、キーワードとして板書カードで提示し、繰り返し生徒がカードを操作しながら確認する機会をつくる。
- ◎ロールプレイは「下校途中に『駅どこ？車に乗って教えて』と声をかけられ体を勝手に触られそうになる」場面とする。
- ◎生徒が学校→駅→自宅のイメージが持てるように、室内に駅を模した絵等の掲示物で示す。
- ◎T2 は変な人役、T3 は自宅にいる母親役を演じ

<ul style="list-style-type: none"> <li>● ロールプレイを見ている生徒は、対処方法の適否を考えて意見を出す。</li> </ul>	<p>る。特に T3 は、自宅で生徒を待つ際「どうしたの？」等の積極的な声掛けはせず、生徒の発言や反応を待って訊く内容や表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ロールプレイは比較的言語でのやりとりが活発な生徒や物怖じしなさそうな生徒から指名する（ロールプレイは、授業で生徒全員が初めて体験したため、生徒が行う前に T3 が生徒役を演じ学校→駅までの場面のみモデルを提示した：写真参照）。</li> <li>◎参加をためらったり、構え過ぎて参加が難しい生徒がみられる場合、T1 は生徒の様子を受け止め、実態に応じて、T1 と一緒に参加したり、友達と一緒に参加したりする機会を確保する。</li> <li>◎開始前、T1 は見ている生徒に、演じている友達の対処方法の適否を考えて、適切に行動している場合は「緑カード」、不十分な場合は「黄色カード」で意見を出すように伝える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワークシートにロールプレイの自己評価をする。</li> <li>● 教員の評価を聞く。</li> <li>● 大切な 3 つの自己防衛スキルを改めて確認する。</li> <li>● 終わりの挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自己評価と教員の評価が異なる場合は、生徒本人が具体的に何を改善すべきか丁寧に伝える。</li> <li>◎自分から声が出せなかったり、逃げるのが難しかったりする場合は、近くの店舗に入ったり、他の人に助けを求めたり、防犯ブザーを鳴らしたりする等の対処方法もあることに気付かせる。</li> </ul>

**使用教材  
・準備物**

- 文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材（小学校高学年用教材）」を基礎教材とする<sup>46</sup>。
- 絵カード（文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材（小学校（高学年））」パワーポイント教材から抜粋し印刷したもの）、自己防衛スキルの板書カード、場面用掲示物（教室内の壁や衝立に貼付して使用するもの）、ロールプレイ時の評価カード（「緑カード」「黄色カード」（それぞれ生徒数分：生徒が手持ちで操作するもの））、マグネット、ワークシート

<sup>46</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 132～133 ページを参照のこと。

## C. 山口県立萩総合支援学校 中学部 (特別活動)

学年 中等部



\*授業の風景

# 生命（いのち）安全教育 ～大切なところとからだ～

### 取組概要 と工夫

- 特別活動を中心に指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学年縦割りの習熟度別  
(学部の中で、発達段階が近いもの同士で学年をまたいでグループを編成して指導)
  - ・ 取組に関する指導者 : ティーム・ティーチング  
(学級担任、副担任、体育科教員、養護教諭)  
※生徒の実態等によって組合せて配置
  - ・ 取組における指導内容 : 「生命（いのち）の安全教育教材（小学校高学年用）」を中心に指導。  
ただし、生徒の障害の状態や障害特性等を踏まえ、「小学校・中学校用」の資料内容を少しずつ取り込み活用。

### 題材の 目標

- 生徒が現在の生活を振り返り、安全な生活づくりにつなげるきっかけを作る。
- 現在及び将来の生活における社会生活上のルールを知り、社会性の向上を図る。

### 題材に ついて

これまで使用している「性に関する指導チェックリスト」と生命（いのち）の安全教育に関する指導要領の記述との整合性を確認しながら計画を作成。  
発達段階により、同一学年での学習グループでの授業実施が難しく、抽出集団や意図的なグループを編成して指導。

### 学習指導 要領との 関連

#### 特別支援学校中学部学習指導要領

##### 特別活動

中学部の特別活動の目標、各活動・学校行事の目標及び内容並びに指導計画の作成と内容の取扱いについては、中学校学習指導要領第5章に示すものに準ずる。

##### 中学校学習指導要領

##### 特別活動

##### 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

##### 〔学級活動〕

##### 2 内容

- (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
ウ 思春期の不安や悩みの解決、性的な発達への対応

### 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ころの変化</li> <li>・ からだところをまもる</li> <li>・ 性暴力について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ からだの成長に伴ってころも成長し、いろいろな感情が芽生えることを理解させる。</li> <li>・ からだの距離感ところの距離感の違いを理解させる。</li> <li>・ 性暴力の被害者は悪ではなく、加害者が悪いことを理解させ、困っていることを相談することは恥ずかしいことではないという意識を高める。</li> </ul>

## 授業の展開<sup>47</sup>

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ころの変化</li> <li>・ からだところをまもる</li> <li>・ 性暴力について</li> </ul>
-----	--

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業のタイトルの確認を通して、学習する内容について大枠をとらえる。</li> <li>● 「授業の約束」を確認</li> <li>● 前時の確認</li> <li>● 授業の内容、前時とのつながりの確認</li> <li>● 目標の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人の情報に関わる内容のワークシートがあるため、約束して授業を開始する。</li> <li>・ 男女別グループで行った前時の内容について、生徒数名に確認させることで、全体で前時を振り返らせる。</li> </ul>
<p>「1 ころの変化」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「悩み」の有無について考える。</li> <li>● 「好きな人」について考える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ワークシートに当てはまる言葉を想像して記入する。</li> </ul> <p>「2 からだところをまもる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分と相手を守るものについて、当てはまる言葉を想像しワークシートに記入する。→「距離」</li> </ul> <p>① からだの距離</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 距離の種類「近い」「腕一本分」「遠い」について知る（確認する）</li> <li>● 隣の生徒と3種類行ってみる。</li> <li>● 日ごろ接する人について、3種類の体の距離について、ワークシートに記入する。</li> </ul> <p>② ころの距離</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 状況について教員と一緒に考える。（好きなもの同士、女子が嫌がっている）</li> <li>● 相手がいつも自分と同じ気持ちとは限らないこ</li> </ul>	<p>（支援）ワークシートに選択肢を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無理のない範囲で記入させる。</li> <li>・ 対象がいけない場合は「気になる人、仲の良い人」も可とする。</li> <li>・ 「悩みが増えること」「気になる人への関心の高まり」は自然なことであることを伝える。</li> <li>・ 前回の「体」、今回の「心」の変化（感情が複雑になっている）は子供から大人になっている証（あかし）であることを伝える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 距離には、2種類（「体の距離」「心の距離」）あることを伝える。</li> <li>・ 人によって違うこと、近寄られることが嫌だと思う人もいることを伝える。</li> </ul> <p>（支援）教員でロールプレイを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答えを例として示す。</li> <li>・ 人によって異なる場合もあること、前頁の近寄られることを嫌がる人もいることを再確認。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心の距離について、ワークシート「好きな人」も活用する。</li> <li>・ 相手と自分がいつも同じ気持ちとはかぎらな</li> </ul>

<sup>47</sup> 全体計画については14～16ページを参照のこと。

<p>と、相手の気持ちを尊重する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 心にも距離があることを知る。</li> <li>● 「いやだ」と感じたら「いやだ」と言って良いこと。</li> <li>● 相手の「いや」を受け入れること。</li> <li>● 隣の人とロールプレイを行う。</li> </ul> <p>休憩（5分程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スライドにある具体例を通して、性暴力についてイメージをもつ。</li> <li>● 「体に触る」「体に触らない」2種類の性暴力があることを知る。</li> <li>● 状況について、教員と一緒に考える。</li> <li>● 前頁の「体に触る性暴力」「体に触らない性暴力」のどちらに当てはまるか考える。</li> <li>● 画像等を「送ること」、「送らせること」の両方ともやってはいけないことと認識する。</li> <li>● インターネット（SNS 含む）へのルールについて知る。</li> <li>● 困ったときの対応方法を知る。</li> <li>● 性暴力についてのまとめ</li> <li>● 被害にあっても自分をせめないこと。</li> <li>● 事例について考える。</li> <li>● 失敗の原因について考え、ワークシートに記入する。</li> <li>● その理由について考える。</li> <li>● その理由について知る。</li> <li>● インターネット上にのせることが望ましくないものについて考える。</li> </ul>	<p>いこと、心にも距離があることを伝える。</p> <p>（支援）教員でロールプレイを行う。</p> <p>（支援）再開後の内容について、簡単に説明しておく（SNS、性暴力）。</p> <p>（支援）タブレットに休憩時間のめやすを提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スライドから状況と一緒に考え、良くないことであることを伝える。</li> <li>・ 男女関係なく起こる場合があることを伝える。</li> </ul> <p>（支援）相談相手について生徒数名に具体的に回答させ、対応方法について全体で確認させる。</p> <p>（支援）SNS については、細かな説明は避け、ここでは大まかにインターネットへ情報を書き込んでしまうことととらえさせる。</p> <p>（支援）読み上げながら、必要に応じて説明を加える。</p> <p>（支援）考えがまとまらず記入できない場合、スライドの回答例を記入することで可とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「友だちとの写真」については、その人を含め、嫌がる人がいる場合もあることを伝える。</li> <li>・ その他についても「個人情報流失」する場合があることに触れる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワークシートの空欄に記入する。</li> <li>● 性被害にあったときの事柄について再確認（被害にあっても自分を責めないこと、助けを求めること）をする。</li> <li>● 相談先について、再確認する。</li> <li>● 人との付き合い方には距離があること。</li> <li>● いやな時は「いや」と言うこと。また言われたときは受け入れること。</li> <li>● SNS 等インターネットには、個人情報をのせないこと、送らせないこと。</li> <li>● 印象に残ったことを書き記す。</li> </ul>	<p>（支援）考えがまとまらず記入できない場合、スライドの回答例を記入することで可とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ もし現在困っている人がいたら、相談できるように配慮する。</li> </ul> <p>（支援）ワークシートの1枚目に配置し、今後ワークシートを見て、活動内容について思い出しやすいようにする。</p> <p>（支援）書き記すことが難しい生徒は、下のイラストに○を付けたり、絵にしたりしても良い。</p>

**使用教材**  
**・準備物**

- 文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材(小学校高学年用)」を本校生

## /留意事項

徒用に以下のように改変したものを使用<sup>48</sup>。

- ・ 主となるテーマの理解につなげるため、生徒の実態等を踏まえて理解しやすいようにスライドを追加。
  - ・ 具体的にイメージしやすいイラストや文字、ふりがなの追加。
  - ・ 理解しやすいように内容を調整するため、1枚のスライドの内容を複数枚に分割。
- 準備物
    - ・ スライド用教員 PC（またはタブレット）
    - ・ モニター
    - ・ 【生徒】「性に関する学習」ファイル

<sup>48</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 134～139 ページを参照のこと。

## D. 東京学芸大学附属特別支援学校 高等部 （特別活動）

学年 高等部 2～3 年生



\*授業の風景

# 良い人間関係とは ～あなたとワタシのちょうど良い “距離感”～

### 取組概要 と工夫

- 東京学芸大学附属特別支援学校が独自に創設している教科「くらし」の中で指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 任意の集団  
(高2、高3の生徒の中から、生徒の学習特性や発達段階等に応じてグルーピング。対象生徒は知的障害の軽度。)
  - ・ 取組に関する指導者 : 教科「くらし」担当教諭 1 名 (T1)
  - ・ 取組における指導内容 :  
「中学生用教材」を中心に実践 (「SNS の危険性」「性暴力について」「デートDV」の内容に加え、避難訓練や不審者対応訓練で既習した学習内容の確認、「距離感」を学ぶ体験的な活動を実施)
- 生徒一人ひとりの発達段階や障害の程度・状態に合わせ文部科学省「生命 (いのち) の安全教育教材」から必要な内容を精選した上で実施。

### 題材の 目標

- 性暴力や心と体を尊重することについて理解する。
- より良い人間関係について、自ら考えたり表現したりする。
- より良い生活の実現に向けて、今後の生活に生かす。

### 題材に ついて

本校の教科「くらし」は、家庭や地域で暮らすために必要な基礎的な知識や技能、態度を形成するとともに、将来の生活を主体的に切り開いていこうとする実践的な態度を育てることを目標としている。本校は、通学時に電車等の公共交通機関を利用している生徒が多いため、高等部での取組では、「距離感」を学ぶ体験的な活動の際に電車内での座席等を取り上げ、生徒が日常生活の場面に結び付けながら理解できるようにした。

### 学習指導 要領との 関連

#### 特別支援学校高等部学習指導要領

##### 特別活動

特別活動の目標、各活動・学校行事の目標及び内容並びに指導計画の作成と内容の取扱いについては、高等学校学習指導要領第5章に示すものに準ずる。

##### 高等学校学習指導要領

##### 特別活動

##### 第2 各活動・学校行事の目標及び内容

##### 〔ホームルーム活動〕

##### (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

##### 自立活動

##### 第2款 内容

##### 3 人間関係の形成

##### 6 コミュニケーション

## 指導計画

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	性暴力、デートDVについて知る。	◎「生命（いのち）の安全教育教材（中学生用教材）」を基本とし、デートDV 予防啓発動画も活用しながら、生徒が被害加害を正しく認識できるようにする。
2 (本時)	距離感についての実験を通し、人それぞれの距離感が異なることについて理解する。	◎生徒が具体的に距離感をイメージできるよう、体験的な学習は日常生活の場面に結び付けて理解できるようにする。

## 授業の展開

ねらい

性暴力や心と体を尊重することについて理解する。  
より良い人間関係について、自ら考えたり表現したりする。  
より良い生活の実現に向けて、今後の生活に生かす。

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業開始の挨拶をする。</li> <li>● 生徒同士で、授業に適した座席位置に机を直す。</li> </ul>	<p>【授業開始前】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 不要な机を廊下に出し、教室のセッティングをする。</li> <li>◎ 通路が使えるように、窓側に揃えておくようにする。</li> <li>◎ T1 が配置図①にセッティングをする。</li> <li>◎ 開始時は、配置図①のように生徒同士の間隔を広くとり普段と違う様子に気づけるようにする。その後、配置図②のような場所に T1 がセッティング後、生徒同士で授業を行うに適した座席位置を決めるように伝える。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【配置図①】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【配置図②】</p> </div> </div>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本日の学習内容について聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 生徒の反応に合わせて、授業の内容について前時に扱った内容を踏まえながら提示する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 安全教育（避難訓練、不審者対応訓練、交通安全）についてポイントを確認する。</li> <li>● 性的な暴力や被害に遭ったときの対応について説明を聞いたり、確認したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「安全教育」という言葉とスライドを使いながら、これまでの学習で取り組んできた避難訓練、不審者対応訓練についてフレーズ、イラストと共に提示する。</li> <li>◎性暴力について、前時に扱った「デートDV」を取り上げ、SNSの被害や被害に遭った際の対応について生徒に発問をしながら確認できるようにする。</li> <li>◎スライド教材を使用しながら、それぞれのポイントについて確認を行うが、一方的な提示にならないようにする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 距離感という言葉の意味や身近な例について気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎公共交通機関で通学を行っている生徒が多いことから、電車の座席を取り上げる。</li> <li>◎実際に教室の端にパイプ椅子を準備し、「自分だったら」を想定して座る場所について問う。また、その理</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 距離感についての実験を通して、人それぞれの距離感が異なることに理解する。</li> <li>● 距離感が守られていないと感じたときの対処法について考える。</li> </ul>	<p>由についても確認できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 教室の前方に 3 m のラインを引く。</li> <li>◎ 実験は、止まったままの人と近づく人、二人の間隔を詰めていき、止まったままの人が不快に感じた時点の距離を測定する。①目が合わない状態と②目を合わせた状態の 2 パターンで行う。</li> <li>◎ 残りの生徒はメジャーで距離を測る。</li> <li>◎ T1 はスライドに記録を入力する。</li> <li>◎ 測定終了後、感想やなぜ違ったかについて意見を聞く。写真やポイントのスライドを提示し、なぜ違ったのかについて生徒の意見を織り交ぜながら確認をする。また、日常生活でも転用できることも知る。</li> <li>◎ スライドを提示しながら、距離感を守ることにについて、嫌だなと感じたときにどうすれば良いかについて生徒に質問をしながら確認する。</li> <li>◎ 授業では、SNS について触れられていないが、SNS 上のやりとりも同様の距離感が大切であることを説明する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業の活動を振り返り、ワークシートに記入する。</li> <li>● ワークシートの内容を発表する。</li> <li>● 授業終了の挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 机を定位置に戻すように伝える。</li> <li>◎ ワークシートの記入について机間指導をしながら、より具体的に記入できるように支援する。</li> <li>◎ T1 の話に加え、生徒からの感想や今後に生かしていきたいことを聞く。</li> </ul>

## 使用教材 ・準備物

- スライド教材は、文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材（中学生用教材）」を基礎教材とし、これまでの学習で取り組んできた避難訓練や不審者対応訓練についてのフレーズ・イラストや距離感についての実験に関連する電車内の画像等を前後に追加<sup>49</sup>。
- パソコン、HDMI ケーブル、テレビ、スライド、パイプ椅子（生徒数分）、メジャー、ワークシート

<sup>49</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 140～144 ページを参照のこと。

## E. 山口県立萩総合支援学校 高等部 (保健体育)

学年 高等部



\*授業の風景

# 生命 (いのち) 安全教育 ～より良い人間関係をめざして～

### 取組概要 と工夫

- 保健体育科 (保健分野) を中心に指導。
  - ・ 取組に関する指導形態 : 学年一斉
  - ・ 取組に関する指導者 : ティーム・ティーチング  
(体育科教員、学級担任、副担任、養護教諭)
  - ・ 取組における指導内容 : 「生命 (いのち) の安全教育教材 (中学生用)」を中心に指導。ただし、生徒の障害の状況や障害特性等を踏まえ、「小学校・中学校・高等学校用」のそれぞれの資料の内容を少しずつ取り込み活用。

### 題材の 目標

- 自分と相手を大切に思い、より良い人間関係を構築するための距離感を知る。
- 性暴力の内容を知ること、被害者及び加害者にならないための意識を高める。
- 自分や友達が性暴力の被害者になった時の対処方法を知る。

### 題材に ついて

これまで使用している「性に関する指導チェックリスト」と生命 (いのち) の安全教育に関する指導要領の記述との整合性を確認しながら計画を作成。  
発達段階により、同一学年での学習グループでの授業実施が難しく、抽出集団や意図的なグループを編成して指導。

### 学習指導 要領との 関連

#### 特別支援学校高等部学習指導要領

##### 第2章各教科

##### 第2節 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校

##### 第1款 各学科に共通する各教科の目標及び内容

##### 〔保健体育〕

##### 2 各段階の目標及び内容

##### I 保健

健康・安全に関する事項について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けること。

イ 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えること。

時	主な学習活動	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>より良い人間関係を構築するための距離感</li> <li>被害者及び加害者にならないための意識を高める</li> <li>自分や友達が性暴力の被害者になった時の対処方法を知る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「距離感」は個人で違うことを認識させ、距離感を守ることが性暴力の被害者加害者にならないために大切な事と理解させる。</li> <li>例示をしながら性暴力の被害は多岐にわたることを理解させる。</li> <li>相手のことを考えたつきあい方が大切と理解させる。</li> <li>被害に遭ったときの対処法を例示しながら、自分事として考えさせる。</li> <li>ワークシートやスライドを用いて、理解できるように支援する。</li> </ul>

## 授業の展開

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>より良い人間関係を構築するための距離感</li> <li>被害者及び加害者にならないための意識を高める</li> <li>自分や友達が性暴力の被害者になった時の対処方法を知る</li> </ul>
-----	---

学習活動	指導上の留意点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業の学習内容を確認する。</li> <li>● 「より良い人間関係」について考え、ワークシートに記入し、発表する。</li> <li>● 自分と相手の関係について、ワークシートの空欄に記入する。</li> <li>● 適切な「距離感」が自分と相手をまもることを確認し、ワークシートの空欄に記入する。</li> <li>● 暴力について考える。</li> <li>● 「性暴力」について学習する。</li> <li>● 性暴力がどうして起こるのかを確認し、ワークシートの空欄に記入する。</li> <li>● 「かんがえてみよう」を読み、登場人物それぞれの立場からどのようにすれば良い人間関係をつくることのできるのかをワークシートに記入する。</li> <li>● 「性暴力が起きないようにするためには」、「性暴力の被害にあったら」について学習し、被害にあった時の対処について、ワークシートの空欄に記入する。</li> <li>● 「かんがえてみよう」を読み、登場人物それぞれの立場からどのようにすれば良い人間関係をつくることのできるのかをワークシートに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業の内容が、自分の生活とかげ離れているものではないことを説明する。</li> <li>● 正解・不正解があるものではないことを確認し、自分が思いついたことを記入させる。</li> <li>● 「良い人間関係ってどういうものか、かんがえてみよう」の内容を確認し記入させる。</li> <li>● 「距離感（きよりかん）がまもられないときは？」の内容を確認し記入させる。</li> <li>● ワークシートに暴力と聞いてイメージされる具体的内容を記述させる。提示内容は物理的暴力のみ記載されるが、「言葉の暴力」もあることを説明する。</li> <li>● 授業の重要なポイントの一つなので、しっかりと考えさせ、記入させる。</li> <li>● 補足説明をするとともに、机間巡視を行い、生徒がワークシートに自分の考えを記入しやすくする。</li> <li>● ワークシート記入させ、再度印象に残るよう、まとめとして説明する。</li> <li>● 補足説明をするとともに、机間巡視を行い、生徒がワークシートに自分の考えを記入しやすくする。</li> </ul>

<sup>50</sup> 全体計画については17～22ページを参照のこと。

使用教材  
・準備物  
/留意事項

- 文部科学省「生命（いのち）の安全教育教材(中学校用)」を本校生徒用に以下のように改変したものを使用<sup>51</sup>。
  - ・ 各ページの内容を複数ページに分割したり、各項目をアニメーションで少しずつ加えたりしながら、イメージをつかみやすく理解しやすいように、また視覚的に印象に残りやすいように変更。

---

<sup>51</sup> 使用スライド教材については資料編別冊 145～150 ページを参照のこと。

## IV 資料編

### 資料1 事例集作成に係る検討会における意見

事例集作成に係る検討会での議論やヒアリング調査の中で、委員から出された意見をまとめました。  
各学校等における「生命（いのち）の安全教育」の推進に当たり、参考にしていただけると幸いです。

#### ■ 「生命（いのち）の安全教育」について

本事例集冒頭の「「生命（いのち）の安全教育」概要」においても紹介しておりますが、「生命（いのち）の安全教育」は、「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」（令和2年6月 性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議決定）を踏まえ、「生命（いのち）を大切にする」「加害者にならない」「被害者にならない」「傍観者にならない」ための教育です。具体的には、生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切にする考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を、発達段階に応じて身に付けることを目指す教育です。

本教育は、児童生徒の発達の段階や学校の状況を踏まえ、各学校の判断により、様々な教科等と連携させながら推進していただくことが期待されるものです。上記のような観点について、あらためて御認識の上、指導を進めていただきますようお願いいたします。

#### ■ 文部科学省「生命（いのち）の安全教育」教材の活用にあたって

現在、文部科学省において提供している「生命（いのち）の安全教育」教材は児童生徒の発達の段階や学校の状況を踏まえ、各学校の判断により、教育課程内外の様々な活動を通じて活用することが可能です。

このため、児童生徒の理解を深めるため、あるいは誤解を与えないように、必要に応じて加除・改変しながら指導していただくことが可能です。

一方、「生命（いのち）の安全教育」教材は、限られた一定の授業時間内ですべてを活用いただくことが難しい場合、関連する教科等の中や、集団指導に限らず日々の個別指導の時間等も有効に活用していただきながら、生命（いのち）の安全教育を指導していただくことも考えられますが、各教科等の目標や内容等を踏まえた上で、適切に使用するよう御留意ください。

児童生徒のそれぞれの発達の状況を踏まえつつ、考え、判断、行動ができる力を培うことが重要であり、知識伝授に偏らない指導を期待します。

また、幼児期や小学校低学年などの人格形成期の大変重要な時期においては、「安全」という言葉に「安心」という言葉を加えて、「心地良いこと」と「そうではないこと」、「良いこと」と「悪いこと」といった対比を指し示すことも一例です。

#### ■ 性被害の実態を踏まえた生命（いのち）の安全教育の推進に向けて

資料2「性犯罪・性暴力被害に関する実態データ」でも示されているように、年齢に関わらず身近なところで性被害が起こっていること、また性別にかかわらず被害に遭っていること等を十分に認識していただきつつ、学校、地域の実情や、発達段階を踏まえた指導をしていただくことを期待します。

#### ■ 性被害経験者等への十全な配慮・対応に向けて

##### ● 性被害に遭った児童生徒、性被害に対して不安を感じる児童生徒への配慮・対応について

「生命（いのち）の安全教育」指導の手引き（小学校高学年）では、「④題材について（「性暴力」というテーマを取り扱う上での配慮・留意事項）」において、生命（いのち）の安全教育推進上の配慮・留意事項として、「性暴力被害に遭ったもしくは遭っている児童がいる可能性を十分に考慮し、気分が悪くなった場合は授業中にいつでも退席してもよいことを伝えるとともに、配慮が必要と思われる児童がいれば授業中の様子を特に注意深く見守る。可能であれば、養護教諭が授業に立ち会い、児童の様子を見て適宜フォローする。」と明記しており、他の各段階の指導の手引きにおいても同様の記載があります。

子供たちの中には、性被害に遭っている子供、不安に感じている子供がいる場合を想定して、必要に応じ、保護者に対して予め周知を行い、授業に参加するかどうかを確認するなど、事前に対応策を検討していただくことも大切です。

また、退席を申し出ることができずに体調を崩してしまった児童生徒の事例もあり、指導者とは別に児童生徒の様子を見てフォローする教員を配置することも考えられます。

一方、幼児や小学校低学年などの子供は思いがけずに自らの被害を発言してしまうという事例もあり、その後の「二次被害」も予想されることから、自分のことで何か気がつくことがあれば、授業後に個別に教員に申し出るように、あらかじめ伝えていただくとうれしいと思います。

#### ● 性被害に遭った経験を有する教員への配慮・対応について

いくつかの事例において、性被害に遭った教員が指導する際の配慮に関する課題が提起されました。

性被害経験のある教員がいた場合、生命（いのち）の安全教育の準備や指導を通じて当時の被害がフラッシュバックしてしまう可能性があります。

このため、各学校におかれましては、そのような被害経験から指導に対して不安がある教職員向けの相談窓口を設置するとともに、適切な専門家や専門機関につないでいただくことが考えられます。

一方、性被害経験のある教員本人が指導を希望している場合でも、被害対策等について過剰な指導をしてしまうという事例もありますので、他の教員が代行して指導を実施するなどの配慮がとめられます。

#### ■ 教職員の深い理解と対応に向けた研修の実施に向けて

生命（いのち）の安全教育をより効果的に推進していくためには、一人一人の教職員の方々にその内容について理解を深めていただきながら、児童生徒への対応や指導を行っていただくことが重要となります。

性被害に遭った児童生徒や性被害に不安のある児童生徒に対して、学校関係者はどの水準までの対応を行い、外部の専門家や機関とどのような連携を図っていくべきか、また、日々の学校生活の中で児童生徒に対してどのような指導を行っていくべきか、などへの深い理解と対応・実施が期待されます。

このため、すべての教職員の皆様におかれましては、最新の正しい知識の習得や対応・実施に向けた参加型の研修に積極的にご参加いただくことを期待します。

また、学校の管理職の皆様には、教職員の方々に向けた研修の必要性についてご理解いただきますようお願いいたします。

一方、OJT 型研修の一環として、外部講師を招聘・活用して児童生徒に対する指導を実施する事例がありますが、こうした進め方は学校内に専門的な知見やノウハウを吸収したり、早期に学校内で生命（いのち）の安全教育を実施するうえで有効な方法となります。

ただし、単純な外部化・省力化を目的として外部講師による児童生徒への指導を行うことは、教職員に生命（いのち）の安全教育に関する正しい認識を持つことが期待される中、その趣旨に添わないものとなりますので、ご留意ください。

また、文部科学省において生命（いのち）の安全教育の指導用動画も提供されていますが、こちらについても上記の観点を踏まえ、効果的に活用していただくようお願いいたします。

#### ■ 保護者の理解促進に向けて

保護者の生命（いのち）の安全教育に対する理解促進について、発達段階に応じ、「お便り等を通じて保護者に対して、事前に授業のねらいや内容について伝え、授業後もその様子を伝える」、「事前に保護者に対して指導内容を説明し、理解を得ることが望ましい」、「授業の保護者の参観については学校の判断とするが、参観を可能とすることも考えられる」等が、「生命（いのち）の安全教育」指導の手引きに記されています。

事前に指導内容や活用する教材等について詳細な説明を実施しなかったため、保護者から説明不足を指摘された事例などもあったことから、保護者が誤解を生むようなことのないように事前説明を行うことや、授業への参観、また、より理解を深めていただくために保護者に向けた講演会や研修会などの開催を行っていただくことも考えられます。

## 資料2 性犯罪・性暴力被害に関する実態データ

ここでは、若年層の性暴力・性被害の実態について、内閣府が令和3年度に実施した「若年層の性暴力被害の実態に関するオンラインアンケート及びヒアリング結果」＜概要＞をもとに、アンケート調査結果を概観します。

「生命（いのち）の安全教育」の教材のうち高校用については、性暴力・被害に関する調査データを掲載し、性暴力が身近なところで起こっていることを伝えております。

「生命（いのち）の安全教育」に関わる教育等関係者の皆様には、学校の各段階を問わずこの現状を御認識いただきたいことから、改めて紹介させていただきます。このような現状を十分に御認識いただいたうえで、日々の指導を行っていただくと幸いです。

生命（いのち）の安全教育の高校用の教材には、身近な存在からの被害に関する調査結果を掲載しておりますが、中学生以下の教材には記載されていないことから、改めて紹介をすることにします。

「若年層の性暴力被害の実態に関するオンラインアンケート及びヒアリング結果」の実施概要は下記のとおり<sup>52</sup>。

### ● 調査実施の目的

政府では、「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月25日閣議決定）において、若年層を対象とした性暴力被害に関し、実態把握や取締等の強化、教育・啓発の強化、相談体制の充実、保護・自立支援の取組強化等の施策を総合的に推進することとしている。また、「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」（令和2年6月11日性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議決定）において、教育・啓発活動を通じた社会の意識改革と暴力予防を行い、大学生を含む若年層の性暴力被害の実態把握を実施することとしている。（中略）

これらを踏まえ、関係者が様々な若年層への適切な対応や支援を行えるよう、若年層の性暴力に対する認識をはじめ、若年層の性暴力被害の実態及び若年層の被害者支援における課題について把握することを目的とする。

※次頁は、内閣府ホームページより引用。

<sup>52</sup> 「若年層の性暴力被害の実態に関するオンラインアンケート及びヒアリング結果」＜概要＞  
内閣府ホームページ URL  
[https://www.gender.go.jp/policy/no\\_violence/e-vaw/chousa/r04\\_houkoku.html](https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/chousa/r04_houkoku.html)

# 若年層の性暴力被害の実態に関する オンラインアンケート及びヒアリング結果<概要>

令和4年6月17日  
内閣府  
男女共同参画局

## オンラインアンケート結果

性暴力被害を受けた若年層の方の状況を把握し、施策を検討することを目的に、若年層の性暴力の被害実態に関するオンラインアンケートを実施した。

### 1. 実施概要

- 【対象】 16～24歳のアンケートモニター
- (1) スクリーニング調査- 有効回答数8,941人
    - 内訳① 1次配信分の回答6,224人 (回収率2.82%)
    - ② 2次配信分の回答2,717人 (回収率2.53%)
  - (2) 本調査- 有効回答数2,040人

### 2. 定義

- ◆若年層：16～24歳の方
- ◆性暴力：望まない性的な言動

### 3. 性暴力被害の分類と例示

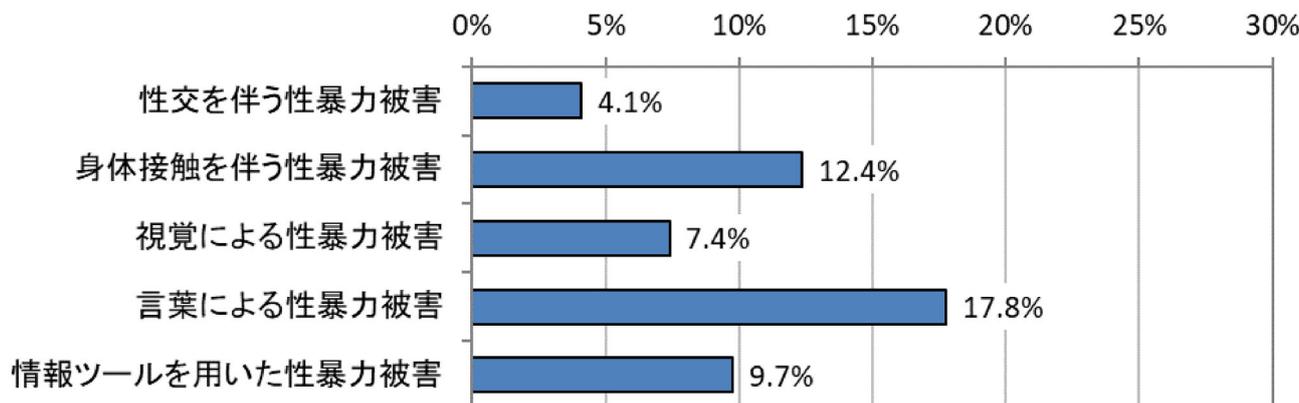
性暴力被害の分類と例示

分類	例示
性交を伴う性暴力	相手の身体の一部や異物を無理やり膣や口、肛門に挿入された、避妊なしに性交させられた 等
身体接触を伴う性暴力	体を触られた、抱きつかれた、キスをされた、相手の体を触らせられた、服を脱がされた・脱がせられた、性器を押し付けられた、体液をかけられた 等
視覚による性暴力	相手の裸や性器を見せられた 等
言葉による性暴力	言葉で性的な嫌がらせを受けた、体の特徴についてからかわれた、いやらしいことを言われた 等
情報ツールを用いた性暴力	インターネット・携帯電話・スマホなどで性的に嫌な経験をした、見たくない画像や動画を見させられた、下着や裸を撮影された、下着姿や裸の写真を送るよう強要された、なりすました相手から性的な嫌がらせを受けた 等

### 4. 性暴力被害 5 分類の被害遭遇率

- 1次配信の6,224人のうち1,644人（26.4%）、約4人に1人が何らかの性暴力被害にあったことがあると回答した。
- 性暴力被害の分類別にみると、言葉による性暴力被害が17.8%と最も高く、次いで身体接触を伴う性暴力被害が12.4%、情報ツールを用いた性暴力被害が9.7%と続く。性交を伴う性暴力被害は4.1%となっている。

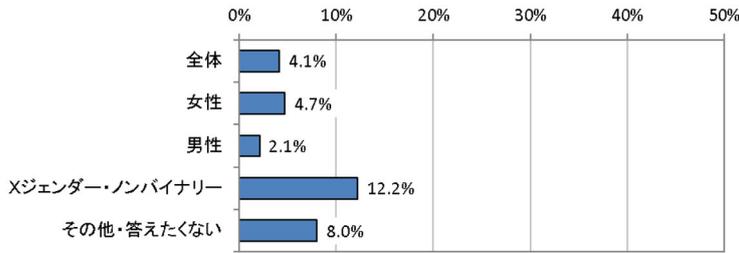
性暴力被害 5 分類への遭遇率（1次配信分、n=6,224:複数回答）



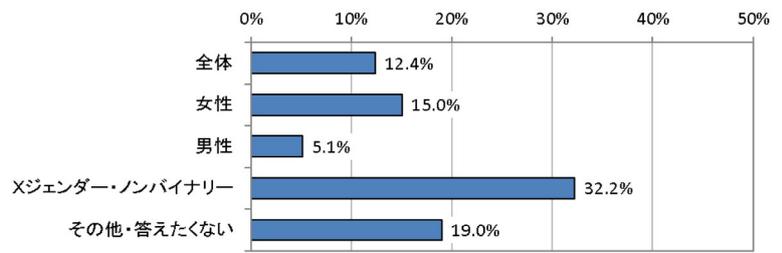
※遭遇率においては、人口分布を考慮した1次配信分の結果（回答数6,224人）のみを活用する。なお、本結果は、1次配信調査の回収率が全体で2.82%であることから、母集団の特性を反映する疫学的なデータとは言えず任意の回答者（＝積極的に回答した方）の回答内容に基づいた結果であり、疫学的遭遇率を示すものではないことに留意されたい。

<参考> 性別または性自認別にみた性暴力被害5分類の被害遭遇率（1次配信分、n=6,224）

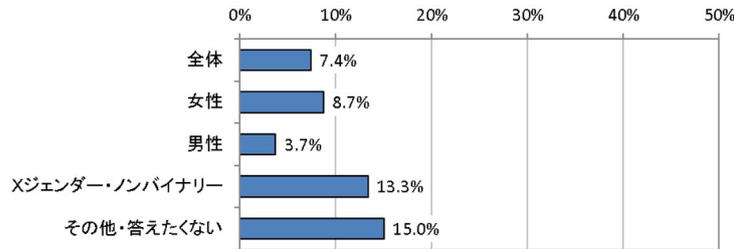
①性交を伴う性暴力



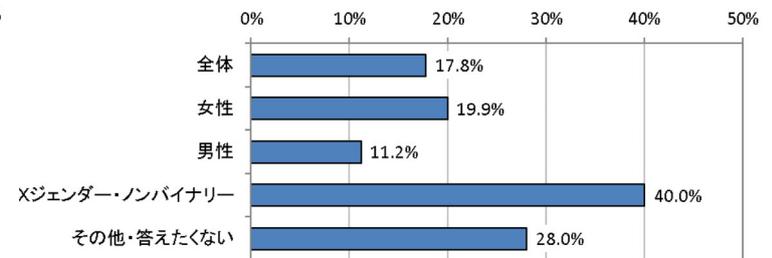
②身体接触を伴う性暴力



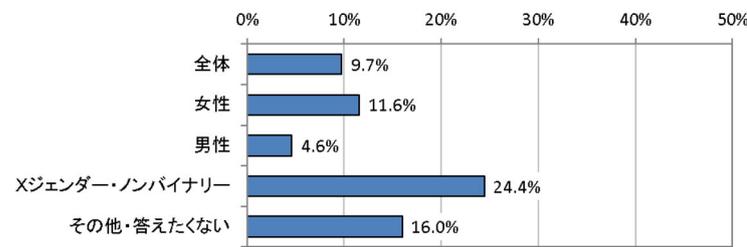
③視覚による性暴力



④言葉による性暴力



⑤情報ツールを用いた性暴力



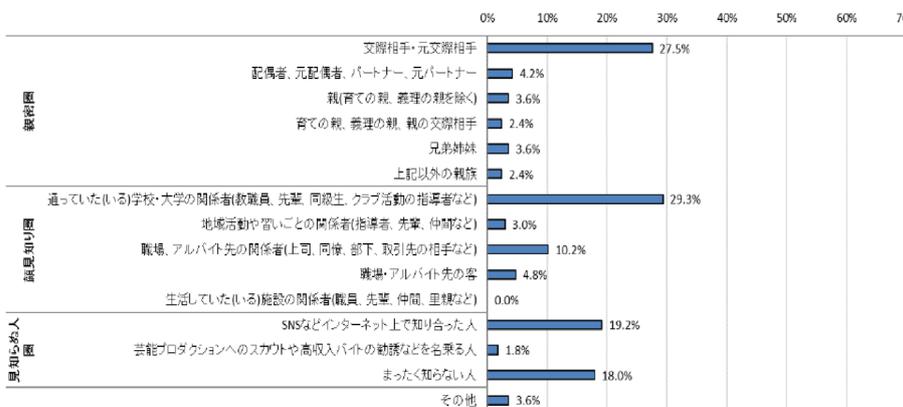
※Xジェンダー・ノンバイナリー、その他・答えたくないは、女性、男性と比較して回答数が少ないことに留意が必要。

5. 性交を伴う性暴力被害の特徴

- 加害者として、学校の関係者（教職員、先輩、同級生等）、(元)交際相手、インターネット上で知り合った人、知らない人等を挙げるケースが多い。
- 性暴力被害をどこにも相談をしなかったケースが半数を超え、相談できたケースにおいても相談までに時間を要することが多い。
- 全ての性暴力被害分類の中で最も被害からの回復状況が芳しくない。

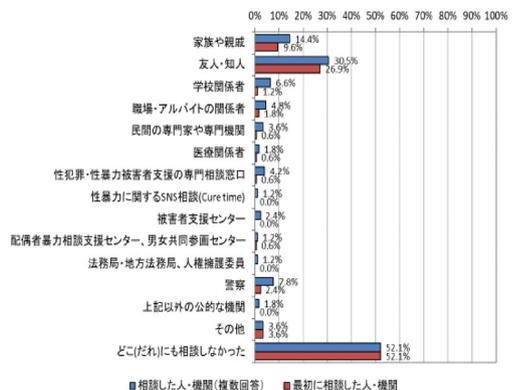
図表 2-55 【性交を伴う性暴力被害】加害者について

<加害者との関係(複数回答、n=167)>

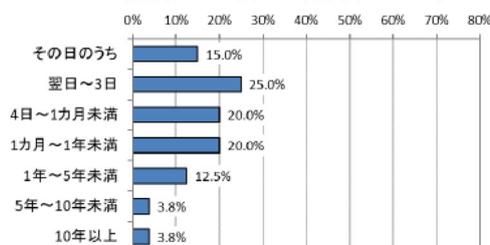


図表 2-57 【性交を伴う性暴力被害】性暴力被害の相談状況について

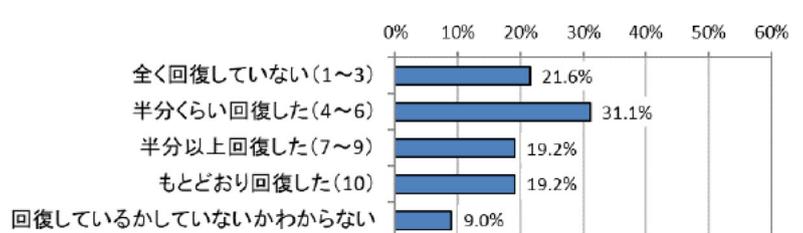
<相談した人・機関(複数回答、n=167)、最初に相談した人・機関(n=167)>



<相談までに要した期間(n=80)>



<被害からの回復状況>

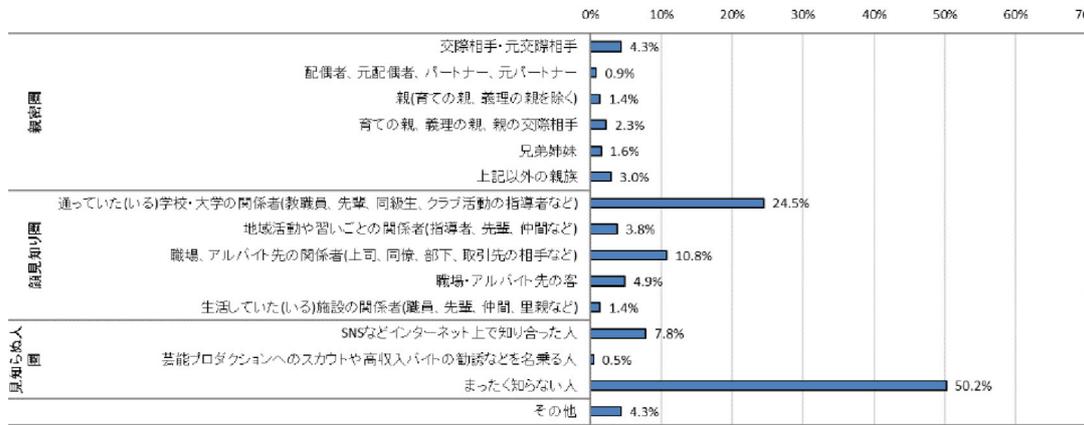


## 6. 身体接触を伴う性暴力被害の特徴①

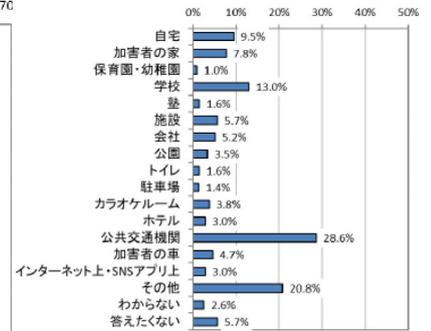
- まったく知らない人や学校の関係者（教職員、先輩、同級生等）が加害者であることが多く、異性及び社会的地位が上位の者による加害が多い。
- 公共交通機関、路上、学校等で被害にあうケースが多く、1回限りの被害が多い。

図表 2-50 【身体接触を伴う性暴力被害】加害者について

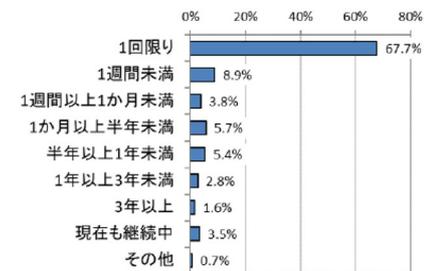
<加害者との関係(複数回答、n=576)>



<被害にあった場所(複数回答)>



<被害の継続期間>



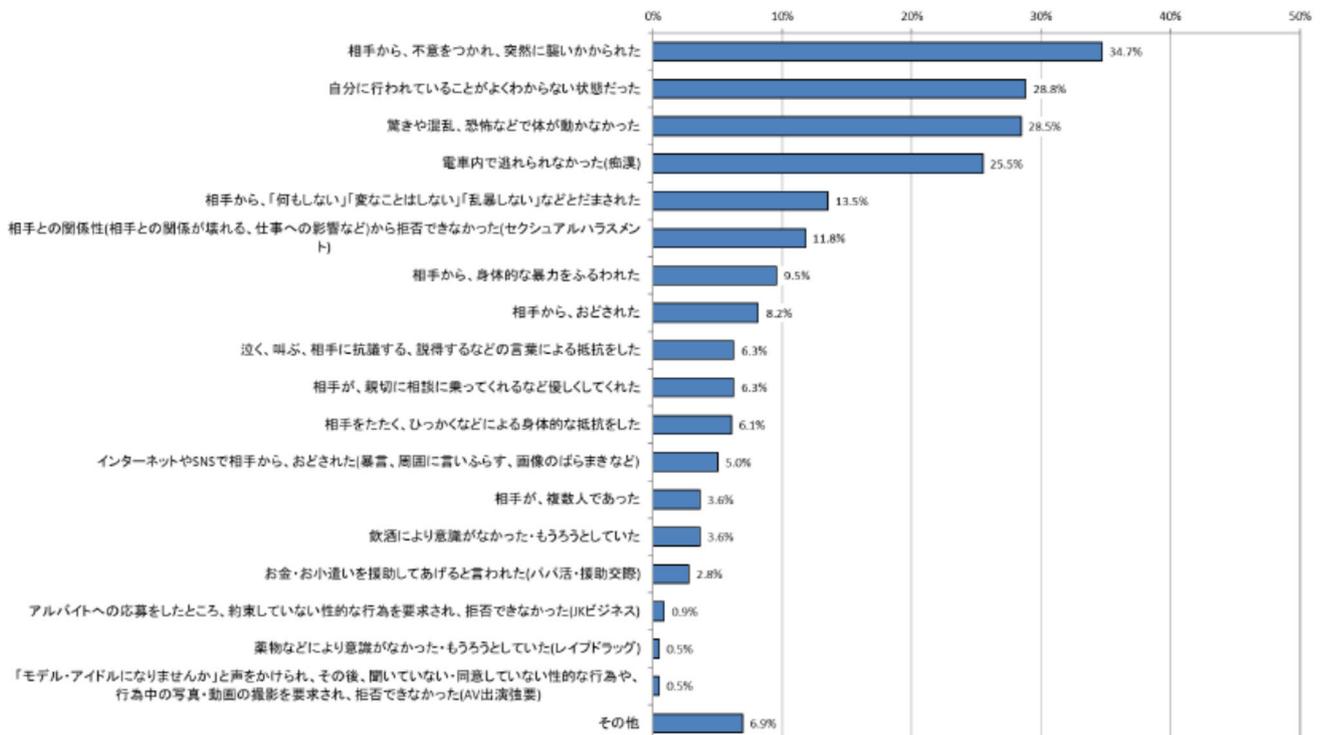
5

## 6. 身体接触を伴う性暴力被害の特徴②

- 性暴力被害にあった際の状況として、突然に襲いかかられた、自分に行われていることがよくわからなかった、驚き・恐怖等で体が動かなかった、電車内で逃げられなかった等との回答が多い。

図表 2-51 【身体接触を伴う性暴力被害】性暴力被害の状況について (n=576)

<被害にあったときの状況(複数回答)>



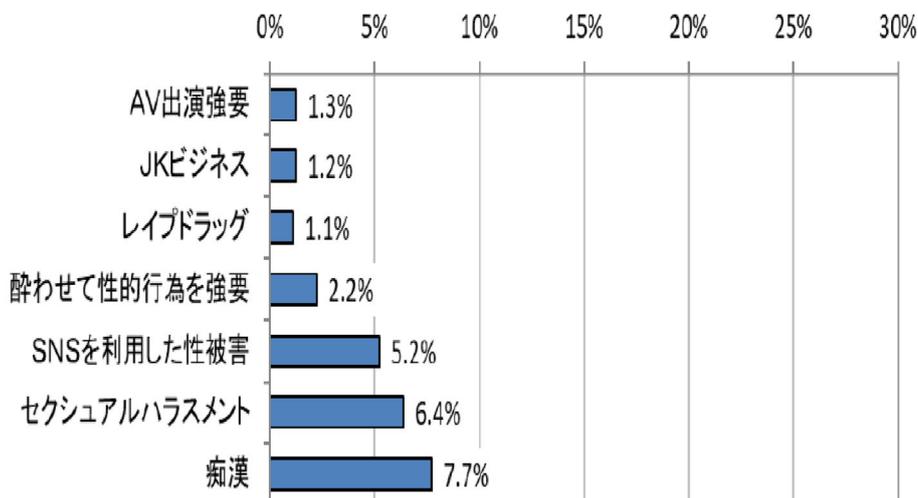
## 7. 被害分類の特徴

	加害者	被害の状況	相談状況	生活の変化
言葉による性暴力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>学校の関係者（教職員、先輩、同級生等）が加害者であることが多い</b></li> <li>・異性による被害が多いが、同性による加害も多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所は学校が多い</li> <li>・1回限りの被害が半数を超える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>どこにも相談しなかったケースは半数超</b></li> <li>・相談した人は家族・親戚、友人・知人の順で多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性暴力被害により、自信がなくなったとの回答が多い</li> </ul>
視覚による性暴力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない人が加害者であることが多い</li> <li>・社会的地位が同等または下位の者による加害が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>被害場所は路上、公共交通機関、学校等が多い</b></li> <li>・1回限りの被害が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこにも相談しなかったケースは他と比べるとやや少ない</li> <li>・相談した人は家族・親戚、友人・知人の順で多い</li> <li>・比較的短期間で相談に至ったケースが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の変化は特になしとの回答が多い</li> <li>・性暴力被害から回復したとの回答が多い</li> </ul>
身体接触を伴う性暴力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らない人や学校の関係者（教職員、先輩、同級生等）が加害者であることが多い</li> <li>・<b>異性及び社会的地位が上位の者による加害が多い</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所は公共交通機関、路上、学校が多い</li> <li>・突然に襲いかかられた、自分に行われていることがよくわからなかった等の回答が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこにも相談しなかったケースは他と比べるとやや少ない</li> <li>・相談した人は友人・知人、家族・親戚の順で多い</li> <li>・比較的短期間で相談に至ったケースが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>生活変化は特になしとの回答も多いが、異性と会うのが怖くなった、外出するのが怖くなった等の回答も多い</b></li> </ul>
性交を伴う性暴力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の関係者（教職員、先輩、同級生等）、(元)交際相手、インターネット上で知り合った人、知らない人等が加害者であるケースが多い</li> <li>・<b>社会的立場が上位の者による加害が多い</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加害者の家、自宅、ホテル等での被害が多い</li> <li>・被害が継続する率が高い</li> <li>・突然に襲いかかられた、相手から「何もしない」等とだまされた、驚き・恐怖等で体が動かかなかった等、多様な回答がみられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>どこにも相談をしなかったケースが半数超</b></li> <li>・相談できたケースでも相談までに時間を要することが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>異性と会うのが怖くなった、誰のことも信じられなくなった、眠れなくなった、自信がなくなった、生きているのが嫌になった等を訴える被害者が多く、最も被害からの回復状況が芳しくない</b></li> </ul>
情報ツールを用いた性暴力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット上で知り合った人や知らない人が加害者との比率が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>被害場所はインターネット・SNS上が多いほか、公共交通機関、自宅、学校、加害者の家等もみられる</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>どこにも相談をしなかったケースが半数超</b></li> <li>・相談した人は友人・知人、家族・親戚の順に多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜眠れなくなった、メールアドレス・SNSアカウントを削除・変えた等がみられている</li> <li>・性暴力被害から回復したとの回答は他の性暴力被害分類と比べて多い</li> </ul>

## 8. 手口7分類への遭遇率

- 1次配信の6,224人のうち920人（14.8%）、約7人に1人が何らかの手口の被害にあったことがあると回答した。
- 手口の分類別にみると、痴漢が7.7%と最も高く、次いでセクシュアルハラスメント6.4%、SNSを利用した性被害が5.2%と続く。

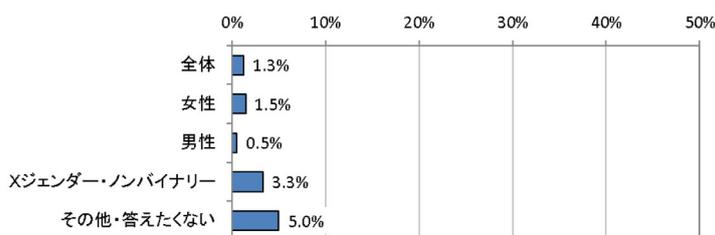
図表 2-12 手口7分類への遭遇率（1次配信分、n=6,224:複数回答）



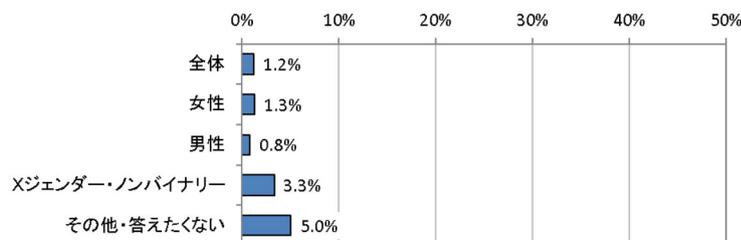
※「性暴力被害の遭遇率」と同様、本結果は、配信への回答率からも、Webアンケートモニターのうちアンケートに任意で回答した方（＝積極的に回答した方）の回答内容に基づいており、疫学的遭遇率を示すものではないことを付記する。

## <参考> 性別または性自認別にみた7つの手口の被害遭遇率（1次配信分、n=6,224）

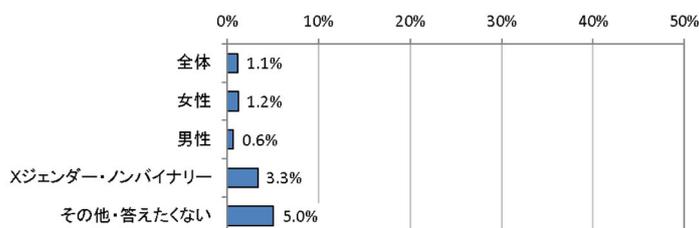
### ① A V出演強要



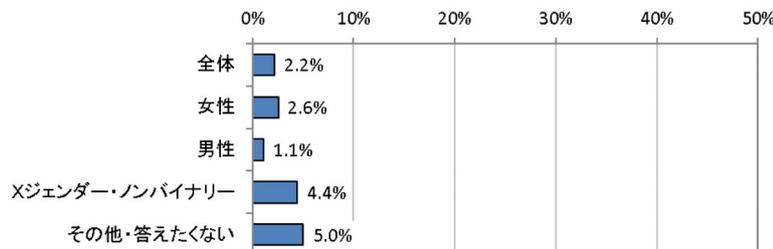
### ② J Kビジネス



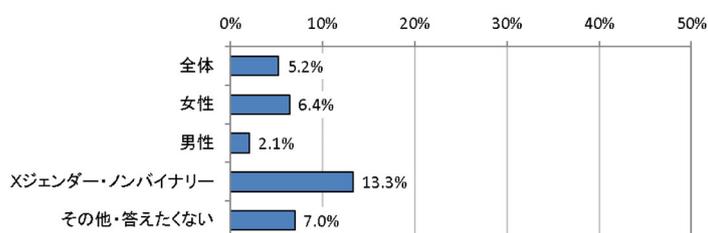
### ③レイプドラッグ



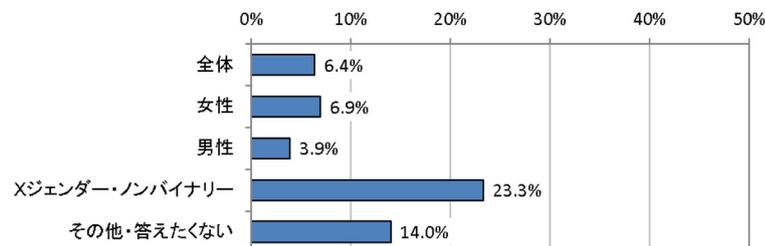
### ④酔わせて性的行為を強要



### ⑤SNSを利用した性被害

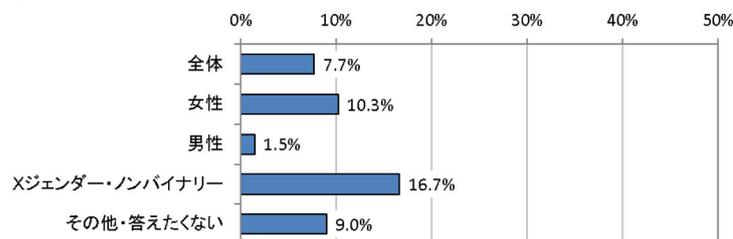


### ⑥セクシュアルハラスメント



※Xジェンダー・ノンバイナリー、その他・答えたくないは、女性、男性と比較して回答数が少ないことに留意が必要。

### ⑦痴漢



※Xジェンダー・ノンバイナリー、その他・答えたくないは、女性、男性と比較して回答数が少ないことに留意が必要。

## 9. 痴漢の特徴

○身体接触を伴う性暴力被害において、被害にあったときの状況を聞いたところ、「電車内で逃げられなかった（痴漢）」との回答は25.5%であった。

### 【アンケート自由意見（抜粋）】

○痴漢被害にあった当時、どのように対処すべきかといった知識がなかったために、未だに心残りがあります。私は、相談などにより恐怖をはじめとした精神面に寄り添ってほしかったというような希望ではなく、加害者が現在何事もなかったようにのうのと生活が送れていることが、ただただ腹立たしく感じてしまうため、性犯罪を罰するために被害者がとることの可能な対処法について周知してほしいです。また、性犯罪を取り締まる体制も強化してほしいです。

○痴漢を受けた、セクハラをされた、などと周りに言うと「あなたが誘ったんでしょう」と一蹴されることが多いので、その風潮だけでもどうにかならぬかなとずっと思っています。悪いのは相手なので、加害者を責めることができるようになればいいと思います。

○痴漢に対する世間的な罪の重さの認識が低すぎると思うので、痴漢の減少と被害者がどんな服装や見た目をしていても非が全くないという認識が増えればいいと思う。

○幼い頃に痴漢にあったため、よくわかっていませんでした。後から思い出し嫌な気持ちにならないためにも、早い頃からこうされたらこうするみたいな教育を保育園、幼稚園などでもしてほしいかなと思います。

## <参考> 手口の特徴

	加害者	被害の状況	相談状況	生活の変化
痴漢	<ul style="list-style-type: none"> <li>加害者は、知らない人が8割弱、高校・大学等の関係者が2割強</li> <li>異性による加害が9割超</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害場所は公共交通機関が約8割</li> <li>1回限りの被害が6割強となっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこにも相談しなかったは4割弱</li> <li>被害から3日以内の相談が8割弱に達する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害による生活変化は特になしが約3割と多いが、外出するのが怖くなった、異性と会うのが怖くなった等の回答も多い</li> </ul>
セクシュアルハラスメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の関係者(教職員、先輩、同級生等)、職場・バイト先の関係者、(元)交際相手が加害者であることが多い</li> <li>社会的地位等が上位の者からの被害が7割弱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害場所は学校、加害者の家、自宅、会社等が多い</li> <li>1回限りの被害は4割強と全対比で少なく、継続被害の多さがうかがえる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこにも相談しなかったは4割強。</li> <li>被害から3日以内の相談は約4割にとどまり、相談までに期間を要する傾向がみられる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害からもとどおり回復したとの回答は2割超にとどまり、被害の影響の大きさがうかがえる</li> </ul>

## 10. 必要な手助け・支援

- 性暴力被害を受けた直後における具体的支援としては、事件・被害に関する話を聞いてもらう、精神的な支え、どのような支援・配慮が必要かわからない、特になしの順に多い。
- どのような支援・配慮が必要かわからないとの回答層は、どこにも相談できなかった回答者が多く、理由として、どこに相談してよいかわからなかった、相談相手の言動によって不快な思いをさせられる、相手の行為が理解できず被害を受けたと思わなかった等の回答比率が高い。若年層に対し、支援の必要性、支援メニュー等の情報が届いていない状況がうかがえた。

## 11. 性暴力のない社会にするために必要な取組

- 性暴力のない社会にするために必要な取組としては、「性犯罪・性暴力に関する刑法を改正して、加害者を罪に問えるようにしたり、罪を重くする」との回答が最も多く、「社会全体に性犯罪・性暴力について広く知ってもらうこと」、「性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないための教育・人権教育の推進」が続く。
- 性暴力被害の相談をしやすくするために強化が必要な取組としては、24時間・365日相談対応、多様な相談方法（SNS相談など）、無料化へのニーズが多く、これに相談窓口の周知、早期から性の安全に関する教育等が続く。

11

## 12. 自由意見（抜粋）

【性暴力であることを認識できなかった】

- 被害にあっている時は、自分があっているという実感がなく、何もできず悔しかった。
- 小学生の頃の出来事で、自分は一体何をされたのかさえ理解できていなかった。

【被害を訴えることができなかった、相談できなかった】

- 社会人になるまでは自分には遠い存在だと感じていた性的犯罪でしたが実際に起こった時に恐怖で何もすることができませんでした。
- 小学生のときに経験して恥ずかしく思い誰にも言えず1人抱え込んでしまいました。

【今でも思い出してしまう】

- 高校の同級生の男に加害された。周りの男は笑っていた。気持ち悪い。被害内容は言いたくないけど他の人からしたら「え？それだけ？」と感じだと思ふ。でも私は一生忘れないし、一生気持ち悪いと頭の片隅で思い続けるだろう。これを書いている今も無意識に緊張して寒気を感じ震えていた。今思い出して当時自分で感じていた怖さよりもっと怖かったんだなと思って泣きそうになった。最初はアンケートでこんなこと聞いてくんのかよと思ったけど、性被害にあった女性への支援に少しでも繋がるならと思ってこれを書いた。

【性犯罪・性暴力に関する刑法を改正して、加害者を罪に問えるようする、罪を重くする】

- 痴漢の加害者に対する罰や見守り強化など、きちんとした制度を確立させてほしい。痴漢はほとんどの女性が経験している一方で、警察に相談するなど実際に声を上げている人はほんの一部です。些細なことすぎて声をあげにくい環境も変えてほしいと思いました。

# ヒアリング結果

## 1. 実施要領

- 【目的】 若年層の性暴力被害の実態及び若年層の被害者支援における課題について把握し、関係者による様々な若年層への適切な対応や支援の検討に資すること。
- 【実地方法】 オンラインヒアリング（新型コロナウイルス感染症の拡大を背景）
- 【対象】 若年層の性暴力被害者への支援者・関係者（ワンストップ支援センター5か所及び支援団体等5か所）
- 【実施期間】 2022年1～2月

## 2. 若年層の性暴力被害の状況・傾向

- ワンストップ支援センターへの相談者が受けた性暴力被害は、強姦性交、強制わいせつが多く、性虐待、監護者性交等がこれに続く。
- 若年層への性暴力の手口は巧妙化（エンタラップメント、グルーミング等）しており、SNSを通じた被害も増加。
- ステイホームによる家庭内性暴力被害、被害者の孤立等、コロナ禍の影響が生じている。
- 性暴力被害の低年齢化の進行、男性・トランスジェンダーや障害者等の被害相談増加への対応も喫緊の対応課題。

## 3. 若年層の性暴力被害の相談状況

- 相談件数は2019年度までは明確な増加基調にあったセンターが多く（2020年度は横ばい・減少に転じるセンターもある）、その要因として10～20代の相談増加も挙げられた。
- 一度相談につながっても、その後連絡が途絶える等、「つながりにくく、途切れやすい」若年層の傾向に沿った対応が必要とされている。
- 72時間以内の相談が増加している一方で、被害後1か月後～半年での相談も多く、そのような性暴力被害者では心身の不調からPTSDへとつながるケースも多い。

## 4. 10代女性の性暴力被害

- SNSで知り合った人、性売買斡旋業者（スカウト）等からの加害がみられ、中でもSNSで知り合った人からの被害が頻発。
- 被害者は貧困・虐待を背景に家に居場所がない、家を出たい人が多く、公的支援機関へ不信感を持つ被害者も多い。

## 5. SNS・インターネットにおける被害

- スマートフォンの普及等により、素人でも性的動画をアップして収益化が可能になり、性的画像から性的動画に移行。
- 相談件数は急増傾向。特に中高生から性的な画像を送信してしまった、盗撮をされて拡散してしまった等の相談が増加。

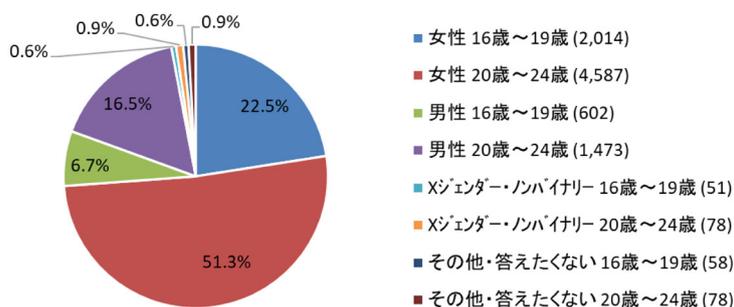
## 6. 痴漢被害

- 東京都における2018年～2020年の痴漢の検挙件数の3/4超が10～20代の被害者。男性被害者も約3%みられる。
- 全国における2018年～2020年の痴漢の検挙件数をみると、犯行場所は、駅・乗物内が5割超と最も多く、次いで路上、商業施設がそれぞれ1割～2割程度となっている。

# 若年層の性暴力被害の実態に関する オンラインアンケート及びヒアリング結果<参考>

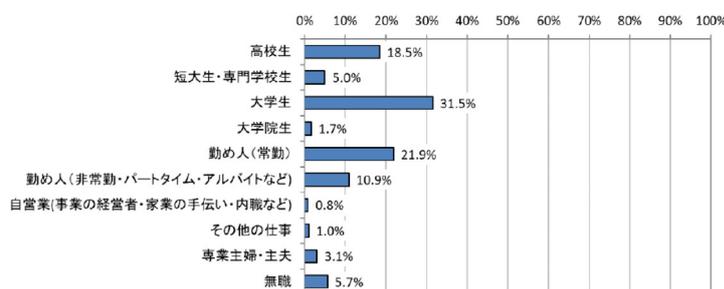
## オンラインアンケート

### スクリーニング調査 回答者属性 (n=8,941)

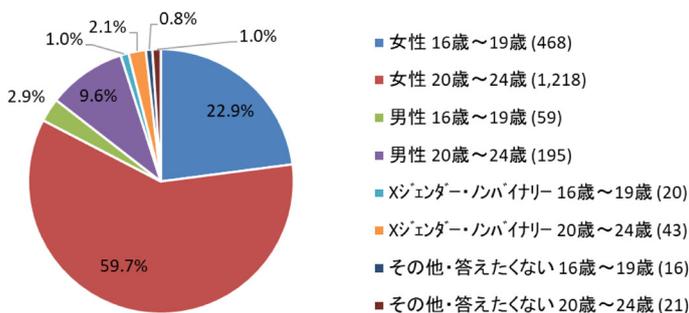


( ) 内の値は回答者数

図表 2-3 所属・職業 (n=8,941)



### 本調査 回答者属性 (n=2,040)



( ) 内の値は回答者数

図表 2-23 所属・職業 (n=2,040)

